

佐倉の教育

平成27年度



佐倉市教育委員会



佐倉市教育の日 11月16日

今後の佐倉市が多くの人材を育てる「まち」として着実な歩み続け、一層の充実が図られ、確かな人づくりを進めることを目的として、「佐倉市教育の日」を制定しています。

期日の由来は：佐倉藩主堀田正睦公が天保4年(1833)11月16日、藩政改革を宣言した日にあたり、これが佐倉藩の学問興隆の契機になった日です。

(平成17年3月24日制定)

佐倉市民憲章

わたくしたちは、印旛沼湖畔のきれいな空気と、緑と太陽と歴史に恵まれた佐倉市民です。全市民は力を合わせて、この憲章を守り、理想のまちをつくりましょう。

1. 私たちは、美しく清潔なまちをつくりましょう。
1. 私たちは、公衆道徳を守り、スポーツを愛し、明るいまちをつくりましょう。
1. 私たちは、歴史や自然を大切に、おくゆかしいまちをつくりましょう。
1. 私たちは、老人を敬い、子どもを愛し、あたたかいまちをつくりましょう。
1. 私たちは、創意と努力をもって、豊かなまちをつくりましょう。

(昭和45年12月23日制定)

平和都市宣言

～非核三原則を守り核兵器廃絶をめざして～

豊かな自然に恵まれた歴史と文化のまち佐倉。この良好な環境のなかで、やすらぎに満ち、健康で平和な生活を維持することが佐倉市民共通の願いです。

佐倉市民は、悲惨な紛争や戦争のない世界を強く願い、軍縮の推進はもとより、特に、人類および地球の破滅につながる核について非核三原則を守り、核兵器の全面禁止と廃絶をめざして、最大の努力をしなければなりません。

戦後50年目の年にあたり、佐倉市民は、戦争の犠牲者に追悼の誠を捧げ、国際社会の一員として、国際協調の視点をふまえ、世界の恒久平和を実現するために「平和都市」を宣言します。

平成7年8月15日

佐倉市

人権尊重・人権擁護都市宣言

わたしたちは、個性を認めあい、協調性のあるまちづくりをすすめています。

みんなの顔がきらめいて、希望にあふれる都市をつくりたいと願っています。

それは、一人ひとりが大切にされ、人間らしく生きることができるまちにすることです。

そのために、わたしたちは基本的人権を正しく理解して、人権感覚の向上に努めなければなりません。

わたしたちは、差別や偏見をなくすために、人権尊重の教育や啓発活動に積極的に取り組みます。

そして、わたしたち一人ひとりが、人権擁護のまちづくりの主人公となるため、ここに佐倉市を

「人権尊重・人権擁護都市」とすることを宣言します。

平成9年2月24日

佐倉市

市章



この市章は、佐倉藩主堀田氏の紋章の一つであって、出陣に際して使用したものです。

図案は、陣馬の「クツワ」につける鑲を組み合わせ、桜花となし、これを鑲桜といいます。

鑲は陣馬操縦にあたり馬口を引き締める大切な道具です。

市章は市民がこん然一体となり、心を引き締めて市の建設発展にまい進する強い意思を表し、桜は佐倉に通じて平和でうらかな市民の心意気を示しているものです。

(昭和30年4月1日制定)



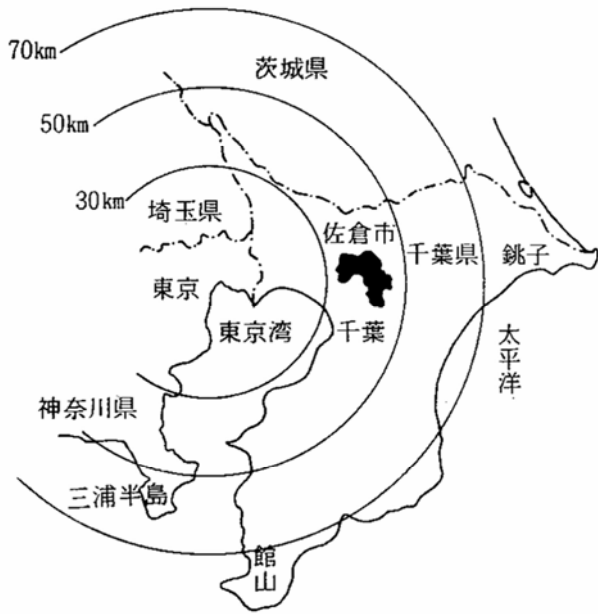
佐倉市民憲章
マスコットキャラクター
みらいくん

—目次—

I 佐倉市の概要	1
II 佐倉市教育委員会教育委員	3
III 平成26年度教育目標	4
1 教育ビジョンに基づく施策の内容	9
2 教育センター事業	22
3 公民館事業	23
4 図書館事業	30
5 市民音楽ホール事業	32
6 美術館事業	35
7 佐倉学	36
8 コミュニティ事業	40
IV 学校紹介	41
〔資料編〕	
I 教育行財政	
1 歴代教育委員	54
2 平成25年度教育委員会会議	55
3 平成25年度教育功労者等	56
4 教育委員会機構	57
5 職員数	58
6 教育費予算・決算	59
II (省略)	
III 教育関係施設	
1 佐倉市立の教育施設マップ	63
2 学校一覧	
(1) 市内幼稚園	64
(2) 市立小・中学校	65
(3) 県立高等学校	66
(4) 短期大学	66
3 学校施設一覧	
(1) 教室等施設	67
(2) 建物・校地面積	68
4 社会教育等施設一覧	70
5 社会体育施設一覧	71
IV その他	
1 児童生徒数の推移	72
2 スポーツテスト実施状況	73
3 スポーツ施設利用状況の推移	74
4 指定・登録文化財一覧	75
5 市民文化資産一覧	77

I 佐倉市の概要

I-1 位置及び地形



(1) 位置

本市は、千葉県北部、北総台地の中央部に位置し、都心から東へ40 km、県都千葉市から北東へ20 km、成田国際空港から西へ15 kmの所にある。

東西・南北は各15.9 kmで、東部は酒々井町、東南部は八街市、南西部は千葉市と四街道市、西部は八千代市に接し、北部は印旛沼を隔てて印西市に相對している。

行政面積は103.69 km²である。

(2) 地形

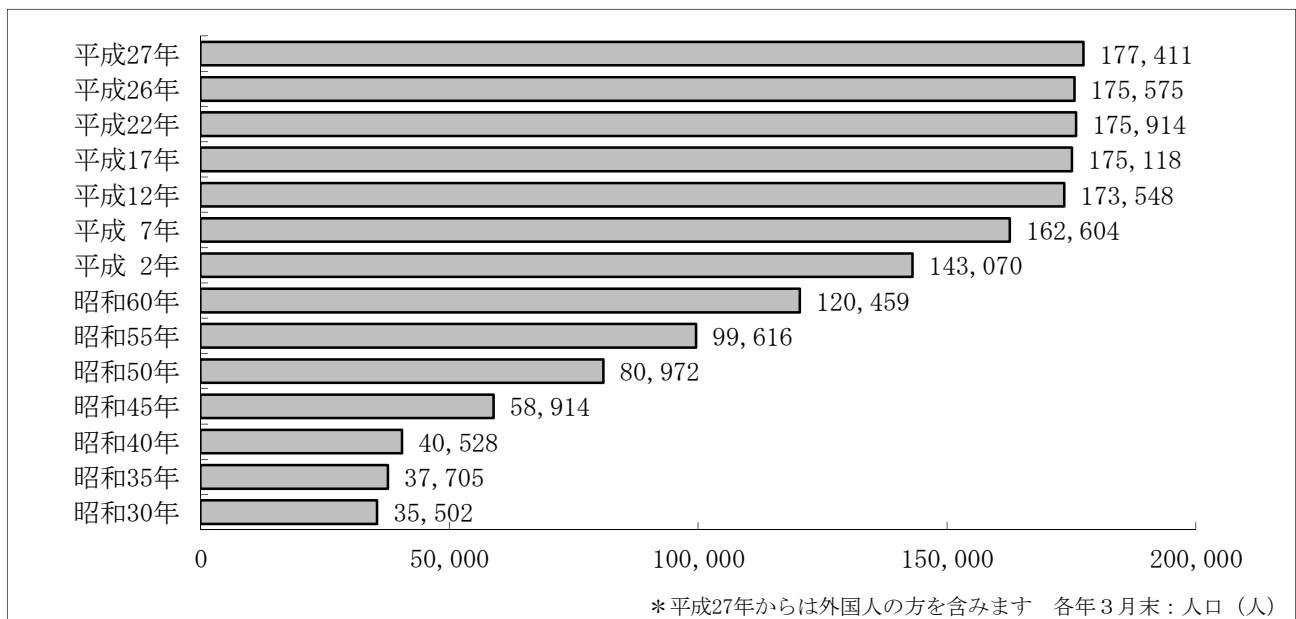
当市域は印旛沼の南方に展開する低地と台地であるが、これを区分すると、沼沿い並びにこの沼に注ぐ小河川沿いの谷津を併せての低湿地と洪積層の台地、それと両者の間の傾斜地の三部に区分することができる。

市役所の位置

東経 140° 13' 26"
北緯 35° 43' 26"

方位	東 経	北 緯
極 東	140° 18'	35° 41'
極 西	140° 07'	35° 42'
極 南	140° 15'	35° 37'
極 北	140° 12'	35° 45'

I-2 人口の推移



I-3 沿革

原始・古代

印旛沼と沼に注ぐ河川がもたらす水利のよさや比較的温暖な気候に恵まれた佐倉市には、原始・古代から人々の営みがあり、その痕跡が残っています。

旧石器時代の生活は、星谷津遺跡等の調査結果からうかがわれ、縄文時代になると遺跡数は次第に増加していきます。上座貝塚等から海の貝が出土し、内海が広がっていたことがわかり、吉見台遺跡では縄文時代後期の大規模な集落、井野長割遺跡では環状盛土遺構が発見されました。

弥生時代の遺跡としては江原台遺跡や六崎大崎台遺跡が著名で、印旛沼を中心とする地域色の濃い文化が成立していたことがうかがわれます。

古墳時代になると次第に地方色は薄れ、全国的に画一化した生活様式が多く見られるようになり、中世まで営まれた高岡遺跡群では、中央権力の影響が地方に波及した様子が見られます。

中世

佐倉市域には平安時代末まで、印東荘・白井荘等の荘園があり、上総介一族が勢力を持っていました。

鎌倉幕府成立以降は、下総の守護となった千葉一族が進出し、戦国時代には本佐倉城(佐倉市・酒々井町)を築き、下総国支配の拠点としました。

天文年間(1532~1554)には、千葉一族の鹿島幹胤が現在の佐倉城址公園の地に鹿島城の築城を始めましたが、天正18年(1590)小田原北条氏の滅亡とともに千葉氏も滅亡しました。

近世

慶長15年(1610)に土井利勝が佐倉に封ぜられると、翌年から鹿島城の跡に新たに佐倉城を築き、城下町の整備を始めました。以後、佐倉は江戸を守る重要な地として、代々幕府の要職を務める有力な譜代大名が治めました。佐倉は、成田街道の要衝でもあったため、宿場町である臼井とともに江戸への物資の輸送や、成田山参詣の人々の往来でにぎわいました。

歴代佐倉城主で最も長期にわたったのは堀田氏で、寛永19年(1642)~万治3年(1660)までと、延享3年(1746)~明治2年(1869)の版籍奉還まで、当地を治めました。幕末期の城主堀田正睦は早くから西洋の学問に注目し、藩校では医学や兵学の研究も盛んに行われました。正睦は、幕閣として日米修好通商条約の締結に向け尽力しました。

近代・現代

明治維新後、廃藩置県で佐倉藩は佐倉県となり、後に印旛県に再編されました。明治6年6月15日に印旛県と木更津県が統合され千葉県が誕生、佐倉に郡

役所が開設されるなど、地方行政の中心となりました。また、佐倉城跡に歩兵連隊が置かれ、第二次世界大戦終結まで、「連隊の町」として栄えました。

戦後復興期の昭和29年3月31日、佐倉町・臼井町・志津村・根郷村・弥富村・和田村の六町村が合併し、佐倉市が誕生しました。その後、旭村・四街道町の一部を編入し、現在に至ります。

昭和40年代以後、住宅団地の造成により人口が急増し、小中学校の建設も進んでまいりました。

昭和55年4月には、県内で12番目の人口10万人の市となりました。(現在の人口:約17万7,000人)

住宅開発の一方、豊かな自然環境や城下町として栄えた歴史の町佐倉には、明治百年記念事業の一つとして、昭和58年には、国立歴史民俗博物館が開館されました。昭和62年には、蘭学が栄えた歴史を背景に佐倉日蘭協会が設立され、オランダとの児童交流や、身近にオランダを感じられる事業に取り組み、特色ある国際交流を進めています。

学校建設が進む一方、図書館・公民館のほか、佐倉市民音楽ホール(昭和59年)、市立美術館(平成6年)、佐倉順天堂記念館(昭和60年)、佐倉武家屋敷(平成2年)、旧堀田邸(平成11年)を開館し、地域の歴史、文化を広く全国に発信しております。

また、平成7年には「佐倉市平和行政の基本に関する条例」を県内で初めて制定し、平和都市として恒久平和の実現を目指しています。

佐倉市には、前述の自然・歴史・文化に加え、郷土の優れた先覚者がいます。これらを学び、将来に生かすため、平成15年度からは「佐倉学」の取り組みを開始し、佐倉市の特色ある教育を進めています。

平成22年(2010)は、土井利勝が佐倉の領主となった慶長15年(1610)から400年目にあたり、佐倉市ではこの節目を記念して、平成29年度までの間、「佐倉・城下町400年」と位置づけた記念事業を行い、市の歴史・文化や魅力を全国に発信しているところです。

平成23年3月には、「第4次佐倉市総合計画」を策定し、将来都市像として、~「佐倉」への思いをかたちにして~「歴史 自然 文化のまち」を掲げ、薫り高い文化の創造と快適なまちの実現を目指し、まちづくりに取り組んでいます。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、市内においても多くの被害を受けました。これを教訓として、防災体制の一層の強化を図っています。

平成24年度には、佐倉とゆかりのある女子美術大学及び順天堂大学と、そして平成25年度には東邦大学と、さらに平成26年度には千葉敬愛短期大学、東京情報大学及び敬愛大学と連携協定を結び、教育や文化など多方面において、活気あふれる新たなまちづくりの活動に取り組んでいます。

II 佐倉市教育委員会教育委員

(平成27年 7月 1日現在)



関山 邦宏
(委員長)



田邊 俊彦
(委員長職務代理者)



齋藤 恵子
(委員)



菅谷 義範
(委員)



茅野 達也
(教育長)

役職名	氏名	任期	就任日
委員長	関山 邦宏	平成26年10月2日～平成30年10月1日 (委員長としては、 平成26年10月2日～平成27年10月1日)	平成 5年 6月 8日
委員長 職務代理者	田邊 俊彦	平成25年6月30日～平成29年6月29日 (委員長職務代理者としては、 平成26年10月2日～平成27年10月1日)	平成21年 6月30日
委員	齋藤 恵子	平成24年4月1日～平成28年3月31日	平成16年 4月 1日
委員	菅谷 義範	平成25年10月6日～平成29年10月5日	平成21年10月 6日
教育長	茅野 達也	平成25年4月1日～平成28年10月1日	平成25年 4月 1日

Ⅲ 平成27年度 教育目標

〔基本理念〕

よく学び、自ら考え進んで行動し、生きる喜びを分かち合う、
心豊かな市民をめざす“佐倉の教育”の実現

〔めざすべき佐倉市民像〕

- 佐倉に誇りと愛着を持つ人
- よく学び、自ら考え進んで行動する人
- 豊かな心と創造力に富む人

〔基本方針〕

- 地域の教育力のさらなる向上と市民参加の促進をめざす
- 豊かな心と学ぶ喜びに満ちた学校教育をめざす
- 郷土への愛着を育み、進取の精神による新しい文化の創造をめざす
- 教育環境を整え、多様な学習機会の提供をめざす

〔平成26年度施策の主な成果〕

平成26年度は、『佐倉教育ビジョン推進計画（平成23年度～27年度）』の4年目として、27年度末の達成目標に向けて、効果的な事業展開と教育内容の充実に取り組みました。

26年度における施策事業の実績・成果及び評価は、「教育委員会の事務執行にかかる点検評価報告書」を作成・公表いたしますので、詳細は点検評価報告書に委ねますが、26年度施策の主な成果について、佐倉教育ビジョンの重点事業から特色のあるもの、26年度に新たに取組んだ事項などから、主なものを以下に表記します。

- (1) 児童生徒の登下校の安全確保のため、警察・道路管理者と改善対策を取りまとめ、改善を図ってきました。また、スクールガードフォーラム、情報交換会を開催しました。さらに、教育ミニ集会においても地域の見守り活動等をテーマにするなど、地域の方々の理解を深め、意識を高めました。
- (2) 自らの居住地での人間関係を見直し、地域で共に生活し、見守り、支え合い、日常生活で声を掛け合いながら、まちづくりに参加いただける人材の育成を図るため、25年度にコミュニティカレッジさくらを開講し、26年度より全学年（2学年）がそろって学習に取り組みました。50～70歳代の学生が、地域づくりのリーダーを目指し、現代社会の現状とその課題について学びました。
- (3) 「東日本大震災」を教訓として、市民防災訓練や公開研究会、教育ミニ集会等を通して、学校と地域が連携した防災体制の推進及び防災教育の充実を図るとともに、学校施設の耐震化を進めました。26年度は、西志津小学校で体育館の改築工事、根郷小学校で校舎の改築及び耐震補強工事、佐倉東小学校で校舎の耐震補強工事を実施しました。
- (4) 児童生徒の確かな学力を育成するため、25年度から全校実施した小学校に続き、全中学校で夏季休業中に学力向上のための教室「好学チャレンジ教室」や補充学習等に取り組みました。また、教育センターでは、生徒の基礎・基本の定着を目的として、小学校版に加えて、中学校版「好学チャレンジプリント」を配布

しました。

- (5) 確かな学力の向上のため、佐倉市独自の学習状況調査を実施しました。結果分析と各研修会での指導・助言を行い、授業・指導方法の改善に努めました。過去2年間の経年変化データを各校へ配布し、希望校には学校別の調査結果と分析を提供することで、より詳細なデータ活用に取り組みました。
- (6) 文部科学省教育課程特例校（臼井小学校）において、現行は小学校5・6年生の外国語活動を、3・4年生も年間15時間、5・6年生は年間35時間及び週2回10分間の授業を行いました。教諭と英語指導助手の協力指導により、学習の場を工夫し、コミュニケーション能力を育成する活動型の学習を展開しました。また、公開研究会を開催して研究成果を市内外に広め、英語教育の推進を図りました。
- (7) 全小・中学校で、学校いじめ防止基本方針を基に、いじめ防止等の対策のための組織を設置し、いじめ防止体制の整備を図りました。また、子どもたちの視点から、いじめ防止について考えるため、全小・中学校の代表児童生徒を集めて「いじめ防止子どもサミット」を初めて開催しました。いじめ防止策をグループで話し合い、スローガンを発表するとともに、参加児童生徒は、学校に戻って全体集会などでサミットの内容を報告し、一層のいじめ防止に取り組みました。
- (8) 津田塾大学との連携による、津田梅子先生の生き方から学ぶ「佐倉学学習会」の開催や、東邦大学病院との連携による「外科手術体験セミナー」の実施を通して、小・中学生のキャリア教育を推進しました。また、佐倉少年少女発明クラブ員の全国少年少女チャレンジ創造コンテスト全国大会、及び中学生の「科学の甲子園ジュニア」千葉県大会への参加は、児童生徒に挑戦する探求心や創造性を育みました。
- (9) 教育委員会訪問を幼稚園1校、小学校1校で実施しました。教育委員会が、校（園）長の求めに応じ学校（園）を訪問し、教育委員会のあらゆる機能を活用し、市内各校（園）の学校経営の改善に取り組みました。
- (10) 小中学校（小学校22校・中学校1校）のパソコン教室における機器を、タブレット端末としても使用できる機種に更新し、コンピュータを活用した情報教育を充実させました。
- (11) 佐倉学を推進するため、学校教育及び社会教育の双方の分野で積極的に取り組みました。学校教育における佐倉学を推進するため、リーフレット「佐倉学がめざすもの」を作成し、全教職員に配付しました。また、夏季教職員研修会において、「佐倉学研修会」を開催し、佐倉学副読本を活用した指導方法の研修や、印旛沼での水生植物再生事業の現場見学を実施しました。さらに、千葉県市町村教育委員研修会で佐倉学による学力向上の取り組みを発表するとともに、広報番組「ふるさと佐倉を学ぼう 佐倉学」を放映し、佐倉学の周知に努めました。
社会教育においては、公民館などで佐倉・城下町400年記念事業としての講座を開催するほか、地域性を活かした様々な佐倉学事業を推進しました。
- (12) 各学校の養護教諭が中心となり、生活習慣病予防の講演会開催、個別相談を充実させました。学校薬剤師と連携し、全小・中学校でエピペン研修会を開催し、食物アレルギー対応の緊急処置についての理解を深めました。また、市健康増進課の保健師との連携による性教育に関する授業の拡充を図りました。

- (13) 産業まつりで、給食サンプルや食育教材パネル等の展示や、レシピの配布等により、学校給食を活かした食育について周知しました。「津田仙献立」「お殿様献立」などの特色ある給食を全校で実施するとともに、給食だよりや献立表、広報誌等で紹介しました。また、地場産物活用の充実に向けて、給食食材を提供している地場産物生産者との交流会を小学校で行いました。さらに、佐倉市学校栄養士会による食生活アンケート結果を基に、「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨しました。
- (14) 歴史的なつながりを活かし、教育・文化の振興と発展、人材育成、まちづくり、産業振興等に資する事業展開を目指し、24年4月に学校法人女子美術大学と、同年10月に学校法人順天堂と連携協働に関する協定を締結しました。これに基づき、中央公民館において、女子美術大学理事長を講師に迎えたコミュニケーションレジンさくら・佐倉市民カレッジ合同講演会、夏休み小学生向けに女子美術大学教員・学生によるJOSHIBIワークショップ、順天堂大学教員を講師に迎えた佐倉市民カレッジ公開講座・授業などの事業を実施しました。
- (15) 国指定史跡井野長割遺跡の指定10周年を記念して遺跡見学会とシンポジウム「縄文時代のムラと盛土」を実施しました。これらの事業では、磨製石斧による伐採体験や出土品の展示を行い、史跡井野長割遺跡を身近に感じる機会となりました。
- (16) 生涯学習の推進、社会教育施設整備のため、志津公民館の建て替えに向けて、関係部局が連携して事業を推進しました。26年度は、旧志津出張所建物等を解体し、志津公民館等複合施設の新築工事に着手しました。

〔平成27年度施策の特徴及び重点項目〕

平成27年度施策の主な特徴として、「①インクルーシブ教育、少人数指導支援、いじめ防止対策など、より充実した学校教育の推進」、「②各市民大学等の事業運営や、志津公民館の整備などによる生涯学習・社会教育の振興」、「③歴史文化的資産と魅力を活かした文化振興」、「④安心・安全な教育環境を確保するための学校施設耐震化の完了」、の4点が挙げられます。

この4点を含め、「佐倉教育ビジョン推進計画」及び以下の重点項目に基づき、各事業の進捗状況を把握し、着実かつ効果的に成果を上げられるよう、施策を推進します。

(1) 地域の教育力の向上をはかります

- ・地域との連携を深め児童生徒の安全確保に努めるとともに、地域づくりの拠点として学校の活用を進めます。また、地域の声や評価を反映できる学校運営を目指します。
- ・幼稚園の教育環境を充実させるとともに、園児の就園を支援します。
- ・学校運営委員会等の学校・家庭・地域の連携を行う取り組みを推進します。
- ・青少年の健全育成を目的とした地域の活動を充実させます。
- ・学校や地域と連携した家庭教育を充実させます。
- ・人づくり、地域づくりを目指した公民館活動を充実させます。
- ・地域活動の担い手育成を目的としたコミュニケーションレジンさくらを運営します。

(2) “佐倉の教育”への市民参加の促進をはかります

- ・佐倉の教育への関心を高めるため、「教育懇話会」や「佐倉市教育の日」関連行事を充実させます。

(3) 確かな学力の向上をはかります

- ・学習状況調査（国語、算数・数学、理科、英語）を実施し、授業・指導方法の改善に結びつけます。（英語は中学校のみ実施。）
- ・夏季休業中に全小中学校で「好学チャレンジ教室」を開催します。教員や学生・地域ボランティアが好学チャレンジプリント等の教材を活用しながら指導し、基礎・基本の定着を図ります。
- ・外国語指導助手14名を全小中学校に派遣し、英語・外国語活動の授業や国際理解教育の一層の充実を図ります。
- ・経済的支援が必要な高校生を対象とした奨学金を支給します。
- ・経済的な理由により就学が困難な小中学生の教育に係る費用を援助します。
- ・理科教育支援員1名を小学校2校に派遣し、理科学習指導や環境整備を支援します。
- ・弥富小学校の複式学級の解消と少人数によるきめ細かな指導を行うため、学校支援補助教員を1名配置します。
- ・少人数指導支援のため、学校支援補助教員を3名任用し、ティームティーチングなど、児童生徒個々への学習支援を充実させます。
- ・教育課題等の調査・研究や指導方法の改善に取り組み、児童生徒の学習意欲を高め、確かな学力の向上や体力を身につけるような取り組みを推進します。
- ・学習指導要領の趣旨を徹底させ、思考力・判断力・表現力を育み、探究・協同型の授業改善のため教職員の研修を充実させます。
- ・教育委員会訪問として、教育委員会が、校（園）長の求めに応じ学校（園）を訪問し、教育委員会のあらゆる機能を活用してもらうことにより、学校経営の改善に取り組みます。

(4) 豊かな心と丈夫な体の育成をはかります

- ・佐倉の伝統や文化を生かした道徳の授業の充実と体験活動やボランティア活動等とおし、道徳的実践力を高める教育を推進します。
- ・学校生活や学習活動を行う上で、児童生徒の必要に応じた支援を充実させます。
- ・特別支援教育支援員38名を特別な支援を必要とする幼児児童生徒のいる幼小中学校に派遣し、学校生活や学習活動を行う上で、一人ひとりのニーズに応じた支援を充実させます。
- ・インクルーシブ教育システム構築モデル事業を推進し、言語通級指導教室設置校を中心に支援が必要な児童への効果的な支援体制等について研究を進めます。
- ・【拡充】児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、学校教育相談員10名、心の教育相談員6名（8校）、スクールカウンセラー12名（小学校1名増）や、各関係機関等と連携し、各種教育相談体制を充実させます。
- ・【拡充】学校におけるいじめ防止体制の整備を図り、いじめの防止、早期発見・早期対応に努めるなど、いじめの防止のための対策を推進します。
- ・児童生徒の情操を高め豊かな心を育むため、学校図書館司書11名を全小中学校に派遣し、読書活動の推進や読書環境の充実に努めます。
- ・児童生徒の体力の現状を分析し体力向上推進計画を作成することにより、体力の向上に努めます。
- ・学校プール施設がない学校における水泳指導を、民間との連携により授業に取り組み、小学校学習指導要領での水泳学習のねらいを達成させます。

- ・児童生徒の生活習慣病予防検診事業の継続と、健康教育を充実させます。
- ・学校給食を通じて児童生徒への食育を推進します。
- ・給食室の老朽化に伴う改修工事を実施します。

(5) 「佐倉学」の推進をはかります

- ・佐倉学リーフレットを配付し、佐倉学の周知を図ります。
- ・佐倉学副読本や資料の活用により、「佐倉学」を一層充実させます。
- ・佐倉学事業の充実を図ります。

(6) 新たな佐倉の魅力の発見と、芸術文化の普及をはかります

- ・市の歴史や文化を表象する資産について、各種講座や見学会等を開催し、郷土への関心と愛着を高めます。併せてこれらの資産に関して、ホームページやチラシ等で広く情報発信を行い、佐倉の歴史文化的魅力について市内外に周知します。
- ・芸術文化に関する様々な展覧会や演奏会等の実施をとおして、市民が芸術文化に親しむ機会を充実させます。また各種芸術文化団体の主体的な活動を支援し、その育成を行います。
- ・大学機関等との連携により、教育・文化の振興と発展、人材育成に資する事業を実施します。また地域の中で芸術文化の役割を探り、連携事業の展開を支援します。
- ・【新規】日本100名城に選定されている佐倉城跡の大手門周辺について、発掘調査に向けた取り組みを進めます。

(7) 安心して学べる教育環境の整備をはかります

- ・東日本大震災を教訓として、防災体制を充実させます。
- ・小中学校の耐震化を完了させるとともに、施設の維持管理に努めます。
- ・小中学校の教材備品を計画的に購入し、教育環境を整備します。
- ・児童生徒が安心して通学ができるように、安全の確保に努めます。
- ・【新規】小中学校のパソコン教室における機器をタブレット端末としても使用できる機種に更新（～28年度）し、コンピュータを活用した情報教育を充実させます。【平成26年度から新規】

(8) 様々な場面で市民が学ぶことのできる機会の提供をはかります

- ・各公民館、図書館の事業を充実させます。
- ・コミュニティカレッジさくらの整備、活動事業を推進します。
- ・【新設】老朽化の進む志津公民館について、建替え整備を完了させ、複合施設として新規に開館します。

Ⅲ-1 教育ビジョンに基づく施策の内容

(1) 地域の教育力の向上をはかります

市民一人ひとりが身近な地域社会に目を向け、誇りと愛着を持って地域の教育活動に参加し貢献できる環境を創り上げることで、地域の教育力を高めます。

家庭はすべての教育の出発点であることから、市民が家庭教育の重要性を再認識できるよう、学習機会や情報の提供など行政による一層の支援を行います。

また、学校・家庭・地域が十分に連携し、より良い教育環境や社会環境を構築できるよう、新たな教育施策の展開を進めます。

■ 地域に開かれた学校づくり

・地域全体で子どもたちの安全を守る組織の構築をさらに進めるため、情報交換やスクールガードフォーラムなどを開催し、ボランティア活動を支援します。

➤ 開かれた学校づくり推進事業

・地域の方や保護者などが学校の運営に参画することで、地域に開かれ地域に支えられる学校づくりを推進し、順次拡大できるように努めます。

➤ 学校運営委員会による学校運営への取り組み

〔白銀小学校、寺崎小学校、下志津小学校、南志津小学校、和田小学校、
臼井小学校、臼井南中学校〕

■ 地域とのつながりや連携の推進

・地域で子どもたちを育てる環境を充実するため、青少年の奉仕体験活動などの充実や、地域において各世代が参加・参画・交流できる事業の展開を支援します。

➤ 地域との連携による通学合宿の実施

➤ 地域と学校、他地域との交流活動の推進

➤ 地域との連携による公民館祭や世代間交流事業などの実施

■ 家庭教育の充実

・家庭教育に関する学習機会の提供など、各種の家庭教育支援事業を展開し、家庭の教育力の向上に取り組めます。

➤ 家庭教育支援の充実

➤ 家庭教育に関する情報提供

・学校や公民館などとの連携による家庭教育を充実させます。

➤ 中学生を対象とした家庭教育に関する学習機会の提供

➤ 各小中学校、市立幼稚園における家庭教育学級の充実

➤ 各公民館による家庭教育事業の充実

■ 公民館等の社会教育機能の拡充

・高等学校や大学等の教育機関や人的資源等の教育機能を活用し、市民を対象とした公開講座を実施します。

➤ 大学、高等学校公開講座の実施

・公民館や図書館などで社会教育事業を推進します。

➤ 各種講座の実施

・図書館の郷土資料を充実させます。

➤ 郷土資料の収集

- ・自力では図書が読めない方を対象に音訳サービスを行います。
 - 対面朗読サービス
- ・各図書館において幼児・児童向けのおはなし会や、一般を対象にした講座等を開催し、読書に親しむ機会を充実させます。
 - 絵本のおはなし会(幼児)、おはなし会(児童)、ブックトーク、ブックリサイクルの開催

■ 地域活動の担い手の育成

- ・地域の人材育成をめざし、カレッジ事業、ボランティア養成講座などを開催します。
 - コミュニティカレッジさくら
 - さくら学び塾
 - 市民カレッジ事業
 - ボランティア養成講座

■ 幼稚園児の就園の支援

- ・幼稚園の教育環境を充実させるとともに、園児の就園を支援します。
 - 幼稚園児就園支援

■ 関係機関との連携強化

- ・地域の青少年を健全に育成するため、学校・家庭・地域の三者が連携して組織しているPTA活動団体を支援します。
 - 市PTA連絡協議会の活動支援
 - その他関係機関・関係部局との連携による、各種情報の収集と提供の推進

(2) “佐倉の教育” への市民参加の促進をはかります

市民一人ひとりの力によって佐倉の教育が支えられ、魅力ある佐倉が築き上げられることから、引き続き教育への市民参加の推進に努めます。

■ 教育に関する市民参加の促進

- ・市民が佐倉の教育について理解を深めることができるよう、教育に関する意見交換や市民の学習成果を発表する場などを設け、市民の教育に関する関心や学習意識を高めます。
 - 市民との教育懇話会の開催
 - 市民学習発表会の開催
- ・学習機会や生涯学習関連施設等の情報、各種団体の活動情報などを市民に提供し、家庭や地域における教育活動を支援します。
 - 『我ら学び隊』、『さくらあそび場百科じてん』の発行
 - 『公民館だより』等の発行
 - ホームページによる学習機会や文化行事等の情報提供
- ・市のホームページや『こうほう佐倉』等を活用し、教育に関する情報の提供を推進します。
 - 教育に関する情報提供の推進

■ 市民による教育と文化の育成

- ・市民から読書感想文や読書感想画を募集し、市民読書感想文集「さくらおぐるま―読者の広場―」を発行します。
 - 市民読書感想文集「さくらおぐるま―読者の広場―」発行
- ・11月16日の「佐倉市教育の日」について周知に努め、市民とともに教育と文化を育みます。

■ 市民との協働事業の推進

- ・教育に関する市民の関心と理解を深めるとともに、当市の教育の充実と発展に資するため、「佐倉市教育の日」を中心に市民参加の各種事業を展開します。
 - 「佐倉市教育の日」関連行事の開催
- ・市民が企画運営に参加・参画する各種事業や行事を開催するとともに、共催や後援による協働事業を推進します。
 - 佐倉市民文化祭の開催

(3) 確かな学力の向上をはかります

学習指導要領では、知識基盤社会において「生きる力」を育むことが重要であると位置付けられ、「確かな学力」を身につけることが大きな柱となっています。

そのため、将来にわたって学習し続ける意欲や態度を身につけられるよう、各施策を推進します。

■ 確かな学力の向上

- ・児童生徒の確かな学力を保障するため、教員の教材研究及び教科研修に活用する教科書及び指導書を購入し、各学校に配置します。
 - 教科書指導書購入事業
- ・学習指導要領に基づく学習の習熟度を把握するため、全国学力・学習状況調査の全数調査に参加するとともに、佐倉市独自の学習状況調査を実施し、その結果をもとに各学校における児童生徒の確かな学力の定着を図る取り組みを推進します。
 - 全国学力・学習状況調査（国語、算数・数学、理科）への参加（対象：全小中学校 小学校6学年・中学校3学年）
 - 佐倉市学習状況調査（国語、算数・数学、理科、英語）の実施（対象：小中学校全学年。英語は中学校のみ実施。）
 - 各学校における学習状況調査結果の分析と個別指導の徹底
 - 問題解決的な学習の手法を取り入れた授業改善
- ・一人ひとりの児童生徒に確かな学力を身に付けさせるため、基礎・基本の確実な習得を図る取組を推進します。
 - 小中学校における「好学チャレンジ教室」の開催
 - 好学チャレンジプリントの活用による基礎・基本の徹底
 - 各学校におけるドリルタイムの工夫や補充学習の充実など学力向上の取組
- ・すべての教育活動をとおして言語活動を充実させ、学習の基盤となる国語力の育成に努めます。
- ・児童生徒の思考力や判断力、表現力などを培う、探究・協同型の授業改善を推進します。

- ・習熟度別指導や発展学習・補充学習を取り入れた学習など、個に応じた指導の充実を図ります。
- ・研究指定校や研究モデル校を指定し、小中学校教育課程の効果的な展開、学習指導の内容や指導方法の改善などに取り組みます。

〔文部科学省研究指定校〕

「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」

：佐倉小学校、南志津小学校、染井野小学校（H25～27）、
：白銀小学校（H26～27）

「教育課程特例校」：臼井小学校（H26～28）、王子台小学校（H27～29）

〔国立教育政策研究所指定校〕

「学力把握実践研究協力校」及び「学習指導実践研究協力校事業」：上志津小学校（H27）

〔千葉県知事部局指定校〕

「NIE推進事業」：臼井南中学校（H26～27）

〔千葉県教育委員会指定校〕

「地域における食育指導推進事業」：西志津小学校（H26～27）

〔千葉県小中学校体育連盟印旛支部研究指定校〕

「学校体育研究」：根郷中学校（H26～27）

〔佐倉市研究モデル校〕

- 「健康な生活をおくる資質や能力を育む体育・健康教育」
：印南小学校（H23～27）
- 「生徒指導の機能を活用した学習指導」：志津中学校（H26～27）
：臼井西中学校（H27～28）
- 「言語活動を活用した学習指導」：佐倉小学校、南志津小学校（H25～27）、
：小竹小学校（H25～28）：染井野小学校、根郷小学校（H26～27）
：上志津小学校（H26～）
- 「佐倉の歴史や文化、先覚者の生き方に学ぶ佐倉学」：間野台小学校（H26～27）
- 「コミュニケーション能力を育成する英語・外国語活動」
：臼井小学校（H26～28）：王子台小学校（H27～30）
- 「活用力を育成する学習指導」：青菅小学校（H25～28）
- 「豊かな心を育む道徳教育」：千代田小学校（H26～）
：佐倉中学校、南部中学校（H27～）
- 「地域の自然を生かした学習指導」：佐倉東中学校（H27～28）
- 「特別支援教育の視点を生かした教育」：佐倉東中学校（H25～28）
- 「充実した表現・鑑賞活動を高めていける児童の育成」
：下志津小学校（H27～28）

※研究モデル校とは、当市の教育施策の具現化に向け、モデル校として課題解決について実践研究を進める学校です。

〔その他〕

（地方技術教育センター指定）

➤ 「技術・家庭科」：佐倉中学校（継続）

（青少年赤十字活動採用校）

- ・内郷小学校（継続）、千代田小学校（継続）、志津小学校（継続）
- ・南志津小学校（継続）、
- ・佐倉中学校（継続）、井野中学校（継続）、佐倉東中学校（継続）

➤ 公開研究会への支援

＜平成27年度授業公開及び公開研究会予定校＞

- ・臼井南中学校 学力向上交流会「国語科、社会科、数学科、理科、英語科」
- ・根郷中学校公開研究会「体育科」
「運動の特性に触れながら、みんなでできる！わかる！が実感できる体育学習」
- ・上志津小学校授業公開「学習指導の改善」
- ・間野台小学校公開研究会「社会科・生活科」
- ・南志津小学校授業公開「国語」
- ・根郷小学校授業公開「社会・生活・特別支援」
- ・西志津小学校公開研究会「食育」

■ 学習意欲の向上

- ・経済的な支援が必要な高校生を対象として奨学金を支給し、修学援助を行います。
 - 奨学資金補助事業
- ・経済的な理由により就学が困難な児童生徒を支援するため、就学援助制度により経済的な負担の軽減を行います。
 - 小中学校就学援助事業
- ・教員志望の大学生を活用して実施している「学力向上支援事業」や「ちば！教職たまごプロジェクト」等を継続して実施します。
 - 大学等との連携による学力向上サポートティーチャーの受け入れ
 - 千葉県たまごプロジェクト研修生の積極的な受け入れ
- ・外国人英語指導助手を全小中学校に派遣することで、英語教育や外国語活動、国際理解教育を推進します。
 - 外国人英語指導助手の派遣
- ・理科実験支援員を小学校に派遣することで、実験・観察等の授業の充実、科学への関心・意欲の向上、理科室等の環境整備を推進します。
 - 理科実験支援員の派遣
- ・環境学習資料等を活用し、佐倉市の環境に関心を持つとともに、各学校における奉仕的な活動や緑化推進運動などの体験をとおして、地域の自然や社会と積極的に関わろうとする態度を育成します。
 - 環境教育に関する指導資料や啓発資料の活用
- ・児童生徒が自然の不思議さや科学の楽しさを味わい、自然現象への興味や関心を高め、自ら科学する心を育む取り組みを進めます。
 - 自然科学に関する「楽しい科学教室」の開催
 - 「児童生徒科学工夫作品展」の開催
 - 県立佐倉高校との連携による「科学の甲子園ジュニア千葉大会」への参加

■ 指導の質の向上

- ・弥富小学校の複式学級の解消と少人数によるきめ細かな指導を行うため、市単独予算による学校支援補助教員を配置し、教育支援を行います。
 - 小規模校学校活力向上事業
- ・きめ細かな少人数指導またはチームティーチングを展開して、個に応じた学習支援を行うため、学校支援補助教員を配置します。
 - 少人数指導支援推進事業

■ 教職員の質の向上

- ・教職員の使命感の涵養と指導力の向上を期して、「佐倉市教職員研修体系」に基づき各種研修会や会議を開催し、新しい時代に対応できる教職員の資質の向上に取り組み、その専門性と力量を高めます。
これまでの研修の成果を踏まえ、外部機関との連携を深め、研修方法や内容を見直し、

教職生活の全体を通じた教員の資質能力の向上を図るよう努めます。

〔基本研修〕

- 8年目教員研修会

〔職務別研修〕

- 校長・教頭研修会 ➤ 教務主任研修会 ➤ 研究主任研修会
- 安全主任研修会 ➤ 養護教諭研修会 ➤ 栄養教諭・学校栄養職員研修会
- 学校事務職員研修会

〔専門研修〕

- 国語研修会（部会共催） ➤ 歴博講座
- 算数・数学研修会（部会） ➤ 理科研修会（部会）
- 佐倉学研修会 ➤ 道徳研修会
- 英語指導助手・英語教諭合同研修会（ALT・JTE合同研修会）
- 小学校外国語活動研修会（部会共催） ➤ 教育相談基礎講座 ➤ 学校保健研修会
- 体育研修会（部会） ➤ 大学公開講座
- 教職員実践研究発表大会 ➤ 長欠対策研修会 ➤ 人権教育研修会
- 特別支援教育研修会 ➤ 教育講演会 ➤ 学校図書館司書研修会
- 理科実験観察研修会

〔担当者会議〕

- 校長会議 ➤ 教頭会議 ➤ 教務主任会議
- 生徒指導担当者会議 ➤ 特別支援教育担当者会議 ➤ 学校図書館担当者会議 等

- ・指導主事等が計画的に学校を訪問し、指導や助言等を行うことにより、各学校における授業の改善や教員の指導力向上などに取り組みます。
 - 指導主事のタイムリーアドバイスによる支援
 - 第43回教職員実践研究発表大会の実施（平成27年8月7日）
 - 指定校・モデル校の指導主事等担当制
- ・教育委員会が、校（園）長の求めに応じ学校（園）を訪問し、教育委員会のあらゆる機能を活用してもらうことにより、市内各校（園）の学校経営の改善に取り組みます。
 - 教育委員会訪問
- ・学校・家庭等における教育課題について、教育センターで調査・研究した結果をもとに報告・提言し、また、長期研修を行った市内小中学校の教諭等が研修内容について報告を行います。
 - 佐倉市教育センター等報告会の開催

（4）豊かな心と丈夫な体の育成をはかります

学校教育では、引き続き「生きる力」を育む教育を目指し、「確かな学力」と「豊かな心」と「健やかな体」のバランスがとれた教育施策の充実を行います。

また、いじめは重大な人権侵害に当たるという共通認識のもとに、学校・地域・家庭が一体となって、その防止に取り組みます。

■ 心の教育の充実

- ・児童生徒の郷土佐倉への愛着を育むとともに、社会貢献の重要性を理解できるよう、郷土の先人や佐倉を素材とした道徳副読本のよりよい活用に取り組みます。
 - 佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」の活用

➤ 【拡充】佐倉独自の道徳教材資料の新規開発によるさらなる内容の充実

- ・市立美術館や音楽ホール等の教育機関と連携を行い、優れた芸術文化に触れることにより、豊かな心を育みます。

また、児童生徒を対象とした学校の美術教育を支援します。

- 学校連携プログラムに基づいた美術館学芸員による出前講座の実施
- 美術館での美術鑑賞教室
- 第61回佐倉市文化祭 幼・小・中学校図画書写作品展の開催
- 学校巡回音楽会等の開催

- ・社会人活用による授業の充実や小学校及び中学校におけるキャリア教育を推進することで、児童生徒が他人の生き方や働くことの大切さなどを学び、自分の生き方や将来を考える機会を提供します。

- 社会人活用による授業の充実
- 【拡充】小・中学校におけるキャリア教育の推進
「外科手術体験セミナー」

- ・学校における校外活動の実施により、自然体験活動や環境教育を推進します。

- 佐倉少年少女発明クラブの実施
- みどりの少年団活動の実施
- チューリップの植え付け体験学習の実施 など

- ・豊かな人間関係づくりを目的とする指導プログラム等の活用により、児童生徒の心の居場所となる学校、学級づくりを推進します。

- 児童生徒の心を育てる取り組みの推進

■ 一人ひとりのニーズに合った教育の推進

- ・学校の特別支援教育体制を一層充実させるため、佐倉市教育支援委員会を開催するとともに、必要な学校に特別支援教育支援員を配置するなど、一人ひとりのニーズに合った教育を推進します。

- 佐倉市教育支援委員会の開催
- 特別支援学級と通常の学級への特別支援教育支援員の配置
- 特別支援教育専門家チームのサポート体制
- インクルーシブ教育システム構築モデル事業【H25年度～27年度】

■ 学校教育相談の充実

- ・児童生徒が個々の目標を達成するために必要な資質、能力、態度を育成し、社会への適応力を高めることができるよう、教育センターや適応指導教室などを活用し、発達相談も含めて教育相談を充実させます。

- 児童生徒教育相談事業の充実
 - ・教育センターやヤングプラザにおける電話または来所相談
 - ・適応指導教室（志津教室／佐倉教室）の充実による通級指導、相談
 - ・学校教育相談員（10名）による教育相談、発達相談
 - ・心の教育相談員による教育相談
 - ・【拡充】スクールカウンセラーによる教育相談（中学校11校、小学校1校）
※平成26年度より小学校1校が加増。
- 生徒指導専門家チームのサポート体制

■ 読書や芸術・文化学習の支援

- ・各学校で取り組んでいる「朝の読書」などの読書活動の充実に加え、学校図書館司書を配置し、学校図書館の有効活用、市立図書館との連携を進めます。
 - 読書活動の推進
 - 学校図書館司書の配置（11名）→ 中学校区を単位の配置
 - 学校と市立図書館との連携事業の推進
- ・課題図書等の新規購入や老朽化した図書の更新等、学校図書館の蔵書の整備を行います。また、各学校の図書館へ学習教材用の新聞を配備し、読書センター及び学習・情報センターとしての機能の維持に努めます。
 - 小・中学校図書館図書整備事業
- ・絵本のおはなし会を実施し、絵本の読み聞かせ、すばなしなどをとおして、おはなしの世界の豊かさを感じてもらいます。
 - 絵本のおはなし会
- ・小学校及び保育園を訪問し、絵本の読み聞かせなどを行い、読書普及に努めます。また、先生方への情報提供を行います。
 - 小学校・保育園訪問おはなし会
- ・小中学校を対象に、オーケストラや和楽器などの質の高い演奏会を提供します。また、少年少女合唱教室及び少年少女ハンドベル教室を開催します。
 - 学校巡回音楽会、各種教室事業（少年少女合唱教室、少年少女ハンドベル教室など）の実施
- ・学校と連携して、児童生徒を対象とした学校の美術教育を支援します。優れた芸術文化に触れることにより、豊かな心を育みます。
 - 学校連携プログラム（美術館送迎バス・出前講座・美術鑑賞教室・美術教材の貸出等）

■ 学校給食を活かした食育の推進

- ・学校給食をとおして、児童生徒及び家庭・地域における食育と健康教育を推進します。また、食に関する指導の充実と生活習慣病予防教育における個別相談指導を行い、望ましい食習慣の確立に取り組めます。
 - 安全・安心な給食を提供するための地場産物を中心とした献立作りの推進
 - 郷土の先覚者である津田仙ゆかりの西洋野菜を取り入れた献立作りの推進
 - 地場産物を使用した「佐倉・城下町400年記念メニュー・お殿様献立」の実施
 - 地産地消を推進するための「地場産物推進会議」の開催
 - 家庭や地域を対象とした学校給食試食会、家庭教育学級等における食育の推進
 - 教科等と関連づけた「食に関する年間指導計画」に基づく指導の充実と児童生徒の望ましい食習慣の確立
 - ホームページの活用、イベントへの参加による食育等の情報提供の推進
 - 生活習慣病予防教育における食生活個別相談の充実
 - 給食施設設備の維持補修及び更新等
（佐倉小学校給食室の大規模改修）
 - 給食用食材の放射能測定検査の実施

■ 児童生徒の体力向上の推進

- ・児童生徒の体力向上に向けての取り組みを進めます。
 - 第61回佐倉市文化祭小中体育大会の開催（平成27年10月23日）
 - 全国体力・運動能力、運動習慣等調査への協力
（対象校：小学校全校、中学校全校、対象：小学校5年、中学校2年）
 - 各学校での新体力テストへの積極的な参加と結果の分析
 - 体力運動能力調査A判定の児童生徒への運動能力証、体力優良証の交付
 - 体力向上推進会議等における体力向上推進のための協議
 - 学校プールの水質の検査と管理の実施
 - 民間プールとの連携による水泳授業の取組（佐倉小・西志津小）
- ・定期健康診断、各種検診の実施及び事後措置を徹底し、児童生徒の健康の保持増進に努めます。
 - 生活習慣病予防を目的とした健康診断、心臓・腎臓疾患予防対策、歯科管理健診、結核予防対策
 - 養護教諭と栄養教諭・学校栄養職員の専門性を活かした生活習慣病予防教育
 - 学校歯科医と歯科衛生士の協力を得た歯科管理健診
 - 学校医・学校歯科医・学校薬剤師や地域関係者の協力を得た学校保健委員会の推進

（5）「佐倉学」の推進をはかります

佐倉市には印旛沼などの恵まれた自然と原始・古代からの歴史、城下町として培われた文武両面にわたる文化、そして、好学進取の精神に富み優れた業績を残した先覚者がいます。

郷土佐倉に対して愛着を持つためには、佐倉をより深く知ることが大切です。今後も佐倉学を積極的に推進します。

■ “佐倉ならではの” 情報発信の強化

- ・「佐倉学」に関して、様々なメディアを活用した情報発信等を行うとともに、小中学生から一般までを対象とする「佐倉学」に関する図書を選定を行い、市民への普及を促進します。
 - 佐倉学に関する情報発信の強化
 - ・図書館等に設置している「佐倉学」に関する資料等の充実
 - ・「佐倉学」推薦図書の選定及び普及
 - ・「佐倉学」に関係する映像資料の活用
 - ・「佐倉学」リーフレットの配布と活用
- ・国、県、市の指定・登録文化財及び市内に伝え残されている文化資産を保護するとともに、各種普及事業や広報活動を展開し、文化財愛護の意識を高めます。また、身近にある歴史資料や民俗資料等を貴重な文化財として収集、分類保存し、郷土学習の資料として活用できる体制を整えます。学校や公共施設等と調整を図りながら、埋蔵文化財発掘調査による出土品等の展示公開を進めます。
 - 市内に所在する指定文化財等の周知、公開
 - ・年間を通じた旧堀田邸、武家屋敷、佐倉順天堂記念館の公開と特別公開、及び展示内容の再検討
 - ・文化財や市民文化資産の見学会、文化財施設でのイベント開催など
 - 刊行物やリーフレット等による文化財普及活動の実施
 - ・『佐倉順天堂』、『風媒花』、『佐倉さんさくミニ見ガイド』、『臼井さんさく

『ミニ見ガイド』、『志津さんさくミニ見ガイド』、『国史跡井野長割遺跡』、『国指定史跡本佐倉城跡』、各文化財施設の解説リーフレットなど

- 埋蔵文化財の周知、公開
- 史跡、遺物の公開や見学会の実施

- 佐倉ゆかりの美術作家等の調査、研究を行い、図録など記録資料を作成し、その発表の場として展覧会を開催します。

■ 「佐倉学」の推進

- 各学校で「佐倉学」に取り組むことで、児童生徒の郷土佐倉への興味、関心を高め、新たな学習意欲を向上させます。
 - 各学校における「佐倉学」の推進
 - 佐倉学副読本「ふるさと佐倉の歴史」の活用による指導の充実
 - 佐倉の自然に関わる教科横断的な学習の推進
 - 「佐倉学」に関する学習に文化課・美術館職員を派遣
 - 【新規】津田塾大学と連携した「佐倉学」学習の推進【平成26年度から新規】
- 「佐倉学」をテーマとする各種講座等の開催や小中学生を対象にした「佐倉っ子塾」を開設することにより、「佐倉学」を推進します。
 - 公民館などにおける「佐倉学」の講座、体験講座の開催
 - 各公民館における「佐倉っ子塾」の開設

■ 地域教材を活用した学習の推進

- 社会科副読本や佐倉学副読本等の学習指導資料を作成し、その活用を行うことにより、本市の特色を活かしながら、各学校の地域性に対応した学習指導を充実させます。
 - 社会科副読本『わたしたちの佐倉市』の全面改訂
 - 佐倉学副読本『ふるさと佐倉の歴史』の部分改訂

(6) 新たな佐倉の魅力の発見と、芸術文化の普及をはかります

佐倉市には、国指定文化財の本佐倉城跡、井野長割遺跡及び旧堀田邸・庭園をはじめとして、国縣市合わせて95件の指定・登録文化財、11件の選定市民文化資産が所在します。引き続き、これらの保護や保全を継続することと併せ、これらの文化財に代表される文化資産について、市民共通の財産として文化価値を広く周知するとともに、資産の活用から新たな佐倉の魅力発見につなげます。

■ 新たな学ぶ意欲の喚起

- ふるさと佐倉の歴史や文化を学ぶことで、日本の歴史や文化への理解を深めます。また、英語教育などをおして国際理解教育を推進し、国際社会に生きる日本人としての協調の精神や、主体的に行動できる児童生徒を育成します。
 - 楽しい英語教室・楽しい日本語教室の開催
(小学生対象、外国児童生徒対象、夏季休業中に開催)
 - 佐倉日蘭協会との連携によるオランダ児童との交流、オランダ関連事業の開催

■ 歴史文化資産の保全活用

- 歴史的、文化的資産について、市民を対象とした各種講座を開催して郷土への関心

と愛着を高めるほか、文化財施設や史跡などの価値を発信し、佐倉市が持つ潜在力を市内外に広めます。

- 市民文化資産選定制度と既選定物件の周知
- 市民文化資産の選定・保全、活用と普及
- 歴史文化資産の学習会・見学会の実施
- 【新規】佐倉城跡大手門周辺の発掘調査に向けた取り組み

■ 歴史的建造物の保全・整備

- ・歴史的建造物は、地域の歴史を目の前にわかりやすい「形」として展開するものであるため、景観の形成を含め市内外にアピールできる資産として適切に保全を進め、将来的な整備につなげます。
 - 歴史的建造物の調査、保全、活用
 - 登録有形文化財制度の周知と登録物件の活用
 - 旧平井家住宅整備に向けた活用策の検討
- ・国指定史跡本佐倉城跡の史跡整備に向け検討を進めます。
- ・国指定史跡井野長割遺跡保存のための整備計画の策定を進めます。

■ 芸術・文化活動の充実

- ・芸術文化に関する情報や学習機会を提供するとともに、芸術文化活動団体を支援します。
 - 文化情報誌「風媒花」の発行
 - 名作映画上映会「キネマの夕べ」の開催
 - 佐倉市役所ロビーコンサートの開催
- ・市民音楽ホールを音楽活動の拠点として、多彩な事業を展開し、音楽に親しむ機会を充実させます。
 - 各分野にわたる鑑賞事業の実施
(横山幸雄ピアノ・リサイタル、親子でコンサート、音楽劇「わが町」、森麻季ソプラノ・リサイタル、午後の名曲コンサート、前橋汀子ヴァイオリン・リサイタル、アンサンブル・ウィーン、ニューイヤール・コンサート ほか)
- ・市立美術館を市民の美術鑑賞と作品発表の拠点として、各種展覧会の企画、開催、普及活動を通じ、美術に親しむ機会を充実させます。
 - 収蔵作品の中から、対話による鑑賞に適した作品を展示し、鑑賞コミュニケーターによる鑑賞会などを行う。
 - ・「ミテ・ハナソウ展」
 - 雑誌や少女向けの文房具など様々な媒体で少女の画を発表し、少女文化を代表する画家となった佐倉市在住の高橋真琴の画業を紹介する展覧会を開催。
 - ・「高橋真琴の原画展—佐倉で描かれた少女たち—」
 - コンピュータなど先端技術を駆使したメディアアートと呼ばれる作品を紹介し、作品と観客がお互いに反応し合う双方向性を持った来場者参加型の巡回展を開催。
 - ・「魔法の美術館」展
 - 佐倉と広く房総にゆかりのある作家の業績を顕彰する収蔵作品を中心とした展覧会を開催。
 - ・「収蔵作品展」 年4回

- 美術を身近に感じてもらうための活動
 - ・「アートプロジェクト事業」「第9回アート・フォト・サクラ」
- 市民の創作活動の発表の支援
 - ・第34回新春佐倉美術展、市民ギャラリー〔展示室・ホールの貸出し〕
- ・文化団体等の主体的な活動を支援し、その育成を行います。
 - 文化団体連絡協議会などの芸術文化団体の支援
- ・大学機関等との連携により、教育・文化の振興と発展、人材育成に資する事業を実施し、地域の中で芸術文化の役割を探り、連携事業の展開を支援します。
 - 学校法人女子美術大学、学校法人順天堂等との連携協働

(7) 安心して学べる教育環境の整備をはかります

児童生徒の安全を確保するとともに学校施設が災害時の避難所に指定されていることから、優先的に耐震改修を実施します。

また、建築後、年数が経過している学校施設が多いことから学校の維持補修や、運動場の整備、施設設備のバリアフリー化などの課題にも取り組みます。

この他、学校施設への不審者の侵入に対する対応や、通学路における児童生徒の安全確保に努めます。

■ 学校の施設整備の推進

- ・学校教育環境向上のための施設整備を促進します。
 - 小学校施設改築・改造（平成27年度完了予定事業）
 - ・内郷小学校体育館耐震補強工事（※継続費）
 - ・印南小学校校舎耐震補強工事（※継続費）
 - ・千代田小学校校舎耐震補強工事（※継続費）
 - ・千代田小学校体育館耐震補強工事（※継続費）
 - ・上志津小学校体育館耐震補強工事（※継続費）
 - ・志津小学校校舎耐震補強工事（※継続費）
 - ・下志津小学校校舎改築工事（※継続費）
 - ・下志津小学校校舎耐震補強工事（※継続費）
 - ・下志津小学校体育館耐震補強工事（※継続費）
 - ・南志津小学校校舎耐震補強工事（※継続費）
 - ・井野小学校校舎耐震補強工事（※継続費）
 - ・小竹小学校体育館耐震補強工事（※継続費）
 - 中学校施設改築・改造（平成27年度完了予定事業）
 - ・南部中学校校舎改築工事（※継続費）
 - ・臼井中学校校舎耐震補強工事（※繰越明許費）
 - ・臼井中学校体育館耐震補強工事（※継続費）
 - ・上志津中学校校舎解体工事

※（継続費）とは、事業を実施する際にあらかじめ、平成26年度から平成27年度までの2ヶ年で工事期間を設定した事業です。

※（繰越明許費）とは、平成26年度の事業で年度内の完了が見込めないため、市議会の議決により平成27年度へ予算の繰り越しを行った事業です。

- ・災害発生時における通信手段のより一層の確保に取り組みます。
 - 市内公立幼稚園、小中学校等への災害時用PHS電話の設置

■ 学校の教育環境の整備

- ・「東日本大震災」を教訓とした防災体制の推進及び防災教育を充実させます。
 - 学校危機管理マニュアルの改善、防災避難訓練や防災教育の充実
- ・児童生徒の毎日の学習が支障なく行えるように、小中学校の教材備品などの維持管理を行います。また、(平成26年度から28年度にかけて)小中学校のパソコン教室における機器をタブレット端末としても使用できる機種に更新し、教育環境の整備を図るとともに、コンピュータを活用した情報教育を充実させます。
 - 小中学校教育振興事業
 - 小中学校コンピュータ利用教育事業

■ 通学路の安全の確保

- ・児童生徒が安心して通学できるように、安全の確保に努めます。
 - 学校通学路安全確保事業

(8) 様々な場面で市民が学ぶことのできる機会の提供をはかります

歴史や自然、芸術文化、スポーツなど、市民が行う学習活動の範囲は多岐にわたっていることから、学習環境の整備を行い、学級や講座を開催するなど、様々な機会や場所を提供します。

また、施設整備に関する地域からの要望も聴きながら、整備計画の中に位置付けていきます。

■ 生涯学習の推進

- ・コミュニティカレッジさくらの環境整備を進め、活動事業を推進します。
 - コミュニティカレッジ活動事業
(「さくら学び塾」を含む)
- ・人権、平和問題について考える機会を提供します。
 - 人権教育講座の実施
 - 終戦の日に合わせて図書館における平和関連書籍の配架
- ・スポーツに親しむ機会を提供します。
 - 学校の校庭や体育館の一般開放の推進
- ・文学、歴史及び芸術等の一般的教養に関する講演会を実施します。

■ 社会教育施設の整備の推進

- ・公民館や図書館など、社会教育施設の整備・補修を進めます。
 - 【新設】志津公民館の複合施設としての建替え整備(新築工事等完了。新規開館)

Ⅲ－２ 教育センター事業

○運営方針

- ・佐倉教育ビジョンを踏まえ、佐倉市教育の目指す方向性を把握し、学校教育・社会教育に関する調査を行い、これから求められる教育や学校像を明らかにします。
- ・各種相談活動については、相談者の課題が解決されるよう充実に努めます。
- ・教育課題の調査研究を通して、佐倉市教育の現状と課題について考察し、改善点を明らかにします。

○平成27年度 事業計画

月	主な事業内容
4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談開始 ・センター調査研究計画確認 ・学習状況調査作成委員会、佐倉学道徳副読本検討委員会準備 ・特別支援教育支援員研修会① 3日(金)14:00～(佐倉市立中央公民館) ・特別支援教育担当者会議 8日(水)13:30～(和田ふるさと館) ・学校図書館研修会① 28日(火)10:00～(佐倉市立中央公民館)
5	<ul style="list-style-type: none"> ・広報「佐倉市教育センターだより」VoL.36発行 ・言語教育研修会 21日(木)14:30～(教育センター)
6	<ul style="list-style-type: none"> ・佐倉学道徳副読本検討委員会① 10日(水)14:30～(教育センター) ・学習状況調査作成委員会① 17日(水)14:30～(和田ふるさと館) ・学校図書館研修会② 19日(金)10:00～(志津コミュニティーセンター)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員研修会② 17日(金)14:30～(佐倉市立中央公民館)
8	<ul style="list-style-type: none"> ・佐倉市教育相談基礎講座①②③ 3日(月), 4日(火), 17日(月) 9:30～(和田ふるさと館) ・学習状況調査作成委員会② 18日(火)9:30～(和田ふるさと館) ・佐倉学道徳副読本検討委員会② 19日(水)14:30～(佐倉市立中央公民館) ・特別支援学級等担任研修会 21日(金)9:30～(南部保健センター)
9	
10	<ul style="list-style-type: none"> ・佐倉市教育支援委員会① 2日(金)14:00～(社会福祉センター) ・広報「佐倉市教育センターだより」VoL.37発行 ・学習状況調査作成委員会③ 14日(水)14:30～(和田ふるさと館)
11	<ul style="list-style-type: none"> ・佐倉学道徳副読本検討委員会③ 11日(水)14:30～(教育センター) ・家庭教育に関する調査
12	<ul style="list-style-type: none"> ・佐倉市教育支援委員会② 3日(木)14:00～(社会福祉センター) ・学習状況調査実施：対象 中3 ・教職員意識調査実施
1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況調査実施：対象 小1～中2 ・今年度実施の調査のまとめ ・佐倉市教育支援委員会③ 14日(木)14:00～(社会福祉センター) ・佐倉市教育センター等報告会 26日(火)14:00～(佐倉市立美術館)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・広報「佐倉市教育センターだより」VoL.38発行 ・家庭教育に関する調査結果送付 ・学校図書館研修会③ 4日(木)9:30～(佐倉市立中央公民館) ・学習状況調査作成委員会④ 16日(火)14:30～(和田ふるさと館)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度佐倉市教育センター報告書発行 ・学習状況調査結果送付

※ 就学相談、教育相談、教職員相談、学校図書館・情報教育、教育情報・資料収集は通年実施

Ⅲ－３ 公民館事業

○運営方針

「佐倉教育ビジョン」及び「佐倉市公民館活動計画」の基本理念を踏まえ、地域の実態や市民生活の急速な変容に伴う学習要求や生活課題をとらえながら、住みよい地域づくりをめざす市民の連帯意識を高めます。

それとともに市民が自主的に「集う」「学ぶ」「結ぶ」活動を支援し、よって、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設として、その役割を果たすことに努めます。

中央公民館

○平成27年度事業計画

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
家庭 教育	3歳児あそびうた教室	3歳児と保護者 20組	6月～7月 5回 2月～3月 3回	遊びをとおして、幼児の自主性と豊かな心を育てあげることのできる親の態度を養う。
	家庭教育共通講座 「親子で食育講座」 (仮称)	小学生と親 12組 ※多数時父親優先	9月 1回	親子で正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、大切さを学ぶ。また、父親の家事・育児参加を促すことにより、男女平等参画の推進と家庭教育の充実を図るため、父親優先とする。
青 少 年 教 育	夏休み子どもゼミナール 【新規】	小学生5・6年生 15人	7月～8月 4回	世界の事を様々な講師から少人数制のゼミ形式で学ぶ。
	子どもの居場所作り	小学生	夏休み中	公民館を利用しているサークルが小学生を対象に指導し、日頃の学習の成果を披露する。折紙・華道・調理など。
	通学合宿	小学校4～6年生	7月下旬 ～8月中	夏休み期間中、学習室1を自主学習の場として提供する。
	親子映画会	小学生・幼児と その保護者	9月 3泊4日 (佐倉東小)	異年齢の子どもたちが親元を離れ、共同生活体験をすることにより、自主性・協調性などを高める。また、地域の住人との交流も図り、明るい地域づくりを期待する。
	親子映画会	小学生・幼児と その保護者	夏休み・冬休み 春休み・各1回	親子で映画を見ることで、楽しみながら映像文化に親しむ。
	佐倉市・女子美術大学連携協働事業 「JOSHIBIワークショップ」	小学生 20人	夏休み 1回	女子美術大学教員・学生の指導を受けながらアートを体験する。
水辺観察会 「夏休み子供水辺 探検ツアー」	小学生 20人	夏休み 1回	環境保全課と共催。谷津の生きものや、水質についての講義と野外観察を通じて佐倉の自然環境を学ぶ。	
成 人 教 育	健康増進教育講座【26 年度～】	成人 30人	9月 1回 3月 1回	介護予防に関する心身の健康に必要な方法や、家庭における健康管理に資する事を学ぶ。
	地域づくり入門講座	成人 20人	2月 1回	地域人材による講習会を行ない、地域へのつながりと興味を深める。
	パソコンイベント	成人 30人	11月 3回	パソコン等に触れ、操作することによって、どのようなものであるかを体験する。
	佐倉学講座 「佐倉の民話・伝説・小説・映画・写真から佐倉を詠む」	成人 90人	9月～12月 2回	佐倉を学ぶ身近な題材として、民話や伝説そして、小説・映画・写真などから郷土への理解を深めると共に、佐倉を学ぶ。
	佐倉学講座 「印旛沼」(仮称)	成人 50人	9月～12月 2回	佐倉の象徴として「印旛沼」を学び、かけがえのない豊かな自然環境を次の世代に伝えていくことの重要性を認識してもらおう。
	佐倉学講座 「佐倉・城下町400年」	成人 講座 80人 散策 各 20人	9月～3月 講座 1回 散策 2回	講座と佐倉地区の史跡散策を行い、土井利勝が佐倉城とその城下町を整備してから約400年の歴史を学ぶ。
佐倉学講座 「古今佐倉真佐子を歩く」	成人 20人	9～3月 1回	古今佐倉真佐子に記された場所を散策し、古くて新しい佐倉についての身近な発見する。	
印旛沼公開講座 「温故知新」 (環境保全課共催事業)	成人 90人	7月～12月 6回	印旛沼環境基金が主催し、環境保全課との共催事業。佐倉市のシンボルでもある印旛沼の状況と自然環境と水の浄化について学ぶ。	

	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	佐倉市民カレッジ 《であい課程》 第1学年・第2学年 2年間の学習コース 《専攻課程》 第3学年・第4学年 2年間の学習コース (以下の4コース) あつたか福祉コース ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース	【第1学年】 成人 100人	5月～2月 65回	高齢化社会のなかで、市民が健康で生きがいを持ち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をとおした生涯学習の場とする。「であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。「専攻課程」は、「であい課程」を修了後、更に学びたい人のための専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。1・2学年の合同学習を行い、公開講演会を実施し、一般市民への学習機会を提供する。
		【第2学年】 成人 98人	5月～2月 67回	
		【第3学年】 成人 88人	5月～2月 41回	
		【第4学年】 成人 86人	5月～2月 43回	
団体育成	佐倉地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 2団体	随時	子ども会の育成者を養成し、子ども会同士の交流を図る。佐倉市子ども会育成連盟主催の中央交流フェスティバル等に参加。
	佐倉学・体験講座ボランティア団体派遣事業 「佐倉の民話を語る」「佐倉こどもかるた普及事業」	幼児・児童・成人	随時	佐倉に伝わる民話を題材とした語りを行うグループ「さくら古」と「佐倉こどもかるた子都手留会」を市内小学校等に派遣し、民話や佐倉こどもかるたを通じて郷土愛を育む。
	中央公民館利用 グループ懇談会	利用団体代表者 約200団体	4月	利用者団体の交流を図り、公民館活動のあり方について懇談する。
	調理室利用者懇談会	定期利用団体	6月・12月	調理室の効果的利用方法を考えるとともに、懇談を通して利用サークル間の交流を図る。
広報活動	中央公民館だより	佐倉地区	年2回 各500部	公民館の事業紹介や市民カレッジの募集、地域の様々な情報を提供する。
	「なかま」	成人	毎月1回 1,500部	一般市民から広く原稿を募集し、市民による編集委員会により、編集・校正をする。
	ホームページ	市民	随時	中央公民館の主催事業等を掲載し、情報を提供する。
視聴覚教材	16ミリ映写機 操作講習会	社会教育団体 ・一般 20人	6月	視聴覚機器の操作を習得する機会を提供し、映像教材の活用を図る。
	16ミリ映写機点検事業	16ミリ映写機 保有施設	3月 1回	各施設所有の16ミリ映写機を老朽化に伴う上映使用時のトラブル防止のため、一括して点検を行う。
	視聴覚機器貸出	登録団体	随時	視聴覚ライブラリー所有機材・教材の貸出 *16ミリフィルム462本、ビデオ教材1383本、DVD教材150本

和田公民館

○平成27年度事業計画

	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	子育て教室	2・3歳児と保護者	6月～1月 9回	楽しい親子遊びをとおして、幼児の自立のための親の役割、環境作りや遊びの意義などについて共に考える機会とする。
	楽しく家庭教育講座	小学生以上の 保護者	7月～3月 3回	子どもがよりよく育つために、家庭の働きや、あり方、方法などを学習する。
青少年教育	剣道教室	地区の小学生 20名	5月～3月 39回	異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。
	軽スポーツ大会	地区の小学生 20名	10月中旬	地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
	夏休みおもしろ体験教室	地区の小学生 20名	7月～8月 1回	保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供し、子どもの自主性、協調性、社会性を高める。
	佐倉っ子塾料理教室	地区の小学生 各20名	6月～2月 3回	地域の食材を活かした料理教室を実施し、子どもの自立とふるさとへの愛着を深める。
	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	地区の小学生 各15名	年3回	創造力をはぐくむ講座(和田のはたおりや手工芸、凧作りなど、伝統文化の体験学習を予定)

	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	長命大学手芸教室	60歳以上の地区の成人10名	4月～3月 11回	手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりを図る。また受講生により、再利用を通じて物を大切にすることを子どもたちに指導する。
	長命大学交流会	地区の成人40名程度	3月 1回	長命大学生と地区の高齢者が集い、心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるように、和田地区交流バス見学会を実施する。
	和田地区防災訓練	地区の成人50名	1月下旬	地域づくりの実践現場で役立つ防災や防犯について実践的な訓練を行う。
成人教育 佐倉学	佐倉・城下町400年事業「ミニぞうりづくり」	市内の成人12名	1月～2月 1回	江戸時代の作り方そのまま現代風にアレンジした”ぞうりストラップ”を作る。
	佐倉学体験講座 ふるさと味工房	市内の成人各15名	7月～2月 4回	地域の伝統的食材を活かして地域間交流を図るとともに食文化の伝承を図る。【こんにゃく作り、太巻き寿司、大和芋、和田の新鮮野菜料理等】
	佐倉学入門講座 楽しく学べる和田地域塾	市内の成人15名	7月～1月 7回	地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗等を学び、実際に体験し、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。
	【新規】 終戦70年平和祈念特別展 「忘れ得ぬ記憶～戦争と和田村～」	一般成人	7/8～9/27	和田地区住民の手で編さんされた『忘れ得ぬ記憶』(平成2年刊行)を中心として、戦争体験、戦没者遺族の声などをパネルで紹介し、戦争の悲惨さを語り継ぎ、平和の尊さを学ぶための機会とする。
団育 団育成	団育成事業	和田小PTA民俗資料 収集委員会・和田はた おり保存会・和田地区 青少年育成住民会議	通年	地域の社会教育団体、住民団体等が継続的に活動できるよう、協力援助する。
広活 報動 展 示	公民館だより発行	和田地区全世帯	年4回発行	公民館情報や地域情報を和田地区全世帯に配布する。(各700部)
	歴史民俗資料室展示	一般	通年	和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示及び市内小学校の社会科見学の際に解説を行う。
図書 事業	図書貸し出し	一般	通年	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施する。

弥富公民館

○平成27年度事業計画

	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	親子遊びのつどい	2・3歳児と保護者10組	6月～2月 12回	子育てにおける家庭の働き、あり方や子供の発達に必要な事柄を親子遊びを通して学習する。また、幼児が点在し少ない弥富地区において子供と保護者双方の交流の場とする。
	家族で遊ぼう	小学校入学前の子供と家族20名	11月 1回	家族での野外活動体験を通じて、親と子、自然とのふれあいの大切さを学習する。
青少年教育	弥富剣道教室	小学生～中学生 20名	5月～3月 38回	剣道の稽古を通じて児童生徒の心身の鍛錬及び千葉県指定無形文化財「立身流」を学習する。
	星空観察会	弥富小学校の児童と保護者	5、8、11月 3回	弥富地区の豊かな自然の中で星空を観察することで科学への興味を育む。季節ごとの星座の移り変わりや天体の動きについて学習する。
	佐倉っ子塾 「なんでも体験弥富塾」	弥富小学校児童	5月～2月 11回	自然体験や工作、料理など様々な体験を通じて子供たちの創造性や協調性、豊かな心を育む。
成人教育	ふるさと弥富散策会	市内の成人 20名	1月、3月 2回	自然豊かな弥富地区の散策や地域の風習等の参加体験を通じて、地区に対する理解を深める。
	グラウンドゴルフ	弥富地区の住民	6月 1回	児童から高齢者まで幅広い層と一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して健康増進と異世代間の交流を図る。(弥富地区高齢者クラブ共催)
	竹炭づくり体験	市内の成人 10組	12月 1回	弥富地区の自然を活かした竹炭づくりの技法を体験する事により地域への理解を深める。
	健康づくり講座	弥富地区の成人 20名	6月～7月 6回	日常生活に必要な基礎体力を維持するための運動方法を学ぶことにより健康増進を図る。

		事業名	対象	期間・回数	内容
成人 教育	佐倉学	佐倉学体験講座 「くらしの講座」	弥富地区の成人 10～50名	6月～3月 8回	弥富地区で継承されてきた生活文化を次代に伝えると共に世代間を越えた交流を図り地域に対する郷土愛を育む。(バス研修、カステラづくり、太巻き祭り寿司、そば打ち体験、わらざり作り。)
	学	【新規】佐倉学入門講座 「弥富で楽しむ野鳥の話」	市内の成人 20名	10月 1回	身近に見られる野鳥について学び、弥富の良さを再発見するとともに自然保護への意識を高める。
	育	佐倉学専門講座 佐倉・城下町400年記念 事業「塩古ざるづくり」	市内の成人 10名	9月～11月 6回	弥富周辺地域(塩古郷)に昔から伝わるざる作りの技法を次世代に継承するため、材料づくりから編み上げまでの技法を学ぶ。
広報活動		公民館だより	弥富地区全世帯	年3回 約600部	公民館事業の案内、募集、弥富地区及び佐倉市全体または、市内他地区の情報提供等を行う。
団体 育成		地域まちづくり協議会 ふるさと弥富を愛する会	弥富地区の住民	通年	ふるさと弥富を愛する会の主催事業への協力等を通じて活動を支援する。
		弥富地区青少年 健全育成住民会議	弥富地区の住民	11月 1回	青少年健全育成住民会議主催の地区グラウンドゴルフ大会開催等の協力を通じて活動を支援する。
		弥富民俗資料展示室	佐倉市民	通年	民俗資料収集委員会の提供した資料の活用を図るとともに、施設の見学に対して説明、案内の効果的な実施に協力する。(案内:地域の高齢者)

根郷公民館

○平成27年度事業計画

		事業名	対象	期間・回数	内容
家庭 教育		親子で遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ	2歳児と 保護者40組 (20組×2コース)	前期:5月～ 7月 後期:10月～ 12月 各コース12回	親子と一緒に運動や絵本、手遊び・工作などを楽しみ、幼児の様々な発達を促す。また、家族の参加日を前期後期それぞれ2回設け、保護者だけでなく、家族ぐるみの交流を図る。
		親子ふれあい教室	幼児・小学生 及び保護者 20組	7月 1回	幼児や小学生が親子と一緒に体験実習することで身体の発達を促し、家族の係わり方を学ぶ。保護者同士の交流や情報交換を図る。
		親子体験教室	小学生 及び保護者 10組	5月～10月 5回	屋外活動やもの作りなど、計画から準備までの全てを親子で協力して行い、親子の交流を図る。ザリガニ釣り、おもちゃ作りなどを予定。
		食育実践講座	小学生以上の 保護者20名	11月 1回	豊かで健全な食生活を実践するため、正しい「食」の知識を身につけ、家族の係わり方を学ぶ。保護者同士の交流や情報交換を図る。
青 少 年 教 育		根郷公民館 通学合宿	根郷地区の小学 生 4年～6年 21名	6月 (3泊4日)	異年齢の子どもたちが親元を離れ、共同生活を体験することで自主性・協調性を高め、生きる力を育む。事業に協力する地域住民・学生との交流も図り、地域の絆を強める。
		体験学習・ものづくり講座	小学生 20人	6月～12月 10回	体験型事業として、「おもしろ科学実験隊」7回、「勾玉作り」1回、「水彩画教室」2回を開催し、子どものやる気や自主性・協調性を養う。
		子ども鑑賞教室	幼児～小学生 40名	7月・3月 各1回	映画や音楽などの鑑賞を通じて、次世代を担う子どもたちに豊かな情操を養うことを目的とする。(夏・春休み期間に実施)
		クリスマスコンサート	小学生 40名	12月 1回	音楽鑑賞等を通じ、次世代を担う子どもの情操教育に資する。地域の公民館で吹奏楽団(地域に根ざした市民楽団)の音楽に親しむ機会を提供する。

		事業名	対象	期間・回数	内容
青少年教育	佐倉学	佐倉っ子塾 環境政策課共通講座(水辺観察会)	小学生 20名	7月 1回	環境意識を育む講座(印旛沼などの自然環境やその他の自然体験学習により、環境への意識を育む)
		佐倉っ子塾 工場見学に行こう!	小学生及び保護者 20組	8月 1回	工場見学により、地域の産業や文化などを体験学習し、子どもの創造力や探究心などを育む(夏休みに実施)。
		佐倉っ子塾 佐倉子どもかるた教室	小学生及び保護者 10組	1月 1回	佐倉市の歴史、自然、文化、行事、人物など、佐倉をテーマに、親子でかるたの句を考え、読み札と絵札を作成する。「佐倉こどもかるた」(遊び)を通じて、ふるさと佐倉を知り、郷土を愛する心を育む。
成人	根郷寿大学	根郷寿大学	60歳以上 130名	5月～3月 11回	郷土の歴史や文化、健康づくり、社会現象等 幅広い分野を学び、教養の向上と社会参加の推進を目的とし、また受講者同士の交流を図る。 ①歴史・文化(佐倉の歴史・歌声コンサート等) ②健康づくり(生活習慣病予防) ③社会現象等(人権講座・ボランティア活動・社会見学等) 今年度は、受講者に講師を依頼し、学びあいの場を提供する。
		(市民公開講座) 生活習慣病予防講座	成人 20名	6月 1回	生活習慣病予防のため、日常生活の中で実践できる予防法を学ぶ(市民公開講座として開催)。
		【新規】(市民公開講座) 佐倉の歴史	成人 20名	8月 1日	ポスターやチラシなどを見ながら、佐倉市の歩みを学ぶ。(市民公開講座として開催)
		(市民公開講座) 人権講座	成人 20名	1月 1日	現代社会に潜在する様々な人権問題を学び、差別意識や偏見を無くす。(市民公開講座として開催)
人教	育	健康づくり講座	成人 40名	11月 4回	健康の維持増進を図り、生活習慣病予防を目的として、日常生活の中で簡単に出来る有酸素運動などを中心に健康体操を実践する。
		パソコン広場	成人 各回20名	4月～3月 毎月第2日曜日(12回)	パソコンボランティアを配置し、パソコン初心者に持ち込みパソコンの操作等に関する疑問を解決する場を提供する。
		ハンギングバスケット講座	成人10名	12月2回	季節を彩る花を使って、植物や機材の知識を習得しながらハンギングバスケットを制作する。
		防災講座	成人 30名	2月 1回	地域住民の防災意識を向上させることにより、地域の防災力を強化する。(避難訓練と講義)
		近代の佐倉講座	成人 30名	8月～3月 5回	佐倉をテーマに学び、郷土に関する知識を高めてもらう(「近代の佐倉」3回、「鉄道講座」2回を予定)。
団体育成	佐倉学	伝統の根郷産 こんにやく作り体験	成人 20名	12月 2回	体験型・参加型の講座。地域住民の協力を得て「こんにやく作り講座」を2回実施する。講座を通じて地域住民同士の交流を図る。
		根郷ふるさと探訪	成人 20名	5月,10月,11月 3回	根郷をテーマに学び、自然や史跡、習俗行事等を訪ね、郷土を再発見することにより郷土愛を高める。(寺崎散策:密蔵院の大祭を見学) 根郷地区周辺を散策しながら、季節の野草を観察し自然に親しむ。(春・秋に野草観察会)
		根郷地区社会教育 関係団体への支援	該当団体	通年	南部地区子ども会育成会連絡協議会、根郷地区青少年育成住民会議及び各種団体の活動を支援する。
広報	図書	定期利用者懇談会	利用団体代表者	5月 1回	公民館の活動について理解を深めて頂くとともに、利用団体からの意見、要望を聴く。また、グループ活動の意義の理解を深める。
		根郷公民館だより	根郷地区の各世帯及び事業所	4月・9月 10,500部×2回	公民館の主催事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行する。
その他	図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通年 1人10冊 2週間まで	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行う。
		夏休み自習室開放	小学生～成人	7月～8月 (夏休み期間)	夏休みの期間中、児童・生徒・学生等が個人学習に利用できる部屋を提供開放する。
その他	図書	卓球室開放	幼児～一般	4月～3月 第1日曜日 12回	家族や友人らと気軽にスポーツ(卓球)を楽しむ場を提供する。

志津公民館

○平成27年度事業計画

	事業名	対象	期間・回数	内容	
家庭教育	お母さんと遊ぼう	2歳児と母親 30組	5月～11月 16回	親子遊びを通して、子どもの成長を見守り子どもと親が共に成長する「育自」を体験する。	
	家庭教育共通講座 ～子育て応援講座～	子どもと保護者	11月～3月 2回	子どもが健全に育つための、親子で参加できる体験学習講座を行い、親子のふれあいを図る。	
青少年教育	子どもクッキング教室	小学生	6月～12月 4回	地域住民の協力のもと、季節に合わせた料理作りを通じて、自分の手で作る喜びを学び、食への関心を高める。	
	子ども手作り工房	小学生	6月～12月 4回	佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。	
	子ども自然教室	小学生	5月～12月 4回	自然体験学習や印旛沼等の自然環境を学び、環境意識を育む。	
	子ども理科実験教室	小学生	6月～12月 4回	理科実験等、体験学習を通して子どもの研究心や想像力を育む。	
	ちょこボラ (公民館でちょこっとボランティア)	中学生 高校生	通年	青少年が職場体験学習をすることで、地域の人とのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育む。	
成人教育	しづ市民大学	しづ学入門	成人 44名	5月～2月 19回	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に繋げる。
		地域健康学	成人 40名	5月～2月 19回	心身ともに豊かで充実した人生を送るため、自らの生活を見直し、健康について学ぶことを通じて、地域の中で連帯を図る。
		くらしの情報学	成人 45名	5月～2月 19回	日々のくらしに役立つ様々な情報や地域情報を学び、安全で快適なくらしを送れる地域づくりを図る。
		おやじの食事学	成人男性 25名	5月～2月 19回	食生活の大切さや和食を基礎とした食事づくりの楽しさを体験しながら、仲間づくりと地域で活躍するきっかけをつくる。
		特別講座(公開講演会)	成人 30名	8月～2月 5回	しづ市民大学の合同講演会等を市民にも公開する。
	佐倉学	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」	成人 30名	2月 4回	井野長割遺跡を中心に志津地区の遺跡の成り立ちを学ぶことから、郷土愛や、遺跡保存の意識を高める。
		佐倉・城下町400年記念事業「佐倉道を歩く」	成人 20名	10月～11月 全5回	佐倉城主が通った「佐倉道」を学び、城下町佐倉について考える一助とする。
		地産地消佐倉コミュニティカフェを学ぼう	成人 20名	3月	地域の人が気軽に集まる場所であるコミュニティカフェ。「つどい、食べて、語る」をテーマに地域社会の再構築を考える。
	開館事業	【新規】 開館記念特別講演会	一般 200名	12月	新複合施設のオープン記念講演会を実施する。
	団体育成	第42回志津公民館祭	公民館利用サークル 約100団体	10月16日 ～18日	学習成果の発表や展示を通して、地域住民の交流と学習機会提供の場とする。
定期利用サークル 運営研修会		公民館利用 サークルの代表者 約120名	4月 1回	グループ活動の意義、運営のあり方を学び、自主性を高め、地域活動につなげる。	
調理室利用者懇談会		調理室利用 サークル	6月 1回	調理室の効果的利用方法を考え、懇談を通してサークル間の交流を図る。	
市子連事務		志津地区 加盟子ども会	通年	各種事業の広報と子ども会安全会事務。	
志津ジュニア・リーダーズ・クラブ(志津JLC)支援		1団体	通年・ 共催事業	「志津JLC」が行う各種事業への援助を通じて、JLの養成を図る。子ども会等の交流を図る機会を設け、JLが活動する場とする。	
志津地区社会教育 関係団体への援助		該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援する。	
相談・カウンセリング等の 事業		該当団体	通年	相談・カウンセリング活動を行う団体に会場を提供し、住民の問題解決の場となるよう支援する。	
公民館園芸ボランティア 団体への援助	該当団体	通年	公民館における園芸活動を支援する。		

	事業名	対象	期間・回数	内容
広活 報動	公民館だより 「しづ」の発行	志津地区各戸配布 市内主要施設配布	5、10、1月・臨 時各25,000部	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、公民館活動への理解と認識を深めるとともに、各事業の参加募集を行う。

臼井公民館

○平成27年度事業計画

	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭 教育	おはなし会	5歳～ 成人30人	月1回	臼井公民館図書室の読書活動推進事業。子供たち向けに、すばなしと絵本の読み聞かせによるおはなし会。本の世界に親しむとともに、豊かな感受性の育成を育むことを目的とした講座。
	0歳半～3歳児親子あそび	0歳半～3歳児と 保護者 10組20名	6月 2回	絵本の読み聞かせや手遊びで、温もりある親子関係を育むとともに、参加者間のコミュニケーションを図る。
	家庭教育共通講座	小学生以上の 保護者	7月 1回	子どもがより良く成長するために、家庭の働きや親子のあり方などを学習する。
青少年 教育	佐倉っ子塾共通講座 「手作り講座」	小学生 15人	8月 1回	物づくりを通じて、自らの手で工夫しながら作り出す喜びを味わうことにより、個性や創造性を培う。
	佐倉っ子塾共通講座 「自然講座」	小学校4～6年生	7月 1回	環境意識を育む「水辺の自然観察会」を実施し、水辺環境を身近なものとして捉える目を養う講座(環境政策課共同事業)。
	【新規】皆既月食と春の 星空	小学校4～6年生 20人	4月 1回	珍しい天体现象である皆既月食についてやさしく解説し、星空の世界に親しんでもらうことにより、理科教育の興味関心を引き立てることを目的とする。
	バック・ステージ・ツアー	小学校4年生 ～成人20人	8月 1回	音楽ホールの普段見ることのできない裏廻り(バックステージ)の見学と、演奏会を支えている音響、照明などを体験し、舞台芸術の仕事への理解を深める。
成人 教育	コミュニティカレッジさくら	18歳以上30人 ×2学年	5月～2月 18回	地域づくりのリーダー育成を図り、開設3年目として、1年生は基礎講座・人間学を学び、2年生は実践的な学習を行う。※社会教育課と連携し、主に臼井公民館・染井野小学校で実施。
	地域づくり入門講座 「スポーツ講座」	成人20人	10月～11月 5回	夜間の講座を通して参加者間のコミュニケーション・交流を深めながら地域住民の健康増進を図る。生涯スポーツ課共催
佐倉 学	佐倉学専門講座 「印旛沼」	成人20人	6月～12月 1回	佐倉の象徴とも言える「印旛沼」に関連する身近な自然環境・文化や歴史について学び、豊かな自然を次世代へと伝えていくことの重要性を認識してもらう。
	佐倉学入門講座 「臼井における雷電為右衛門の伝説」	成人20人	10～11月 1回	臼井地区には雷電ゆかりの墓や顕彰碑、また雷電の妻「おはん」の天狗茶屋があったとされる場所等があるので、講義と見学で学ぶ。
	佐倉学体験講座 「ちよつといいとこ見て歩き」	成人20人	10月～11月 1回	佐倉市とその近隣地域の見学学習を通し、歴史・文化・自然や環境の変化について学び理解を深める。
団育 体成	臼井地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 9団体	年間随時	単位子ども会の円滑な運営をはかるための相談・研修・情報交換や地区子連主催事業を行う。
広報 ・ 展示 活動	臼井公民館だより発行	主に 臼井・千代田地区	年2回	公民館の事業紹介や募集、地域の情報などを提供する。
	まちづくり資料室展示	小学生～成人	通年	臼井地区に関する歴史や遺跡などについて理解と関心を深める資料展示を行う。
	サークル展示活動支援	市内団体	通年	市内の美術サークル等に対して展示室を1週間単位で提供し、各種展示会を開催することで、地域文化の向上に寄与する。
図書 事業	図書の貸出等	幼児～成人	通年	図書の貸出/返却受付/相談などを行い、市民の学習活動促進を図る。

Ⅲ－４ 図書館事業

○運営方針

佐倉市立図書館は市民とともにある図書館を基本として、図書、記録その他必要な資料の収集整理及び保存を行い、市民の教養と文化の発展に寄与するために、自由と公平な立場での図書館サービスに努めます。

また、本と人、人と人との出会いの場を提供するとともに、市民が快適に利用できる施設の運営に努めます。

佐倉図書館・志津図書館・佐倉南図書館共催事業

○平成27年度事業計画

事業名	対象	期間・回数	内容
読者の広場 「さくらおぐるま」発行	市内在住 在勤・在学者	7月～3月	市民より読書感想文、感想画等を募集し、文集を発行する。
夏休みおすすめ ブックリストの作成	市内小学生 中学生	7月	夏休みに向けて、児童・生徒の読書におすすめする本のリストを作成・配布する。
ボランティア養成講座	一般	年4回	図書館ボランティアの養成講座を行う。

佐倉図書館

○平成27年度事業計画

事業名	対象	期間・回数	内容
読書普及事業	一般・児童	年1回	本に親しんでもらうための講座
佐倉学関連の 推薦図書普及	一般 小・中学生	随時	佐倉城下町400年記念事業として「佐倉城」関連図書の展示およびリストの発行
子どもの本の講座	0～3歳児と 保護者	年2回	0～3歳児と保護者の方を対象とした絵本やわらべうた等おはなし会形式の講座 *共催：臼井公民館
おはなしきやらばん	幼児・児童	通年 (30回)	おはなしきやらばんによる人形劇・大型紙芝居スライド等のおはなし会
特別パックの 団体貸出	希望の保育園 小・中学校等	随時	保育園≪読み聞かせ用パック≫ 小学校≪年齢別読み物用パック≫ 小・中学校≪佐倉学パック(調べ物用)≫
訪問おはなし会	佐倉地区の 希望保育園 学童保育所	随時	子どもや先生への読書活動推進に努めるため、保育園や学童保育所に出向き、絵本の読み聞かせ、すばなし、ブックトーク、図書館紹介等を実施
子ども読書活動推進 講師派遣事業	依頼先の参加者	随時	絵本の読み聞かせ等、子どもの読書活動推進に関する講座の講師を派遣
職場体験・職場見学 受け入れ	小学生～大学生	随時	図書館への理解を深めてもらうために、依頼に応じて、図書館業務の体験・見学等を実施
児童室の企画展示	幼児・児童	通年	季節や行事にちなんだ本の展示や児童室の装飾、また折り紙作品の紹介等、親子で本に親しむ環境づくりに取り組む。

志津図書館

○平成27年度事業計画

事業名	対象	期間・回数	内容
わくわくクラブ	乳幼児	4・6・10・12月 (年4回)	絵本の読み聞かせ、手遊び、交流(質問)タイムなど。(6・10・12月は志津保育園主催の子育て広場(ふれあいセンター)と共催で行う)
	佐倉市内の小学生	夏休み(予定)	図書館探検、読書感想文の指南。
科学実験講座 ～科学図書に親しむ～	佐倉市内の小学生	7月・12月 (年2回)	身近な材料を使った科学実験・工作を通じ、子どもたちに科学の世界の楽しさを伝える。科学図書を紹介し、興味を広げる。
志津図書館開館20周年記念「疎開した40万冊の図書」映画上映会	一般	7月5日(日)	太平洋戦争末期に貴重本を背負って運んで疎開させた人々を追ったドキュメンタリー映画の上映。
【新規】月曜図書館	一般	7・9・10・11月 (年4回予定)	祝日と重なった月曜開館日に合わせ、図書館に親しんでもらうイベントを実施する。
ブックリサイクル	一般	毎月10～15日 (年12回)	寄贈本や除籍図書について、市民が有効利用する機会を設ける。(公共施設を対象としたブックリサイクルについては年2回開催予定)
職場体験、職場見学受け入れ	小学生～大学生	随時	依頼に応じて、図書館業務の体験・見学を行い、図書館についての理解を深めてもらう。
講師派遣事業	市内の団体	随時	依頼に応じて、おはなし会の実践方法等、読書普及に関するテーマの講座の講師を派遣する。
小学校訪問おはなし会	希望校	随時	小学校に出向き絵本の読み聞かせ、すばなし、ブックトーク、図書館紹介等をし、子どもの読書普及に努める。
保育園訪問おはなし会	希望園	随時	保育園に出向き絵本の読み聞かせをし、子どもの読書普及に努める。先生方への情報提供も行う。
テーマ資料展示	一般	毎月	毎月テーマを決め、館内に資料を展示する。

佐倉南図書館

○平成27年度事業計画

事業名	対象	期間・回数	内容
えほんのおはなし会	2歳・3歳児	年24回	絵本の読み聞かせと手遊びを行う。
教養講座	一般	年1回	文学・歴史等の一般的教養に関する講演会を実施する。
ブックリサイクル	一般	年3回	寄贈本や除籍図書について市民が有効利用する機会を設ける。
対面朗読	佐倉ゆうゆうの里 根郷通所センター(愛光)	佐倉ゆうゆうの里【第1・第3木曜】	絵本等の読み聞かせを行う。
職場体験・職場見学受け入れ	小学生～大学生	随時	依頼に応じて、図書館業務の体験・見学を行い、図書館についての理解を深めてもらう。
小学校訪問おはなし会	希望校	随時	小学校に出向き絵本の読み聞かせ、すばなし、ブックトーク、図書館紹介等をし、子どもの読書普及に努める。
保育園訪問おはなし会	希望園	随時	保育園に出向き絵本の読み聞かせをし、子どもの読書普及に努める。先生方への情報提供も行う。
テーマ資料展示	一般	毎月	毎月テーマを決め、館内に資料を展示する。
ヤングアダルト向け本の紹介	小学校高学年～高校生	随時	ヤングアダルト世代の利用者が、自分が読んだ本の概要・感想を所定の用紙に書き、同世代の利用者に紹介する。 ※図書館は用紙を回収し、紹介コーナーに張りだす。

Ⅲ－５ 市民音楽ホール事業

○運営方針

音楽文化の活動拠点として、各分野の演奏会を実施するほか、学校巡回音楽鑑賞会、市民の自主的な音楽活動の育成援助等を通じて、広く音楽文化の振興を図ります。

また、児童・生徒に質の高い音楽鑑賞の機会や実際に音楽活動に参加する機会を提供することで、子どもたちの豊かな感情や情緒、豊かな心を育みます。

○平成27年度事業計画

	事業名	月日	内容	分野	備考
鑑賞	横山幸雄ピアノ・リサイタル	5月24日	横山幸雄は、1990年ショパン国際コンクールにおいて歴代の日本人として最年少で入賞し、文化庁芸術選奨文部大臣新人賞など数多の賞を受賞。以来、人気実力ともに常に音楽界をリードするトップ・アーティストとして活躍している。 ショパン生誕200年を迎えた2010年に、ポーランド政府より、ショパンの作品に対して特に顕著な芸術活動を行った世界で100名の芸術家に贈られる「ショパン・パスポート」を授与された。	器楽	主催
	親子でコンサート	6月6日	クラシック音楽や名曲を親子で楽しむコンサート。ピアノ・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・ファゴットのアンサンブルで、お話を交えた楽しいプログラム。0歳から入場可。曲目は「妖怪ウォッチ」など。	室内楽	主催
	俳優座劇場 音楽劇「わが町」	7月25日	アメリカの劇作家、ソーントン・ワイルダーのピューリッツァー賞を受賞した不朽の名作「わが町」。ニューハンプシャー州のグローバーズ・コーナースという架空の町での物語。俳優座劇場がプロデュースしミュージカル化。 主役の土井裕子は、2010年～2011年には劇団四季の「サウンド・オブ・ミュージック」で主役のマリア役を務めている。	演劇	主催
	森麻季ソプラノリサイタル	9月27日	森麻季は、東京藝術大学、同大学院独唱専攻修了。プラシド・ドミンゴ世界オペラコンクールをはじめ、多数の国際コンクールに上位入賞を果たす。 古典から現代まで幅広いレパートリーを誇り、コロラトゥーラの類稀なる技術、透明感のある美声と深い音楽性は各方面から絶賛され、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」のメインテーマ、NHK「明日へ」東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」を歌うなど、まさしく日本を代表するオペラ歌手として常に注目を集めている。	声楽	主催
	紺野美沙子の朗読座「鶴の恩返し」	10月18日	紺野美沙子は、1980年、NHK連続テレビ小説「虹を織る」のヒロイン役で人気を博す。「武田信玄」「あすか」など多数のドラマに出演。舞台「細雪」(原作・谷崎潤一郎)では三女・雪子役を好演。2010年秋から、「紺野美沙子の朗読座」を主宰。 本公演では、紺野美沙子の朗読に映像、二十五絃箏の演奏を加え「鶴の恩返し」を上演する。	朗読	主催
	午後の名曲コンサート (ピアノ:三浦友理枝)	10月23日	平日の午後に開催する名曲コンサート。昨年に続き、ピアニストの三浦友理枝による演奏。 三浦友理枝は、1995年「第3回グッティンゲン国際ショパンコンクール」第1位受賞。その後、英国王立音楽院を2005年に首席で卒業し、同音楽院・修士課程も首席で修了。これまで、日本は元よりパリやロンドンなどヨーロッパでも演奏会を開催している。	器楽	主催

	事業名	月日	内容	分野	備考
鑑賞	前橋汀子 ヴァイオリン・リサイタル	11月15日	2012年に演奏活動50周年を迎えた前橋汀子は、日本を代表する国際的ヴァイオリニストとして、その優雅さと円熟味あふれる演奏で、多くの聴衆を魅了し続けている。これまでにベルリン・フィルを始めとする世界一流の多くのアーティストとの共演を重ねてきた。 小品を中心とした楽しいリサイタルで大好評を博す一方、バッハ、ベートーヴェン、ブラームスなど、本格的なプログラムにも積極的に取り組んでいる。 2011年春の紫綬褒章を受章。使用楽器は1736年製作のデル・ジェス・グアルネリウス。	器楽	主催
	アンサンブル・ウィーン	12月13日	ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団初のコンサート・ミストレスに就任したアルベナ・ダナイローヴァを中心に、ヴァイオリンのライムント・シリー(ウィーン・フィル)、ヴィオラのミヒャエル・シュトラッサー(ウィーン・フィル)、コントラバスのヨーゼフ・ニーダーハンマー(ウィーン国立音大教授)により結成したアンサンブル。海外への演奏活動も積極的に行っている。	室内楽	主催
	演劇「東おんなに京おんな」	12月20日	岡本麗と鶴田真由によるふたり芝居。全く無名の新人作家ひょうたが初めて書き下ろし、劇作家協会新人戯曲賞受賞作を受賞した作品。演出は劇団ONEOR8を主催する田村孝裕。 離婚により嫁と姑の枠を外され、赤の他人となった女二人が、30代と50代の女として向き合った時、その中に展開する今日的な主題を描いた、二人芝居の傑作。	演劇	主催
	親子でクリスマス・コンサート	12月23日	クリスマスにちなんだ曲やクラシックの名曲を親子で楽しむコンサート。お話を交えた楽しいプログラムで、0歳から入場可。	室内楽	主催
	ニューイヤークンサート2016 ウィーン・サロン・オーケストラ	1月10日	1994年、ウィーン・フォルクスオーパー管弦楽団の第一コンサート・マスター、ウド・ツヴェルファーを中心に、同オーケストラの精鋭らによって結成された。レパートリーは、ウィーンを代表する作曲家であるヨーゼフ・ランナー、シュトラウス一家、フリッツ・クライスラー、エメリヒ・カールマンなど、非常に幅広い。 2001年、2002年、2004年、2006年日本ツアーを行い、2004年には、中国、またカリフォルニア・ロング・ビーチでも公演を行い、大好評を博す。	管弦楽	主催
	イルカ・コンサート	2月14日	女子美術大学に在学中からフォークグループを結成、1974年ソロデビュー。翌75年『なごり雪』が大ヒットしシンガーとしての地位を確立する。コンサート活動を中心に毎年全国ツアーを続け40周年を迎えた。 2004年7月28日、IUCN国際自然保護連合、初代親善大使に任命された。2010年4月より、母校である女子美術大学、芸術学部、アートプロデュース表現領域の客員教授に就任。	ポピュラー	主催
講座	バックステージツアー	8月5日	普段見る事ができない音楽ホールの舞台裏や舞台の仕事を見学し、コンサートがどのようにして作り上げられるのかを学ぶ講座。臼井公民館との連携事業。	講座	主催
学校巡回音楽会	学校巡回音楽鑑賞会 「ニューフィルハーモニー オーケストラ千葉」 (西志津小学校・根郷小学校・ 白銀小学校・寺崎小学校・ 臼井南中学校)	6月17日	ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉は、地域に根差した音楽活動を基本に、さらには、日本音楽界に新風を送るようなオーケストラを目指して設立された千葉県唯一のプロ・オーケストラ。音楽の授業やテレビ・CDなどでなじみのある音楽を生で聴く機会を小・中学生に提供。指揮体験やオーケストラとの合唱など、参加・体験コーナーも実施。	管弦楽	主催

	事業名	月日	内容	分野	備考
学校巡回音楽会	学校巡回音楽鑑賞会 「日本音楽集団」 (佐倉小学校・佐倉東小学校・ 印南小学校・志津小学校・ 南志津小学校)	11月11日	毎年市内の小中学校を対象に実施されている演奏会。プロの演奏を生で聞くことにより感性を磨き、音楽鑑賞のマナーを学ぶ。今回は邦楽器で日本のメロディ、世界の音楽メドレーなどのほか、楽器紹介や打楽器体験のコーナーも予定している。	邦楽	主催
参加	第27回佐倉リコーダー フェスティバル	10月25日	千葉県唯一の市民参加型のリコーダー演奏会。毎年市内はもとより、県内各地から多くの団体が参加している。	器楽	主催
	第25回佐倉合唱 フェスティバル	11月22日	市内や近隣から30を超える合唱団が集まり盛大に開催される合唱の祭典。	合唱	主催
	第17回佐倉ブラス フェスティバル	3月13日	佐倉市民音楽ホールの育成団体として市内で活動する3つの吹奏楽団と中学校の吹奏楽部等が日頃の練習の成果を披露する吹奏楽祭。	吹奏楽	主催
育成	佐倉シティーブラス 第29回ファミリーコンサート	6月7日	佐倉市民音楽ホール育成団体である佐倉シティーブラスのファミリーコンサート。	吹奏楽	共催
	佐倉フィルハーモニー 管弦楽団 第62回定期演奏会	6月28日	佐倉市民音楽ホール育成団体である佐倉フィルハーモニー管弦楽団の定期演奏会。	管弦楽	共催
	佐倉フィルハーモニー 管弦楽団 第63回定期演奏会	11月29日	佐倉市民音楽ホール育成団体である佐倉フィルハーモニー管弦楽団の定期演奏会。	管弦楽	共催
	佐倉ウインド・アンサンブル 第19回定期演奏会	12月6日	佐倉市民音楽ホール育成団体である佐倉ウインド・アンサンブルの定期演奏会。	吹奏楽	共催
	佐倉シャルマン・ウインド・ オーケストラ 第24回定期演奏会	2月7日	佐倉市民音楽ホール育成団体である佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラの定期演奏会。	吹奏楽	共催
教室	佐倉少年少女合唱教室	通年	佐倉市民音楽ホール主催の少年少女合唱教室。月に2回土曜日にミレニアムセンター佐倉もしくは中央公民館で練習し、合唱フェスティバル等に出演している。	合唱	主催
	少年少女ハンドベル教室	通年	佐倉市民音楽ホール主催のハンドベル教室。月に3回土曜日に佐倉市民音楽ホールで練習し、佐倉市民音楽ホールロビーでのコンサート等に出演している。	器楽	主催
その他	ストリートオルガン演奏会	通年	佐倉市民音楽ホール所蔵の3台のストリートオルガンによる迫力ある演奏会。休日の午後など、月1回の演奏会が行われる。	器楽	主催

Ⅲ－６ 美術館事業

○運営方針

- 1 多くの著名な美術家を輩出した郷土の美術に関する調査、研究、収集を行い、展覧会を通じて、佐倉ゆかりの作家の功績を紹介し、市民の芸術文化に対する理解を広め、郷土への愛着を育みます。
- 2 市民に親しまれる芸術文化活動を育み、地域に定着することをはかり、調和のとれた「まちづくり」に寄与するよう努めます。

○平成27年度事業計画

	事業名	月日	内 容
企 画 展	ミテ・ハナソウ展 (無料)	平成27年 8月1日～ 8月30日	収蔵作品により鑑賞する楽しさを体感していただく展覧会。昨年度から研修を重ねてきた市民ボランティアの鑑賞コミュニケーターが、来場者の鑑賞サポートに取組む。
	高橋真琴の原画展 —佐倉で描かれた少女たち— (有料)	11月14日 ～ 12月23日	デビューから約60年にわたり、少女の画を描き続ける佐倉市在住の画家・高橋真琴の画業を紹介する。
	魔法の美術館 (有料)	平成28年 2月6日～ 3月27日	コンピュータや光と影などを活用した作品による、体験・参加型メディアアートの展覧会。
収 蔵 作 品 展 (無 料)	佐倉・房総ゆかりの作家たち —ひとをえがく	平成27年 4月4日～ 5月17日	人物表現の視点から、絵画・衣裳人形などを紹介する収蔵作品展。
	収蔵作品展 —美術館のどうぶつたち	5月23日～ 7月12日	絵画・版画・工芸など、様々な技法で表現された動物の姿を紹介する収蔵作品展。
	収蔵作品展 —水にとけあう彩り —水彩画の魅力	9月5日～ 10月4日	水彩画の表現の多様性とその魅力を紹介する収蔵作品展。
	高橋真琴展 プレ展示 —わたしのMACOTO♥展	10月30日 ～ 11月8日	高橋真琴の原画展の開催に先立って、彼の作品をモチーフに取入れて親しまれてきたグッズなどを紹介する。
教 育 普 及	対話による美術鑑賞 プロジェクト ミテ・ハナソウ	通年	対話による鑑賞をリードするボランティアを育成し、学校団体の対応や、来場者の作品に接する楽しさを広げる取組みを進める。
	第34回 新春佐倉美術展	平成28年 1月5日～ 1月17日	佐倉を拠点として活動する現代作家による絵画・彫刻・工芸・書の作品を一堂に集めて紹介する。
	第9回 アート・フォト・サクラ	平成28年 1月22日～ 1月31日	写真をきっかけに、アートについて考え、芸術文化活動に親しむ機会を提供する公募写真展。市民ボランティアによる実行委員が企画・運営に携わる。
学 校 連 携	学校連携プログラム (佐倉学)	通年	市内小中学校を対象とした、送迎バスによる美術鑑賞教室や学校への出前授業などを行い、学校との連携を深める。 佐倉学関連として、佐倉ゆかりの作家である、浅井忠や香取秀真、津田信夫等の生い立ちや美術史上の業績などについて広める活動を行う。

Ⅲ－７ 佐倉学

「佐倉学」は、「佐倉教育ビジョン」の重点目標の一つとして位置づけ、平成15年4月から社会教育や学校教育のそれぞれの分野で取り組んでいます。

佐倉の自然、歴史、文化、ゆかりの人物を学ぶことで、郷土をいつくしむ心を育み、よりよい明日を考えて行動する力を培います。教育委員会では、人づくり、地域づくりにつながる「佐倉学」が学習できるように場を提供するとともに、学校での子どもたちの学習を支援します。

【社会教育】

○平成27年度 佐倉学リレー講座

日 時	担 当	内 容
6月～3月 全7回	社会教育課	「歴史の残影が佐倉を語る」 江戸時代から現代まで、400年に及ぶ佐倉の歩みについて、歴史や文化、民俗、自然など、さまざまな角度から振り返る。 ※佐倉・城下町400年記念事業

○平成27年度 佐倉学専門講座

日 時	担 当	内 容
9月～12月 2回	中央公民館	「印旛沼（仮称）」 佐倉の象徴として「印旛沼」を学び、かけがえのない豊かな自然環境を次の世代へ伝えていくことの重要性を認識してもらう。
9月～11月 全6回	弥富公民館	「塩古ざるづくり」 弥富周辺地域（塩古郷）に昔から伝わるざる作りの技法を次世代に継承するため、材料づくりから編み上げまでの技法を学ぶ。 ※佐倉・城下町400年記念事業
6月～12月 1回	臼井公民館	「印旛沼」 佐倉の象徴とも言える「印旛沼」に関連する身近な自然環境・文化や歴史について学び、豊かな自然を次世代へと伝えていくことの重要性を認識してもらう。

○平成27年度 佐倉学入門講座

日 時	担 当	内 容
9月～3月 講座 1回 散策 2回	中央公民館	「佐倉・城下町400年」 講座と佐倉地区の史跡散策を行い、土井利勝が佐倉城とその城下町を整備してから約400年の歴史を学ぶ。※佐倉・城下町400年記念事業
9月～12月 2回		「佐倉の民話・伝説・小説・映画・写真から佐倉を詠む」 佐倉を学ぶ身近な題材として、民話や伝説そして、小説・映画・写真などから郷土への理解を深めるとともに、佐倉を学ぶ。 ※佐倉・城下町400年記念事業
7月～1月 全7回	和田公民館	「楽しく学べる和田地域塾」 地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗等を学び、実際に体験し、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。
10月 全1回	弥富公民館	【新規】「弥富で楽しむ野鳥の話」 身近に見られる野鳥について学び、弥富の良さを再発見するとともに自然保護への意識を高める。
8月～3月 全5回	根郷公民館	「近代の佐倉講座：近代の佐倉、鉄道講座」 佐倉をテーマに学び、郷土に関する知識を高めてもらう。 （「近代の佐倉」3回、「鉄道講座」2回）

日 時	担 当	内 容
5月、10月、11月 3回	根郷公民館	「根郷ふるさと探訪」 根郷をテーマに学び、自然や史跡、習俗行事等を訪ね、郷土を再発見することにより郷土愛を高める。(寺崎散策) 根郷地区周辺を散策しながら、季節の野草を観察し自然に親しむ。(春・秋に野草観察会)
12月 2回		「伝統の根郷産 こんにやく作り体験」 体験型・参加型の講座。地域住民の協力を得て「こんにやく作り講座」を2回実施する。講座を通じて地域住民同士の交流を図る。
2月 全4回		「井野長割遺跡を学ぶ」 井野長割遺跡を中心に志津地区の遺跡の成り立ちを学ぶことから、郷土愛や、遺跡保存の意識を高める。
10月～11月 全5回	志津公民館	「佐倉道を歩く」 佐倉城主が通った「佐倉道」を学び、城下町佐倉について考える一助とする。 ※佐倉・城下町400年記念事業
3月		「地産地消 佐倉コミュニティカフェを学ぼう」 地域の人が気軽に集まる場所であるコミュニティカフェ。「つどい、食べて、語る」をテーマに地域社会の再構築を考える。
10月～11月 1回	臼井公民館	「臼井における雷電為右衛門の伝説」 臼井地区には雷電ゆかりの墓や顕彰碑、また雷電の妻「おはん」の天狗茶屋があったとされる場所等があるので、講義と見学で学ぶ。

○平成27年度 佐倉学体験講座

日 時	担 当	内 容
随時	中央公民館	「ボランティア団体派遣事業」 佐倉に伝わる民話を題材とした語りを行うグループ「さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会」を市内小学校等に派遣し、民話や佐倉こどもかるたを通じて郷土愛を育む。
7月～2月 全4回	和田公民館	「ふるさと味工房」 地域の伝統的食材を生かして地域間交流を図るとともに食文化の伝承を図る。 【こんにやく作り、太巻き寿司、大和芋、和田の新鮮野菜料理等】
1月～2月 1回		「ミニぞうりづくり」 江戸時代の作り方そのまま現代風にアレンジした”ぞうりストラップ”を作る。
6月～3月 全8回	弥富公民館	「くらしの講座」 弥富地区で継承されてきた生活文化を次代に伝えるとともに世代間を越えた交流を図り地域に対する郷土愛を育む。 【太巻き寿司、カステラづくり、そば打ち、わらぞうり作り、バス研修等】
5月～11月 全3回	根郷公民館	「根郷ふるさと探訪」 根郷をテーマに学び自然や史跡、習俗行事等を訪ね、郷土を再発見することにより郷土愛を高める。寺崎散策1回、野草観察2回。
12月 全2回		「伝統の根郷産 こんにやく作り体験」 体験型・参加型の講座。地域住民の協力を得て「こんにやく作り講座」を2回実施する。講座を通じて地域住民同士の交流を図る。
10月～12月 1回	臼井公民館	「ちょっといいところ見て歩き」 佐倉市とその近隣地域の見学学習を通し、歴史・文化・自然や環境の変化について学び理解を深める。

【学校教育】

教科・領域	学習項目・単元	対象学年	学習(活動)内容	資料等
社会科	わたしたちのまち みんなのまち	小学校 3年	・学校の周りを探検したり、市内の特徴ある場所を調べたりすることで佐倉についての理解を深め、愛情を持つ。 ・調べたことを資料にまとめ、発表する。	社会科副読本 「わたしたちの佐倉市」 まち探検
	郷土の先覚者 「佐藤泰然」	小学校 4年	・地域の発展に尽くした先人の具体的事例として取り上げ、医学の面で地域の人々の生活に向上に尽くした人物の働きや苦労を考える。 ・佐倉順天堂記念館見学	郷土の先覚者 シリーズ 「佐藤泰然」 佐倉順天堂 記念館
	郷土の先覚者 「堀田正睦」	小学校 6年	・江戸時代末期の「開国」を指導する単元で取り扱う。 ・日本を開国に導くために力を尽くした人物の働きや苦労を考える。 ・佐倉藩の藩政改革に触れ、新しい学問等を取り入れようとした佐倉藩の「好学進取」の気風にも触れる。	郷土の先覚者 シリーズ 「堀田正睦」
	郷土の先覚者 「林 董」	中学校 2年	・外交官として日英同盟を結び、政治の世界で日露戦争時に活躍した人物の働きや苦労を考える。	郷土の先覚者 シリーズ 「林 董」
	郷土の先覚者 「西村勝三」		・武士から商人になり、製靴・製革・耐火煉瓦の製造に取り組み、当時としては、いずれも日本を代表する規模にまで高めた人物の働きや苦労を具体的に調べる。	郷土の先覚者 シリーズ 「西村勝三」
美術科	郷土の先覚者 「香取秀真」 「津田信夫」	中学校 3年	・日本の近代工芸の先駆者として、日本の芸術振興に寄与した人物の働きや苦労を具体的に調べる。 ・佐倉市立美術館の見学	郷土の先覚者 シリーズ 「香取秀真」 「津田信夫」 佐倉市立美術館
	ふるさとの歴史		・日本の歴史学習の中で、佐倉の歴史に触れる。 ・詳しく調べたい生徒は、「ふるさと歴史読本」を活用する。 ・佐倉市立美術館の見学	「ふるさと歴史読本」 副読本「ふるさと佐倉の歴史」 佐倉市立美術館
	「津田梅子」	小学校 1・2年	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」掲載の資料を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 津田梅子…主題名「最後までやりぬく」	道徳副読本 「佐倉の道徳」
道徳	「堀田正倫」 「佐藤泰然」	小学校 3・4年	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」掲載の資料を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 堀田正倫…主題名「郷土のために」 「郷土の人のために」 佐藤泰然…主題名「みんなのために」	道徳副読本 「佐倉の道徳」
	「津田 仙」 「西村茂樹」 「浅井 忠」	小学校 5・6年	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」掲載の資料を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 津田 仙…主題名「新しい方法を取り入れ未来をひらく」 西村茂樹…主題名「希望をもって生きる」 浅井 忠…主題名「夢に向かって」	道徳副読本 「佐倉の道徳」

教科・領域	学習項目・単元	対象学年	学習(活動)内容	資料等
道徳	「堀田正睦」 「西村茂樹」 「西村勝三」	中学校 1～3年	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」掲載の資料を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 堀田正睦 …主題名「郷土を愛し、郷土のために尽くす」 西村茂樹…主題名「国を愛する心」 西村勝三…主題名「高い目標」「失敗をのりこえて」	道徳副読本 「佐倉の道徳」
総合的な学習の時間	佐倉の自然と環境	小学校 3・4年	・学校の周りを中心に佐倉の自然に触れ、木々の緑に囲まれた公園や里山に広がる田園地帯を活用して活動する。	印旛沼 地域の里山 公園等
		小学校 5・6年	・佐倉の環境について調べ、佐倉の自然や環境について考える。	「ふるさと佐倉の自然」 印旛沼 里山・公園等
	郷土の先覚者 「佐藤尚中」 「佐藤進」 「松本順」	小学校 5年	・「佐藤泰然」の学習の発展として取り扱う。 ・明治期の近代日本の医学の発展に力を尽くした人物の働きや苦労を考える。	郷土の先覚者 シリーズ 「佐藤尚中」 「佐藤進」 「松本順」
			・佐倉順天堂記念館見学	佐倉順天堂 記念館
	佐産・佐消		・食から佐倉について調べる。 ・米作りを通して、佐倉の食について理解を深める。 ・大和芋の栽培を体験する。	副読本「ふるさと佐倉の歴史」 農業体験活動
	郷土の先覚者 「堀田正睦」	小学校 6年	・堀田正睦の「頌徳碑」の見学 ・武家屋敷の見学	甚大寺 武家屋敷
	ふるさとの歴史		・日本の歴史学習の中で、佐倉の歴史に触れる。 ・歴史や史跡、人物などから佐倉について調べる。 ・調べたことを資料にまとめ、発表会を開く。	副読本「ふるさと佐倉の歴史」
	佐倉の自然と環境		・佐倉の環境について調べ、佐倉の自然や環境について考える。	「ふるさと佐倉の自然」印旛沼 里山・公園等
	「堀田正睦」 「西村茂樹」 「西村勝三」	中学校 1～3年	・道徳副読本「佐倉の道徳」を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 堀田正睦 …主題名「郷土を愛し、郷土に尽くす」 西村茂樹…主題名「国を愛する心」 西村勝三…主題名「高い目標」	道徳副読本 「佐倉の道徳」
	郷土の先覚者 「堀田正倫」	中学校 1年	・幕末の佐倉藩を守り、明治期の佐倉藩の産業振興に力を尽くした人物の働きや苦労を考える。	郷土の先覚者 シリーズ 「堀田正倫」
			・国指定重要文化財・旧堀田邸の見学 ・佐倉高等学校地域交流施設の見学	旧堀田邸 佐倉高等学校
	郷土の先覚者 「佐藤志津」		・日本の近代における女子教育の先駆者として力を尽くした人物の働きや苦労を考える。	郷土の先覚者 シリーズ 「佐藤志津」
ふるさとの歴史		・日本の歴史学習の中で、佐倉の歴史に触れる。	副読本「ふるさと佐倉の歴史」	

教科・領域	学習項目・単元	対象学年	学習(活動)内容	資料等
総合的な学習の時間	郷土の先覚者 「堀田正睦」	中学校 2年	・「開国と不平等条約」を取り扱う単元で、日本を開国に導くために力を尽くした人物の働きや苦勞を具体的に調べる。 ・佐倉藩の藩政改革に触れ、新しい学問等を取り入れようとした佐倉藩の「好学進取」の気風にも触れる。	郷土の先覚者シリーズ 「堀田正睦」
	ふるさとの歴史		・佐倉市民体育館前の「西村勝三」像の見学	「西村 勝三」像
	郷土の先覚者 「西村茂樹」	中学校 3年	・日本の歴史学習の中で、佐倉の歴史に触れる。 ・詳しく調べたい生徒は、「ふるさと歴史読本」を活用する。	「ふるさと歴史読本」 副読本「ふるさと佐倉の歴史」
	郷土の先覚者 「浅井 忠」		・日本人の生き方を示した明治の思想家として、日本の道德教育の充実のために尽力した人物の働きや苦勞を具体的に調べる。 ・日本洋画界の先駆者として、日本の芸術振興に寄与した人物の働きや苦勞を具体的に調べる。	郷土の先覚者シリーズ 「西村茂樹」 郷土の先覚者シリーズ 「浅井 忠」
読書の時間	「堀田正睦」 「堀田正倫」 「津田梅子」	小学校 1～3年	・読書の時間等に佐倉市郷土の先覚者小学校低学年用の資料を使用して、先覚者に親しみを持たせる。	小学校低学年用 「堀田正睦」 「堀田正倫」 「津田梅子」

Ⅲ－８ コミュニティ事業

「コミュニティ事業」は、自らの居住地域での人間関係を見直し、地域で共に生活し、見守り、支え合い、日常生活で声を掛け合いながら、地域づくり(防災・防犯、少子高齢化、まちの活性化等のまちづくり)に参加いただける人材の育成を目指しています。人と人のつながりを大切にして地域に根ざした活動をしたい、もしくはそうありたいと考えている市民の学習の場です。

市民協働の取り組みの一つとして、学習者一人ひとりの持つ、技術・知識・能力を高め、次世代に継承していただくだけでなく、地域リーダーとして多種多様な取り組みを、佐倉の様々な地域において実践いただくことにより、社会の人と人との絆を深め、お互いを支え合う地域社会の形成を目指します。

○平成27年度 コミュニティカレッジさくら

日 時	担 当	内 容
4月～2月 全20回	臼井 公民館	地域活動を行うために必要な折衝能力を培うとともに、地域課題の発掘方法や課題解決に向けた実践活動について学びます。また地域の各種資源(人材等)を活かした、様々な地域活動例、具体的な実践手法等、共に生き、支え合う地域づくりについても学びます。

○平成27年度 さくら学び塾

日 時	担 当	内 容
10月～3月	社会 教育課	市民の中から公募で選ばれた市民講師と受講生が共に学び、考え、お互いが成長していくための市民講座です。専門的な知識や技術を保持する市民が講師となり、その知識や技術を継承していくことを目指します。

IV 学校紹介 1 幼稚園 (3園)

佐倉市立佐倉幼稚園



【岡澤 由美子 園長からの一言】

本園は大正2年に創立し、今年で102年目を迎えます。園庭のシンボルツリー“とちの木”は雄大にそびえ、いつも元気な園児たちを温かく見守り、心地よい空間を作ってくれます。

この豊かな自然環境の中で、様々な体験を通し、優しく、たくましく、自信を持って行動できるよう、また心豊かな感性が育まれるよう、保育環境を整え、家庭や地域との連携を図り、一人ひとりを大切にする、笑顔と笑い声のあふれる幼稚園を目指します。

【今年度の教育目標】

幼稚園生活を通して、生きる力の土台を育む

《目指す幼児像》

- 明るく元気な子ども (返事や挨拶がきちんとできる子)
- 最後までがんばる子ども (先生や友達の話をきちんと聞ける子)
- みんなと仲良くできる子ども (出来事や思いを言葉で伝えることができる子)

佐倉市立和田幼稚園



【宮島 誠一 園長からの一言】

佐倉市南部の自然豊かな地域の中にあり、園舎は和田小学校と同じ建物です。運動会や音楽発表会等を一緒に行い、園行事に小学生も招き、幼小の交流を進めています。園児は8名ですが、『小さくとも、キラリと光る幼稚園』をモットーに、地域や保護者と連携しながら教育を進めています。本年度は、運動遊びや自然体験活動をとおして、体を動かすことが好きな園児に育てていきます。

【今年度の教育目標】

『物事に意欲的に取り組み、自己充実していくことのできる子どもに育てる』

- 心身ともに健康な子ども (健康・たくましさ)
- 明るく情操豊かな子ども (明るさ・やさしさ・感動)
- 友達となかよく遊べる子ども (思いやり・協力)
- 我慢強い子ども (よく考える・努力)

佐倉市立弥富幼稚園



【深山 民夫 園長からの一言】

本園は昭和49年の創立で、今年度で42年目を迎えます。園庭には四季折々の花が咲き、豊かな自然に囲まれています。

園児数11名の小規模な園ですが、『明るく元気な弥富幼稚園児』を目指し、少人数を生かしたきめ細かな保育を行うとともに、同じ敷地内の弥富小学校との行事や歌声、日常の遊びなどで交流活動を積極的に進め、「弥富幼稚園に通ってよかった」と満足いただける幼稚園としたいと思います。

【今年度の教育目標】

『豊かな人間性や社会性の基礎を培い、心身ともに健康な園児の育成』

- ◎心のやさしい子
 - ・みんなとなかよくできる子ども
 - ・協力しあう子ども
 - ・生命の大切さがわかる子ども
- ◎たくましい子
 - ・明るく元気な子ども
 - ・自分のことは自分でする子ども
 - ・最後までがんばる子ども

IV-2 小学校（23校）

佐倉市立佐倉小学校



【古嶋 美文 校長からの一言】

校門に立つスダジイの古木を象徴とする本校は、今年で創立143年目を迎える伝統ある学校です。

不易である「まごころの教育」を柱とし、いじめや差別をゆるさない、安心して過ごせる学校を目指しています。

挨拶やボランティア活動、陸上、相撲、合唱等児童の主体的な活動が盛んで、とても活力がある学校です。また家庭、地域の方の協力をたくさん頂いております。

【今年度の教育目標】

『自ら学び、豊かな感性と情緒を備え、たくましく生きる子供の育成』

～かしこく・心やさしく・たくましく～

【めざす児童像】

かしこく: 学び方を知り、進んで学習します。

心やさしく: 人を大切にし、友達と仲良く助け合います。

たくましく: 自分の体のことをよく知り、心と体をきたえます。

佐倉市立内郷小学校



【田辺 直美 校長からの一言】

豊かな自然に恵まれた古くからの地区と、京成佐倉駅北側の住宅街を学区とする本校は、創立107年を迎えました。JRCや縦割り活動、地域の交流活動を通して温かな心を育み、子どもたちは仲よく学校生活を送っています。

今年度は、草ぶえの丘や社会福祉施設等の豊かな環境を取り入れた教育活動を推進するとともに、地域との連携を一層深め、関わりの中で子どもたちの人間力を高めてまいります。

【今年度の教育目標】

『学び合う 心豊かな 実践力のある児童の育成』を学校教育目標として、
(知)自ら学習や生活に取り組み、関わりの中で自分のよさを見出し、さらに高めようとする子ども
(徳)進んで人と関わり、相手の立場に立って考え、互いに支え合う子ども
(体)夢や目標に向かって、やり遂げる意志の強さと体力を備えたたくましい子ども
の育成をめざしてまいります。学校、家庭、地域が協働して、子どもたちが自ら学び、自己実現の喜びを実感できる教育活動の展開に取り組みます。

佐倉市立臼井小学校



【久保田 宜孝 校長からの一言】

印旛沼の湖畔にあり豊かな自然と歴史に恵まれた本校は、創立143年を迎えました。保護者と地域と学校が連携し、子ども達にとって安全で安心な学校、学ぶ楽しさが実感できる魅力的な学校づくりを推進しています。そして、臼井っ子一人一人が、目指す児童像「かしこく、やさしく、たくましく」を強く意識しながら、ワンステップ上を目指して諸活動に取り組めるよう教職員が一丸となって取り組んでまいります。

【今年度の教育目標】

○教育理念:「人間尊重の精神に徹すると共に、郷土の歴史と文化を尊重し、社会の変化に主体的に対応し進んで学ぶ(好学進取)ことができる心身共に健康で、心豊かでたくましい子どもの育成を目指す。

○学校教育目標:『自ら学び、心豊かでたくましい子どもの育成』

○目指す児童像:「かしこく、やさしく、たくましく」 ～「勉強する子」・「やさしい子」・「元気な子」～

佐倉市立印南小学校



【富岡 健治 校長からの一言】

印南小学校は、豊かな自然・文化・歴史・人々など素敵な環境に囲まれた学校です。

目指す学校像は、①保護者と地域から信頼される学校②笑顔のある明るく活力のある学校③みんなで考え、歩み、みんなで拓く学校④清潔感のあふれる学校です。この目標達成に向けて、全職員で力を合わせ取り組んでいきます。

【今年度の教育目標】

豊かな心を持ち、自ら考え行動する、たくましい印南っ子
～一人ひとりが輝く学校～

(目指す児童像)

- ・考える子……進んで学び、豊かに表現できる子
- ・思いやる子……礼儀正しく、優しさと思いやりのある子
- ・元気な子……よく遊び、心も体も元気な子

佐倉市立千代田小学校



【加藤 温 校長からの一言】

本校は明治6年の開校以来、地域に愛され、地域とともに歩んできた歴史ある学校です。「あいさつや歌声が響く学校」「花いっぱい学校」「笑顔あふれる学校」をめざし、職員一丸となって取り組んでいます。

また、本校は佐倉オランダ児童交流事業のメインホスト校として、国際理解教育にも力を入れています。

【今年度の教育目標】

『心豊かにたくましく生きる児童の育成「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」』
「かしこい子」わかる授業づくりとドリルタイムの充実・家庭学習の充実 を中心として
「やさしい子」道徳教育や人権教育を核とした心の教育の充実 を中心として
「たくましい子」体力向上・健康や食への意識の高揚、自助共助の意識の育成 を中心として
◎家庭及び地域との連携、特に積極的な情報発信と地域の教育力の活用

佐倉市立上志津小学校



【大野 尊史 校長からの一言】

本校のシンボルツリーとして、昭和36年に創立記念樹として植えられた、コウヤマキ。それから半世紀余り、スカイツリーのモデルと変わらない姿にまで成長しました。私たちは、未来に生きる子どもたちのために何ができるのかという強い思いを持ち、教育の可能性に挑戦していきます。児童が夢を持ち、広い世界に目を向け、自己実現を図れるよう学校、家庭、地域が一体となり佐倉市トップレベルの教育の実現に努力していきます。

【今年度の教育目標】

「豊かな心を持ち、自ら学ぶ意欲ある児童の育成」を教育目標にして、4つの児童像(かしこい子、がんばる子、やさしい子、けじめのある子)を掲げ、一人一人の個性がかがやくよう努めて参ります。本年度の経営の重点として、①児童一人一人の学力向上と指導技能の向上、②心を育む環境づくりと指導の充実、③人権教育の推進と充実、④積極的な生徒指導の推進、⑤将来に根付く健康、安全づくりの推進、⑥家庭・地域社会と連携し、共に育てる環境づくりの6項目に取り組んでいきます。21世紀型学力の育成を重視し、子どもたちの将来につながる学力育成と、豊かな人間性の育成などバランスのとれた教育に取り組んでいきます。

佐倉市立志津小学校



【高橋 正雄 校長からの一言】

今年度、創立142年目を迎える志津小学校です。明るく素直で元気な子どもたちです。保護者、地域の皆様は、積極的に学校を支援してくださっています。防犯団体の方々による子どもの見守り活動、ボランティアの方々による学習支援活動を始め、PTA活動もさかんです。みんなで子どもの良さを発見し、それを伸ばしていきたいと思ひます。

【今年度の教育目標】

「豊かな心を持ち、一人ひとりの児童が、主役となれる学校」

○めざす児童像

『し』しっかり聞いて話せる子 『つ』つながりを大事にする子

『こ』こころ配りのできるやさしい子

『つ』つよい体をつくる子 『こ』こころ配りのできるやさしい子
教育目標を「しづっこ(志津っ子)」と関連させて指導してきた結果、これらが子どもに浸透してきています。「命を大切にし、いじめは絶対に許さない学校づくり」を最重点とし、全学校教育活動を通じて、安全・安心して学べ、保護者・地域に信頼される学校、夢・挑戦・感動のある学校を目指して、全職員協力して頑張っています。

佐倉市立下志津小学校



【浅野 宏美 校長からの一言】

保護者や地域の教育的関心が高く学校に協力的であります。自治会活動も活発で、地域社会づくりを積極的に推進するとともに、児童の支援・援助を積極的にこなさってくださっています。

子どもたちが学びたい学校、保護者が行かせたい学校を目指し、教職員一丸となって推進してまいります。今年度末の新校舎の完成を地域や子どもたちとともに楽しみにしています。

【今年度の教育目標】

『明日のために今を精一杯生きる子どもの育成』～レッツ チャレンジ 下志津っ子～
遊ぼう(健康な子)・学ぼう(学習する子)・仲良くしよう(助け合う子)

【経営の重点】

①全教職員の協力指導体制の充実と組織的な学校づくりの推進 ②学習指導の質的改善・読書指導の推進(生徒指導の機能を生かした各教科の授業改善の推進) ③生徒指導の充実(集団として・個人としての育成を図る)生徒連絡会議の充実 ④特別支援教育の充実(特別支援教育推進委員会の活性化) ⑤家庭・地域の連携を深める学校づくり

佐倉市立南志津小学校



【松浦 みち子 校長からの一言】

静かな住宅地の奥にあり、緑豊かで広い校庭と、四季折々のきれいな花が咲き、小鳥の囀りが聞こえる、うるおいのある学校です。今年で開校42年目を迎えました。「かしこく、やさしく、たくましく」をスローガンとして、「生きる力」を育む教育を推進します。学校運営委員会をはじめとし、学校・家庭・地域が一体となった教育活動の充実に努め、子どもたちが「自分の夢や目標に向かって生き生きと活動し、毎日学校に来るのが楽しくなる」そんな学校を目指します。

【今年度の教育目標】

『自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成』～かしこく、やさしく、たくましく！～

○目指す児童像

- ・ねばり強くやりぬく子(根気)
- ・素直で思いやりのある子(優気)
- ・健康でたくましい子(元気)

○目指す学校像

- ・子供にとって安全安心できれいな学校
- ・子どもや職員にとって楽しく魅力的な学校
- ・あいさつと歌声がひびく明るい学校
- ・子どもや保護者、地域から信頼される学校

佐倉市立根郷小学校



【石井 喜広 校長からの一言】

校訓「進取の心」を学校経営の柱に、根郷小学校で学んだ児童がいつも母校を誇れるような学校を目指しています。そのために、児童・職員・家庭・地域が組織的に連携しながら、学ぶことの大切さを体得しながら新しいものに積極的に挑戦します。特に今年度は「社会科・生活科」の研究を推進し、職員が一丸となって、児童と共に前向きに築いていきたいと思ひます。

【今年度の教育目標】

『実践力があり 個性豊かでたくましい児童の育成』

めざす児童像

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 笑顔がいっぱい | (知育)・・・進んで学び、わかる楽しさを感じる子 |
| 花がいっぱい | (徳育)・・・友だちを大切に、思いやりの花を咲かせる子 |
| やる気がいっぱい | (体育)・・・進んで行動、元気に運動、自分を鍛える子 |

佐倉市立和田小学校



【宮島 誠一 校長からの一言】

豊かな自然に囲まれた、児童数80名の小さな学校ですが、小規模校の良さを生かした特色ある教育活動を展開し、児童一人ひとりの自尊感情・自己肯定感を高めています。校内に和田幼稚園があり、幼小連携を進めています。研究教科・領域を生活科・総合的な学習とし、地域の自然や教育力を活用した、『和田じまん』をテーマにした学習を進め、「生きる力」や郷土愛を育てています。

【今年度の教育目標】

『ともに・・・ころ豊かに生き生きと活動する児童の育成』

～ まなびあい みんな なかよく たくましく ～

<めざす児童像>

- 【和】 わかるまで根気よく学ぶ子
 【田っ】 たくましく体をきたえる子
 【子】 心やさしい思いやりのある子

<めざす学校像>

- ①子供の「生きる力」を育てる学校
- ②明るいあいさつと笑顔があふれる学校
- ③学ぶ環境が整えられた潤いのある学校
- ④家庭・地域とともに歩む学校

佐倉市立弥富小学校



【深山 民夫 校長からの一言】

本校は、平成20年度に市内どこからでも転入学が可能となる小規模特認校に指定され、今年度は弥富地区外から6名の児童を受け入れています。全校児童52名という少人数の利点を生かし、算数科を中心に一人一人にきめ細かな指導を行っています。

本校の良さを生かし、『いじめのない学校づくり』『学力向上』『小規模特認校の周知』『併設する弥富幼稚園との交流』に力を入れています。

【今年度の教育目標】

『ふるさとに誇りを持ち、夢に向かって学び合い、思い合い、鍛え合い、社会に尽くすことのできる児童の育成』

◎めざす児童像=弥富っ子の3つの合い(愛)

- ・学び合い・・・よく考え、友だちと学び合える子
- ・思い合い・・・相手を思いやるやさしい子
- ・鍛え合い・・・健康でたくましい子

◎めざす学校像

- ・児童一人一人を大切にする学校
- ・保護者・地域から信頼される学校
- ・明日も元気に登校したい学校

佐倉市立井野小学校



【佐藤 信彦 校長からの一言】

井野小学校は、今年、創立45年目を迎えます。
長割遺跡という遺跡の中に建つ全国でも珍しい学校で、この豊かな自然と歴史に囲まれた中で育つ児童約750名は、活力と優しさにあふれています。
地域・保護者とともに、この井野の良さを子供たちに伝え、地域に誇りをもちながら、楽しく通える、明るく元気な学校をめざします。

【今年度の教育目標】

『心明るく、元気よく、力を合わせて学びゆく子』

～ 一人ひとりが輝く学校 ～

心明るい子……………礼儀正しく、優しさと思いやりのある子

元気な子……………よく遊び、心も体も元気な子

力を合わせて学びゆく子…よさを認め合い、進んで学び、豊かに表現できる子

佐倉市立佐倉東小学校



【日暮 美智子 校長からの一言】

木々の緑、色とりどりの花を両側に坂道を登ると白壁の校舎が広がります。ガードパトロールさん達の校地内巡回をはじめ、地域の方々が教育環境づくりに協力してくださっています。
縦割り班でのなかよしタイムやふれあい給食、そして、日々の授業の中で、一人一人の居場所づくりを進めていきます。創立41年目の今年度も「あいさつと歌であふれる元気な学校」をめざします。

【今年度の教育目標】

『ひとにやさしい子、がんばれるたくましい子、しんげんに考え学べる子』

【めざす学校像】

- (1) 子ども達が夢を持ち、明日も行きたいと思える学校
- (2) 一人一人の職員が持てる力を発揮し、喜びを分かち合える学校
- (3) 保護者や地域と信頼し合える安心・安全な学校

佐倉市立西志津小学校



【沼田 正信 校長からの一言】

開校39年目を迎えた西志津小学校は、『響け歌声』『読書大好き』『1000人パワー』の特色を中心に、とても活気あふれる学校です。「歌声集会」「図書まつり」「運動会」などの学校行事や児童集会は、昨年度完成した新体育館を活用し、大変盛り上がります。この教育活動も、保護者・地域の方々など、数多くの皆様に支えられ、行われております。多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、児童一人一人が西志津小で学べてよかったと思えるよう、学校を運営していきたいと思えます。

【今年度の教育目標】

『思いやりのこころをもち 互いに学びあう たくましい児童の育成』をめざす。

目標を達成するため、全教職員と共に次の3つの児童像をめざし教育にあたっています。①『思いやりのある子』相手の立場に立って考えられ、気遣いのできる児童。自ら明るく元気に挨拶できる児童。②『学びあう子』自分から進んで学習に取り組むとともに、他の人との関わりの中で自分や他の人の良さを見だし、さらに自分を高めようとする児童。③『たくましい子』夢や目標に向かって、あきらめることなく、主体性をもってやり遂げる意思の強さと体力をもった児童。

佐倉市立小竹小学校



【山田 陽一 校長からの一言】

あいさついっぱい、歌声いっぱい、読書いっぱい、花いっぱいの学校です。今年で創立35年目を迎えます。異学年による縦割り活動や学校図書館教育は、特に力を入れています。平成26年4月に、子どもの読書教育活動優秀実践校として「文部科学大臣表彰」を受け、今年度も引き続き実践を重ねていきます。また、スクールガード隊をはじめとした地域の方々の見守りが熱心に行われる中、子どもたちが「安心安全」に登下校できている学校です。

【今年度の教育目標】 輝く小竹っ子 わくわく登校 にこにこ下校
あいさついっぱい 歌声いっぱい 読書いっぱい 花いっぱいの学校で
「元気な子 やさしい子 考える子」の育成

元気な子 (体) よく働き、進んで挨拶ができる心身共にたくましい子ども
やさしい子 (徳) 思いやり助け合いながら、感謝の気持ちをもって行動する子ども
考える子 (知) 読み書き計算ができ、学び方を身につける子ども よく考え、判断し、行動できる子ども

佐倉市立間野台小学校



【山本 昌弘 校長からの一言】

白井地区由来の楠が多く植樹された間野台公園併設の本校は創立35年目になります。明るく元気いっぱい、しっかり「あいさつ」のできる541名の子どもたちとチームワークのとれた教職員と共に、間野台小学校という大きな家族をめざします。また、ガードボランティアをはじめとする保護者・地域の皆様の協力をいただきながら、児童にとって魅力的で安心・安全な学校づくりを推進します。12月8日に生活・社会科・特別支援の公開研究会を開催します。

【今年度の教育目標】
『心豊かで、進んで学ぶ、心身ともにたくましい子どもの育成』
自尊感情を高めつつ、“よさ”や“可能性”を引き出し、心身ともに健やかな子どもたちの伸長を図ります。
《めざす学校像》①「明るく、一人一人の子どもを大切にする学校」
②「学年に応じて基礎・基本の能力が育っている学校」
③「校舎内外が学習の場にふさわしく整備され、安全で活動しやすい学校」
④「元気な挨拶、大きな返事がいっぱいの学校」

佐倉市立王子台小学校



【前田 克彦 校長からの一言】

本校は住宅地にありながらも、近くには豊かな自然が残されており、教育環境に恵まれた学校です。学区内の様々な専門的知識をもった方がボランティアとして、子どもたちの学習を支援していただいています。また、今年度から文部科学省指定の特例校として、英語科に向けての先行研究に取り組んで参ります。

【今年度の教育目標】
『思いやりの心もち、知性豊かなたくましい児童の育成』
(めざす児童像) ○思いやる子(お互いのよさを認め、ともに助け合う子)
○学び合う子(話を最後まで聞き、進んで学習する子)
○たくましい子(自分の健康に気をつけ、進んで運動する子)
(めざす学校像) ・保護者、地域に信頼される学校 ・あいさつや歌声が響く学校
(めざす教職員像) ・子どもを「認めて ほめて 励ます」教師

佐倉市立青菅小学校



【飯田 嘉彦 校長からの一言】

豊かな自然と歴史、新しい住宅地が融合した活力ある地区に位置しています。家庭・地域の皆様とともに歩み続け、児童数379名で新年度を迎えることができました。

『青菅っ子 未来に輝け』を30周年記念のスローガンとして、学校・家庭・地域とともに、社会に貢献できる子どもたちを育てていく所存です。学力向上とともに、社会人として大切な挨拶と表現力を高める歌声活動に力を入れてまいります。

【今年度の教育目標】

『かしこい子の育成』 ～ やさしい子・勉強する子・元気な子 ～

やさしい子 …… 進んで挨拶ができ、友だちと仲よく遊び、環境を大切にする。

勉強する子 …… よく聞き、考え、読み書き計算を得意にする。

元気な子 …… 進んで運動し、規則正しい生活を送る。

○ あおすげ合い言葉

あ …… 明るい挨拶 お …… 思いやりの心 す …… 進んで学ぶ げ …… 元気に運動

佐倉市立寺崎小学校



【林 賢治 校長からの一言】

本校は、昭和62年に根郷小学校より分離独立し、今年で29年目を迎え、落ち着いた中にも笑顔や活気があふれる校風が築かれています。

この春、かわいい65名の新入生を加え、413名で新学期がスタートいたしました。

教職員は、児童一人一人と向き合って全教職員が一致協力して教育目標の実現に向け、『子どもたちのために』教育活動を推進して参ります。

【今年度の教育目標】

『知・徳・体の調和のとれた心豊かなたくましい児童の育成』

<児童目標> 「かしこく やさしく たくましく」

<めざす児童像>

- ・かしこい子……話を最後まで聞き、進んで発表する子
- ・やさしい子……あいさつが先にでき、お互いに助け合う子
- ・たくましい子 ……自分の健康に気をつけ、進んで運動する子

佐倉市立山王小学校



【石井 一好 校長からの一言】

本校は平成元年に根郷小学校より分離独立して創設27年目になります。スクールカラーは「コバルトブルー」です。

周辺環境との調和、明るくゆとりある空間をもつ校舎等、恵まれた教育環境のもとで全校176名の児童はのびのびと学習活動に励んでいます。隣接の敬愛短大や福祉施設との交流、全校縦割り班による異学年交流活動など、地域の特性を活かした教育活動を推進して参ります。

【今年度の教育目標】

『よく学び、心豊かでたくましい児童の育成』

【めざす児童の姿】

- 勉学に励む子
- 励まし合い、ささえ合って伸びる子
- 健康でがんばる子

【めざす学校像】

- 保護者・地域に信頼され、ともに歩む学校

【めざす教師像】

- 教育のプロとしての自覚と誇りをもち、実践する教師

佐倉市立染井野小学校



【天田 美佐枝 校長からの一言】

本校は、開校17年目を迎えました。
ここ数年は、生活科・総合的な学習の時間を中心に、地域の方々や保護者とともに「染井野の誇り(よさ)」や「佐倉の誇り(よさ)」を発見し、自分にできることを考えてきました。
今年度は、昨年度に引き続き、「探究」「協同」の学び方を土台とし、それを生かした子ども主体の21世紀型学習を他教科にも広げていくことに挑戦します。

【今年度の教育目標】『よりよい生き方をめざし、進んで学ぶ、心豊かでたくましい子どもの育成』
「生きる力」の基盤となる「豊かな心」の育成と、自らの目あてに向かって主体的に取り組み、困難なことにも逃げずに乗り越える「たくましさ」の育成に努めます。

引き続き「学力向上」にチャレンジします。学力の二極化に対応して、指導の形態や方法の改善を図ります。複数の教師がかかわる指導を積極的に取り入れ、個に応じたきめ細かな指導を全校体制で進めていきます。

インクルーシブ教育の視点から、授業のユニバーサルデザイン化をめざします。

佐倉市立白銀小学校



【小長井 博子 校長からの一言】

白銀小学校は、家庭や地域とともに歩むコミュニティスクールとして、12年目を迎えました。

昨年度から防災体制づくりにも積極的に取り組んでいます。子どもの「防災リーダー」を任命し佐倉東中学校区で連携していきます。

本年度は算数科の授業改善を進め、子どもたちの学力向上に努めます。

【今年度の教育目標】

○自ら学び、人間性豊かで、たくましく生きる子どもの育成

～かしこい子の育成～ ○勉強する子 ○やさしい子 ○元気な子

本校の教育がとらえる学びとは、「教えられるが故に学ぶのではなく、学ばんと欲するが故に教えるを乞う」様子が伺えることです。一人一人の児童の学びたいという意欲(好学)を引き出し、基礎・基本や思考・判断し、表現する力(進取)等の向上を図ります。また、地域の様々な人々とのふれあいや交流教育等を通して、互いに認め合い、協力し合い、自ら進んでより良い学校生活を、築こうとする姿勢を育てます。

IV-3 中学校（11校）

佐倉市立佐倉中学校



【柴内 靖 校長からの一言】

学校は、「学びの場」であり、学習や各種行事、部活動などを通して、様々な事を学び、確かな学力、豊かな心、健康な体を身につけ、「生きる力」を培ってほしいと考えています。

そして、「生徒も先生も笑顔でいられる学校」、保護者や地域の皆様のご協力のもと、「地域に信頼され地域と共に歩む学校」づくりを続けていきます。

【今年度の教育目標】

校訓「好学進取」のもと、心豊かで、進んで学び、行動するたくましい生徒の育成をめざします。

〈めざす生徒像〉

- 自他ともに命を大切にし、他を思いやる心を持つ生徒
- 進んで学び、進路に向けて努力する生徒
- 礼儀正しく、きまりやマナーを守る生徒
- 奉仕の心をもって進んで働く生徒
- 健康・体力づくりに励む生徒

佐倉市立志津中学校



【天本 憲亮 校長からの一言】

本校は、全校生徒700名を超える大規模校です。生徒は歴史ある伝統のもとに、明るく伸び伸びと学校生活を過ごしています。また、地域との交流も深く、地域から支えられている学校です。志津中五本柱と学習五原則を生活の基盤とし、自己指導能力を育む教育活動に取り組み、「生徒による、生徒のための、生徒の学校」(生徒が主役)を目指します。

【今年度の教育目標】「進んで学び、心豊かでたくましく生き抜く生徒の育成」

〈進んで学ぶ生徒〉

- 授業に真剣に取り組み、自ら学ぶ生徒(勤勉)
- 自分の進路に向けて努力し続ける生徒(進路)
- 〈心豊かな生徒〉
- 礼儀正しく、自他共に大切にする生徒(礼儀・思いやり)
- よく働き、人に尽くす生徒(勤労・奉仕)
- 〈たくましい生徒〉
- きまりやマナーを守り、節度ある行動ができる生徒(強い意志)
- 健康・体力づくりに励む生徒(健康・体力)

佐倉市立上志津中学校



【三村 宏治 校長からの一言】

本校は地域との交流を深めるなど、地域や保護者の皆様に支えていただきながら教育活動を行っております。

また、学区の小学校と連携した「四つの約束」①さわやかな挨拶をする②時間を守る③人の話をよく聴く④進んで隅々まで清掃をする を合言葉に自分自身を大切にするとともに周囲への心配りができ、将来自己実現を図れるたくましい生徒の育成を目指してまいります。

【今年度の教育目標】

『心優しく、たくましく生きる生徒の育成 -四つの約束を基盤に- 』

〈めざす生徒像〉

- ① 進んで学習に取り組む生徒
- ② 基本的な生活習慣が身についた生徒
- ③ 意欲的に体力の向上に取り組む生徒
- ④ 進んで清掃に取り組む生徒
- ⑤ 思いやりの心を持ち互いに助け合える生徒

佐倉市立南部中学校



【泉 重二 校長からの一言】

南部中学校は、市の南に位置し、根郷、和田、弥富地区の中学校が統合して誕生しました。本年度56回目の入学生を迎えました。

歴史と伝統を受け継いだ255名の生徒の元気のよい挨拶、さわやかな歌声が響いています。32名の職員が「すべては生徒のために」を経営の柱に、保護者や地域の皆様のご協力のもと、信頼される学校をめざし取り組みます。

【今年度の教育目標】

『進んで学び、心豊かに、たくましく生きる生徒の育成』

＜めざす生徒像＞

- 自ら学び、よく考え、自分を高める生徒
- 思いやりがあり、正しく判断し、行動できる生徒
- 明るく、礼儀正しく、健康な生徒

佐倉市立臼井中学校



【間野 博昭 校長からの一言】

生徒数333名、教職員30名の中学校です。

積極的に学習に取り組む学校、明るい挨拶と笑顔と拍手のあふれる学校、いじめのない学校、うつくしい学校、思いやりを満ちた学校を目指します。

【今年度の教育目標】

「明るく直くたくましく」

日々進化するために、生徒も教職員も意識を高く持って生活経験を積み重ねたいと思います。すべての活動に真摯に全力で取り組む。すべての活動に取り組む指針とする。すべての活動の評価とする。すべての活動がそこに集約・収斂される。校歌の一節でもあります。

佐倉市立井野中学校



【勝田 敏彦 校長からの一言】

「五つの伝統」である「明るい挨拶」「響く歌声」「きれいな校舎」「はつらつ健康」「高い学習意欲」を受け継ぎ、本校は今年度で34年目を迎えました。また、地域の温かな支えと広大な校地、そして落ち着いた環境の中で、日々充実した教育活動を展開しています。

全生徒と全職員で「生徒にとって通いたい学校。保護者・地域にとって通わせたい学校。職員にとってやり甲斐のある学校」をめざして取り組んでいきます。

【今年度の教育目標】

『自立・協働・貢献ができる生徒を育成する』

- (1) めざす生徒像 自他敬愛の心を持ち、共に努力向上しようとする生徒。
- (2) めざす教師像 生徒の夢・志を育み、自己実現を支えられる教師。
- (3) めざす学校像 地域の中に生きる学校。

佐倉市立佐倉東中学校



【木村 信嘉 校長からの一言】

創立29年を迎えた佐倉東中学校は、花と緑が学舎を包み、四季の彩りに「爽やかな挨拶」がこだまする落ち着いた環境にあります。

本校の伝統である「挨拶・歌声・清掃・思いやり」にさらに磨きをかけるとともに、今年は生徒のやる気の「気」、根気の「気」、気力の「気」を大切にしながら、学校と保護者、地域が協力し、つねに開かれた学校を目指してまいります。

【今年度の教育目標】

『心豊かで、生きる力をそなえた生徒の育成』

～確かな学力 豊かな心 健やかな体 の調和をめざして～

《期待する生徒像》

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| ① 明るく礼儀正しい生徒 | ② 正しく判断し、行動できる生徒 |
| ③ 正義・人権を尊ぶ生徒 | ④ 基礎・基本を身につけ、主体的に学習する生徒 |
| ⑤ 粘り強く、一生懸命活動する生徒 | |

佐倉市立臼井西中学校



【柏熊 文雄 校長からの一言】

本校は、校地を雉が走り、隣の手繰川にはカワセミが飛ぶほど豊かな自然環境の中にあります。明るく爽やかな生徒357名は、「挨拶」「清掃」「態度」を生徒会三本柱にたいへん意欲的に活動しています。教育に熱い思いを持つ教師集団と共に、「生徒に考えさせる」指導、「生徒を支える」指導を工夫し、生徒の「生きる力」を育むべく、教職員一丸となって教育活動を推進して参ります。

【今年度の教育目標】

学校教育目標 「困難から逃げず、心豊かに逞しく生き抜く生徒の育成」

- ①基礎的・基本的な知識・技能を習得し、自分の考えや思いを表現できる生徒の育成
- ②自らの判断で正しい行動を選択し、他への配慮をしながら実践できる心豊かな生徒の育成
- ③たくましく生き抜く気力・体力のある生徒の育成

<めざす生徒像>○よく学習する ○礼儀正しい ○よく働く ○心のやさしい ○よく運動する、生徒

<めざす学校像>○学びが保障されている ○いじめを許さない ○家庭・地域とともに歩む信頼される、学校

佐倉市立西志津中学校



【住母家 規夫 校長からの一言】

「山吹の花 静かにゆれて」これは校歌の一節で、その図柄は校章に、そして、色はスクールカラーとなって28年の季節を迎えています。さらには校舎南面のグラウンドと隔てる桜並木、校地を縁取る銀杏と佐倉の西の一角に新たな街造りと共に歩み、地域人の思いや夢を語り継いで日々歴史を積み重ねている学校ともいえます。「合唱・読書・俳句」は本校の新しい3本の矢。生徒主体の活動運営は見事です。

【今年度の教育目標】

『自ら鍛え、生きる力を積み重ねる生徒の育成』

○目指す生徒像3本の柱

- ①文武両道 ○進んで学習に励み、学力向上を目指す生徒 ○自ら鍛え、気力・体力を高める生徒
- ②温故知新 ○良さを引き継ぎ、気づいて行動できる生徒 ○思いやりと工夫改善の心を持つ生徒
- ③地域貢献 ○自治的活動に積極的に取り組む生徒 ○地域人として成果を還元できる生徒

佐倉市立臼井南中学校



【飯高 章 校長からの一言】

「学校は地域コミュニティの中核である」を基本理念として、「学校運営委員会」を組織し「地域との協働による学校運営」を目指します。

臼井南中学校は、「汗をかく」を学校教育目標に、『確かな学力』と『豊かな心』を育成します。そして、「挨拶で心を開き・清掃で心を磨き・物を大切にしておいしい心に」を伝統に、新たに「合唱で心をつなぐ」を加えて、全ての活動に374名の生徒が高い意識と誇りを持って取り組みます。

【今年度の教育目標】

<学校教育目標 汗をかく>

- すべての活動に真摯に全力で取り組む
- すべての活動の評価とする
- すべての活動がそこに収斂されてくる
- そこに立ち返って反省する
- 職員と生徒の合言葉とする

<学校目標 汗をかく4つの柱>

- ・好学進取
- ・自主・自立
- ・健康
- ・共生・社会貢献

佐倉市立根郷中学校



【川津 章 校長からの一言】

本校は創立19年目を迎えます。佐倉南図書館が隣接しており、近隣には佐倉南高校や敬愛短期大学があり文教地区の香り漂うしっとりとした地域です。自然環境や学習環境に恵まれている根郷中学校で生徒が夢や希望が育めるよう、全職員が一丸となって取り組んでいきます。

また、生徒が安心して学校生活を送れるよういじめのない健全な学校を目指します。

【今年度の教育目標】

- 独創性と勇気を持ち、心豊かにたくましくこれからの時代を生き抜く生徒の育成
- ⇒「独創性と勇気」に込めた思い…自分が興味を持ち、どうしてもやり遂げたいというテーマを持ち、その実現のために夢を抱き勇気をもって挑戦してほしいということ。
- ⇒「心豊かに」に込めた思い…自分自身を真剣に見つめ、他の人を優しく思いやり、美しいものや気高いものに感動し、社会のため・人のため・公共のために進んで尽くそうとする開かれた心をもって、前途洋々たる人生を生き抜いてほしいということ。

〔資料編〕

I 教育行財政

1 歴代教育委員

年度	教 育 委 員					
	委 員 長	委 員				教 育 長
昭和29	遠山 実	立田 喜一	渡辺 宗次郎	三須 力雄	大木 三郎	円城寺 悦作
30	大木 三郎	三門 新五郎	〃	〃	遠山 実	〃
31	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	三須 力雄	渡辺 宗次郎	仲台 昭之助		遠山 実	大木 三郎
32	〃	〃	〃	〃	〃	〃
		立崎 浩				
33	〃	〃	〃	〃	〃	〃
			鈴木 忠雄			
34	立崎 浩	木村 伊三郎	〃	〃	〃	〃
		岩井 喜三郎			木村 康正	
35	〃	〃	〃	〃	〃	〃
36	〃	〃	〃	〃	〃	〃
37	〃	〃	〃	〃	〃	〃
			前原 一雄			
38	〃	小沢 喜一郎	〃	〃	〃	〃
39	〃	〃	〃	〃	〃	〃
		円道寺 勇				
40	前原 一雄	菅谷 定一	立崎 浩	〃	〃	〃
41	〃	〃	〃	〃	〃	〃
42	〃	前原 一雄	〃	〃	〃	〃
	菅谷 定一					
43	〃	〃	〃	〃	〃	〃
44	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	立崎 浩					
45	〃	〃	〃	〃	〃	〃
		森谷 勉				
46	〃	〃	〃	〃	〃	〃
					内田 寅之助	
47	〃	〃	〃	〃	〃	〃
					石渡 宏	
48	〃	野口 甫	〃	〃	〃	〃
	森谷 勉				郡司 幹雄	
49	〃	〃	〃	〃	〃	〃
50	〃	〃	〃	〃	〃	〃
					渡辺 熨斗男	
51	〃	〃	〃	〃	〃	〃
			井原 善一郎			
52	〃	〃	〃	〃	〃	〃
		檜貝 信一郎				
53	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	井原 善一郎					
54	〃	〃	〃	〃	〃	〃
55	〃	〃	〃	〃	〃	〃
					横橋 彌壽夫	
56	〃	〃	〃	〃	〃	〃
					〃	
57	〃	〃	〃	〃	〃	〃
			蜂谷 秀雄			
58	〃	井原 善一郎	〃	〃	〃	〃
	檜貝 信一郎				佐藤 強	
59	〃	〃	〃	〃	〃	〃
60	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	蜂谷 秀雄				伊藤 俊一	
61	〃	〃	〃	〃	〃	〃
62	〃	〃	〃	〃	〃	〃
63	〃	〃	〃	〃	新田 輝子	〃
		遠山 正道				渡貫 博孝

年度	教 育 委 員 会				教 育 長
	委 員 長	委 員	委 員	委 員	
平成 元	蜂谷 秀雄	遠山 正道	伊藤 俊一	新田 輝子	渡貫 博孝
2	〃	〃	〃	〃	〃
3	〃	〃	〃	〃	〃
4	〃	〃	〃	〃	〃
	伊藤 俊一		蜂谷 秀雄		
5	〃	〃	関山 邦宏	〃	〃
6	〃	〃	〃	〃	〃
7	〃	〃	〃	〃	藤江 徳也
8	〃	〃	〃	〃	〃
	〃	檜貝 旦子			
9	〃	〃	〃	〃	〃
	新田 輝子			奥山 透	
10	〃	〃	〃	〃	〃
	奥山 透			新田 輝子	
11	〃	〃	〃	〃	〃
12	〃	〃	〃	田中 藤子	高宮 良一
		徳嵩 陽子		〃	〃
13	〃	関山 邦宏	徳嵩 陽子	木村 正久	〃
		関山 邦宏			
14	〃	〃	〃	〃	〃
15	〃	〃	〃	〃	〃
16	〃	齋藤 恵子	〃	〃	〃
			饗庭 紀子		
17	〃	〃	〃	〃	〃
18	〃	〃	〃	〃	〃
	木村 正久			関山 邦宏	
19	〃	〃	〃	〃	〃
20	〃	〃	〃	〃	葛西 広子
			(欠員)		
21	〃	〃	田邊 俊彦	〃	〃
	関山 邦宏			菅谷 義範	
22	〃	〃	〃	〃	〃
23	〃	〃	〃	〃	〃
24	〃	〃	〃	〃	〃
25	〃	〃	〃	〃	茅野 達也
26	〃	〃	〃	〃	〃
27	〃	〃	〃	〃	〃

2 平成26年度教育委員会議

○平成26年度中の会議の開催回数

定例会	臨時会	協議会	計
12	1	—	13

○会議に付議した議案

件 名	議案件数
教育行政の運営に関する基本方針を定めること	1
予算その他の議会の議決や市長との協議を要する事件について市長に申し出ること	7
附属機関の委員等の任命又は委嘱に関する事	15
教育委員会規則及び訓令等の制定又は改廃に関する事	9
教育委員の人事に関する事	2
教育委員会職員の人事異動について	1
佐倉市教育功労者の決定について	1
教科用図書に関する事	1
教育委員会の事務執行にかかる点検評価報告書について	1

3 平成26年度教育功労者等

(所属は表彰当時)

○佐倉市教育功労者

杉本 勉 (校長)	牛田 義宣 (学校運営委員長)
大迫 雅江 (校長)	片桐廣八郎 (地域コミュニティスクール 学校環境整備委員)
山口 俊久 (校長)	宇田川光三 (学校評議員)
川島 正一 (校長)	遠山 成一 (文化財審議会副委員長)
大塚実季雄 (校長)	長 典子 (文化財審議会委員)
島 孝一 (教頭)	堀江 悦郎 (少年少女発明クラブ運営委員)
椎名香代子 (教諭)	弥富直売所 (農作物直売所)
田島 一雄 (小学校ボランティア)	

○佐倉市学校教育振興基金による表彰

1. 佐倉市学校教育幼児、児童及び生徒表彰

山本 花奈 (井野小学校児童)	藤井 創太 (志津中学校生徒)
本田 純鈴 (西志津小学校児童)	渡邊 安登 (志津中学校生徒)
河合 多美 (西志津小学校児童)	石田 和瑚 (志津中学校生徒)
木下 将希 (間野台小学校児童)	松田 大毅 (南部中学校生徒)
廣瀬 礼奈 (井野小学校児童)	梅原 遥奈 (南部中学校生徒)
吉岡 和美 (王子台小学校児童)	徳永 彩花 (臼井中学校生徒)
林 和華 (寺崎小学校児童)	宮崎 諒也 (佐倉東中学校生徒)
高瀬 優 (寺崎小学校児童)	前田 康汰 (西志津中学校生徒)
内田 瑞基 (染井野小学校児童)	鯨井 祥敬 (西志津中学校生徒)
日下部 拓実 (染井野小学校生徒)	渡部 柊 (西志津中学校生徒)
千葉 琴美 (白銀小学校生徒)	松木 紗綾 (西志津中学校生徒)
青柳 柁希 (佐倉中学校生徒)	浅尾 凧咲 (西志津中学校生徒)
小川 健太 (佐倉中学校生徒)	栗原 聖弥 (臼井南中学校生徒)
伊藤 翔紀 (佐倉中学校生徒)	

2. 佐倉市教育改善研究表彰

細川 浩美 (佐倉中学校教諭) ・ 染井野小学校 生活科・総合的な学習の時間研究部

3. 佐倉市学校教育支援表彰

千葉県交通安全推進隊 おだけを守る会 (小竹小学校への支援)
うさぎの会 (臼井小学校への支援) ・ 望月 三恵子 (佐倉小学校への支援)

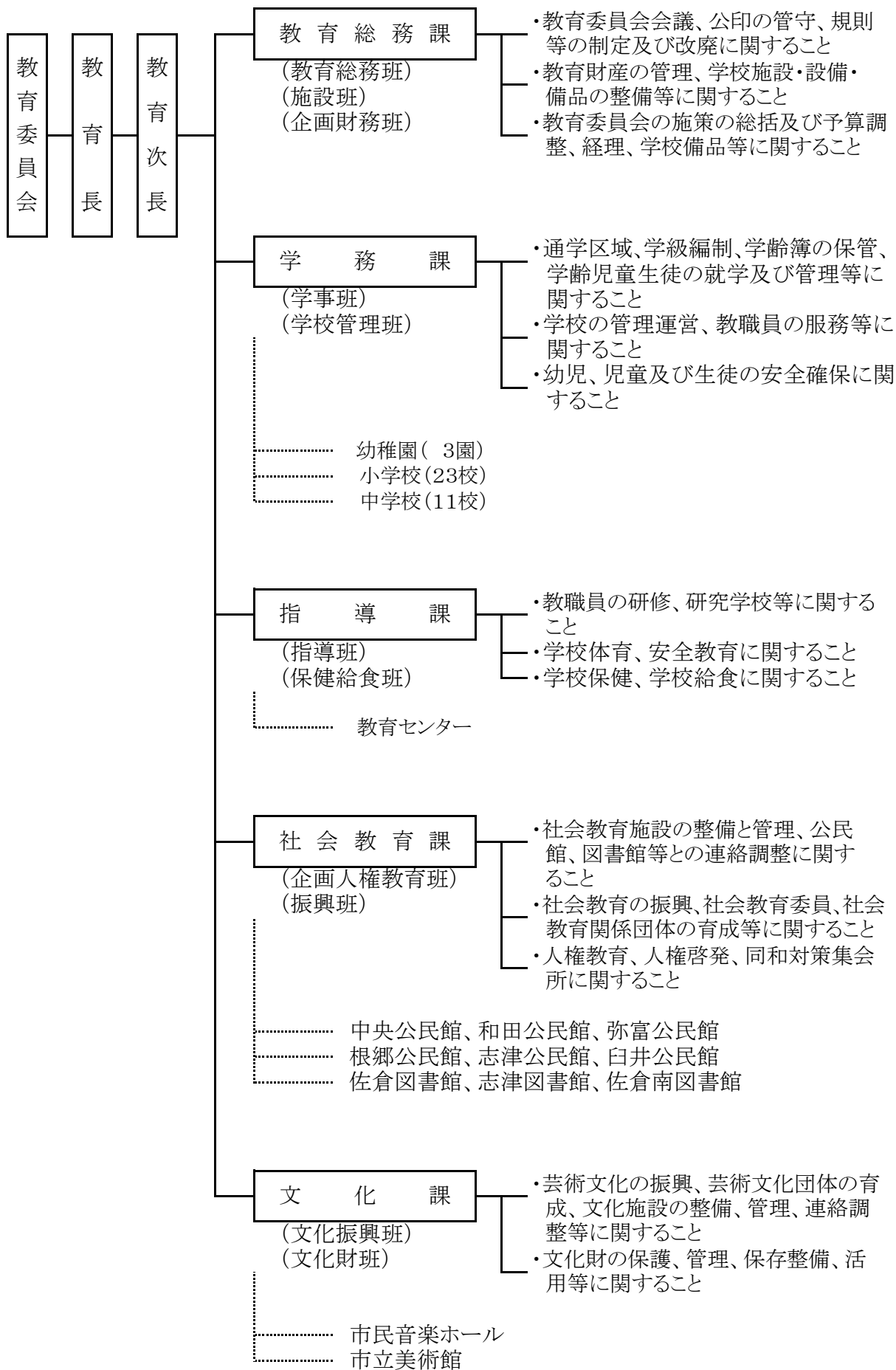
○印旛郡市地方教育委員会連絡協議会教育功労者

東田さよ子 (内郷小学校長)	杉本 勉 (臼井小学校長)
大迫 雅江 (小竹小学校長)	山口 俊久 (上志津中学校長)
川島 正一 (南部中学校長)	大塚実季雄 (井野中学校長)

○印旛郡市よい歯の学校

染井野小学校

4 教育委員会機構



5 職員数

(平成27年4月1日現在)

○事務局

	教育次長	参事	課長	主幹	副主幹	社会教育主事	指導主事	主査	主査補	主任主査 主任主査 主任主査 主任主査	主事 主事 主事 主事	学芸員・司書 技師・技師 技師・技師 技師・技師	計
教育次長	1												1
教育総務課			1					2	7	1			11
学務課			1	2			4		2			1	10
指導課			1	1			8	2	1				13
社会教育課			1		1	1			2				8
文化課			1		1				2				11
派遣等職員												1	1
計	1	0	5	3	2	1	12	6	12	1		12	55

○教育機関・施設

	館所園 長長長	副副教 主館 幹長頭	主 査	指導主事	主査補	主任保健師 主任栄養士 主任主事	主任栄養士 主事	栄養士 主事	教 養護教諭	司 書	学 芸員	主任 任用 役員	計
中央公民館	1		1		3	1	1						7
和田公民館	1		併 (1)		併 (1)	1	1						3
弥富公民館	1		1		併 (1)								2
根郷公民館	1				1	1					1		4
志津公民館	1	2			2							1	6
白井公民館	兼 (1)	兼 (1)	1		兼 (4)	1	兼 (1)	兼 (1)		兼 (1)			2
佐倉図書館	1		3		2	1				1			8
志津図書館	1				5					3			9
佐倉南図書館	1		2		1	2				1			7
市民音楽ホール	1	1	兼 (1)		兼 (2)	3	1	1					7
市立美術館	1		1		1	1	2				1		7
教育センター	1				4								5
幼稚園(3園)	併 (2)	1	2	兼 (1)	1			兼 (1)	11			1	16
小学校(23校)			1	2		8	1	4					16
中学校(11校)				2			1	1					4
計	12	6	14	4	28	10	9	11	5	2	2		103

*「兼」は兼務、「併」は併任を表す。(なお、上記職員数には再任用職員、任期付職員は含まない)

6 教育費予算・決算

(1) 平成27年度一般会計予算の概要

平成27年度教育費予算の歳出総額は、75億3,675万9千円で、一般会計予算に占める構成比は16.7%、前年度当初予算に比べ6億5,116万7千円の減となっている。

(歳入)

(単位:千円)

款名	27年度予算額	構成比	26年度予算額	構成比	前年との差額	増減率
1 市税	23,315,607	51.8%	23,651,164	50.0%	△ 335,557	△ 1.4%
2 地方譲与税	416,000	0.9%	430,000	0.9%	△ 14,000	△ 3.3%
3 利子割交付金	55,000	0.1%	56,000	0.1%	△ 1,000	△ 1.8%
4 配当割交付金	226,000	0.5%	129,000	0.3%	97,000	75.2%
5 株式等譲渡所得割交付金	149,000	0.3%	50,000	0.1%	99,000	198.0%
6 地方消費税交付金	2,400,000	5.3%	1,652,000	3.5%	748,000	45.3%
7 ゴルフ場利用税交付金	38,000	0.1%	41,000	0.1%	△ 3,000	△ 7.3%
8 自動車取得税交付金	71,000	0.2%	78,000	0.2%	△ 7,000	△ 9.0%
9 地方特例交付金	121,000	0.3%	121,000	0.3%	0	0.0%
10 地方交付税	1,880,000	4.2%	2,100,000	4.4%	△ 220,000	△ 10.5%
11 交通安全対策特別交付金	25,000	0.1%	30,000	0.1%	△ 5,000	△ 16.7%
12 分担金及び負担金	569,022	1.3%	555,747	1.2%	13,275	2.4%
13 使用料及び手数料	600,994	1.3%	598,244	1.3%	2,750	0.5%
14 国庫支出金	6,682,268	14.8%	7,165,269	15.1%	△ 483,001	△ 6.7%
15 県支出金	2,769,973	6.1%	2,662,987	5.6%	106,986	4.0%
16 財産収入	48,711	0.1%	57,953	0.1%	△ 9,242	△ 15.9%
17 寄附金	660	0.0%	70	0.0%	590	842.9%
18 繰入金	1,137,772	2.5%	3,189,253	6.7%	△ 2,051,481	△ 64.3%
19 繰越金	10	0.0%	10	0.0%	0	0.0%
20 諸収入	399,683	0.9%	272,903	0.6%	126,780	46.5%
21 市債	4,148,300	9.2%	4,503,400	9.5%	△ 355,100	△ 7.9%
合計	45,054,000	100.0%	47,344,000	100.0%	△ 2,290,000	△ 4.8%

(歳出)

款名	27年度予算額	構成比	26年度予算額	構成比	前年との差額	増減率
1 議会費	440,007	1.0%	414,076	0.9%	25,931	6.3%
2 総務費	6,004,984	13.3%	5,983,406	12.6%	21,578	0.4%
3 民生費	17,836,748	39.6%	17,724,840	37.4%	111,908	0.6%
4 衛生費	4,176,325	9.3%	4,161,031	8.8%	15,294	0.4%
5 農林水産業費	375,121	0.8%	379,718	0.8%	△ 4,597	△ 1.2%
6 商工費	377,173	0.8%	433,261	0.9%	△ 56,088	△ 12.9%
7 土木費	2,419,200	5.4%	3,583,692	7.6%	△ 1,164,492	△ 32.5%
8 消防費	2,553,105	5.7%	2,707,789	5.7%	△ 154,684	△ 5.7%
9 教育費	7,536,759	16.7%	8,187,926	17.3%	△ 651,167	△ 8.0%
10 災害復旧費	50	0.0%	50	0.0%	0	0.0%
11 公債費	3,254,528	7.2%	3,688,211	7.8%	△ 433,683	△ 11.8%
12 予備費	80,000	0.2%	80,000	0.2%	0	0.0%
合計	45,054,000	100.0%	47,344,000	100.0%	△ 2,290,000	△ 4.8%

※表示単位未満四捨五入の関係で、構成比の各項目の積み上げは必ずしも100%にはなっていません。

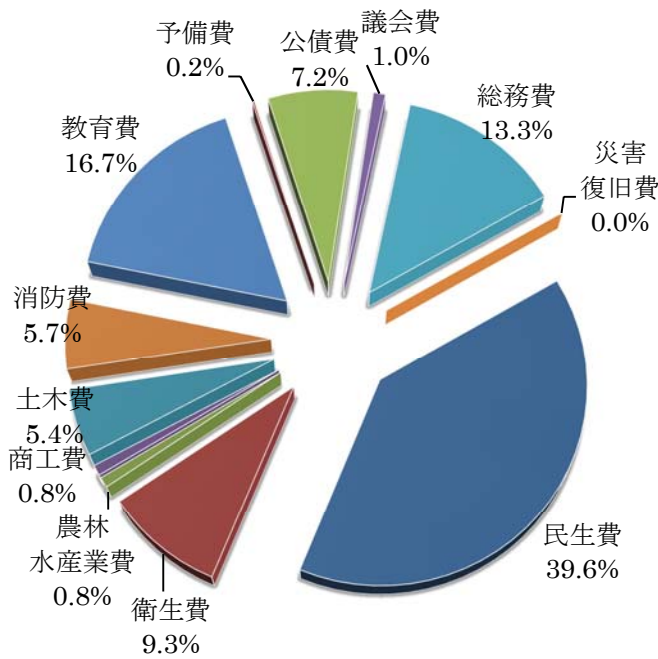
(2) 平成27年度教育費の科目別予算額と財源内訳

(単位：千円)

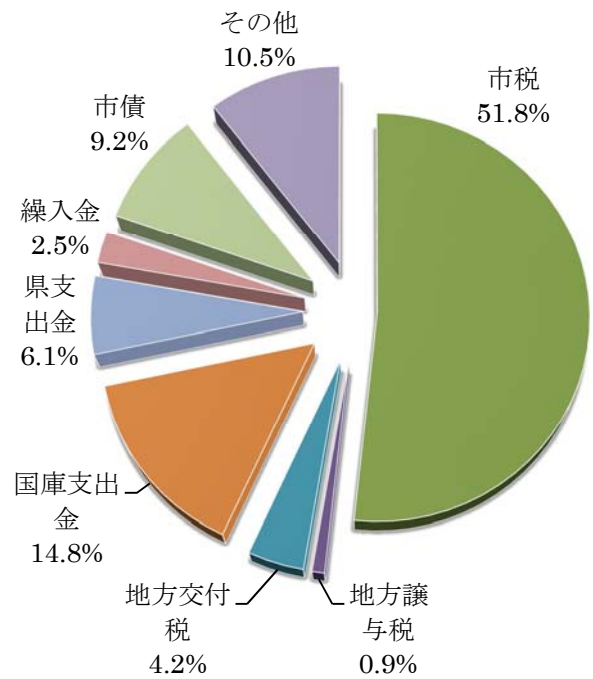
予算科目	予算額	財源内訳				
		特定財源				一般財源
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
教育費	7,536,759	660,068	58,510	1,717,500	60,731	5,039,950
1. 教育総務費	828,816	11,639	0	0	1,609	815,568
1 教育委員会費	3,559					3,559
2 事務局費	532,446				924	531,522
3 教育研究指導費	242,200	11,639			685	229,876
4 教育センター費	50,611					50,611
2. 小学校費	2,058,627	188,860	0	1,010,000	3,979	855,788
1 学校管理費	401,802				3,076	398,726
2 教育振興費	210,950	1,974			903	208,073
3 学校建設費	1,445,875	186,886		1,010,000		248,989
3. 中学校費	1,098,510	78,029	0	448,800	1,479	570,202
1 学校管理費	251,140				1,479	249,661
2 教育振興費	132,887	1,766				131,121
3 学校建設費	714,483	76,263		448,800		189,420
4. 幼稚園費	511,687	88,990	5,214	0	10,834	406,649
1 幼稚園費	511,687	88,990	5,214		10,834	406,649
5. 社会教育費	1,855,401	292,550	53,296	258,700	42,828	1,208,027
1 社会教育総務費	875,148	287,500	51,634	258,700	8,833	268,481
2 文化財保護費	60,216	5,050	1,662		9,001	44,503
3 公民館費	292,320				4,471	287,849
4 図書館費	370,196				250	369,946
5 音楽ホール費	117,589				12,340	105,249
6 美術館費	139,932				7,933	131,999
6. 保健体育費	1,183,718	0	0	0	2	1,183,716
1 保健体育総務費	108,964					108,964
2 体育施設費	100,988				2	100,986
3 学校給食費	973,766					973,766

平成27年度一般会計予算の内訳

【歳出予算】

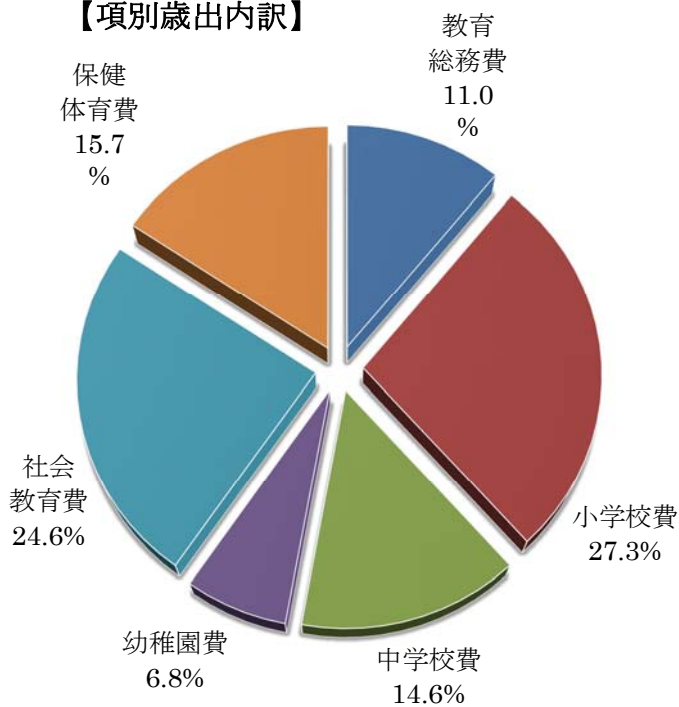


【歳入予算】

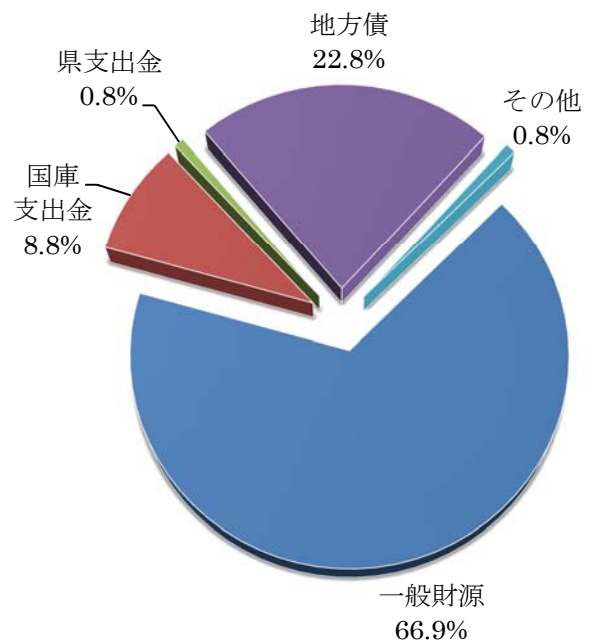


平成27年度教育費の項別予算と財源内訳

【項別歳出内訳】



【財源内訳】

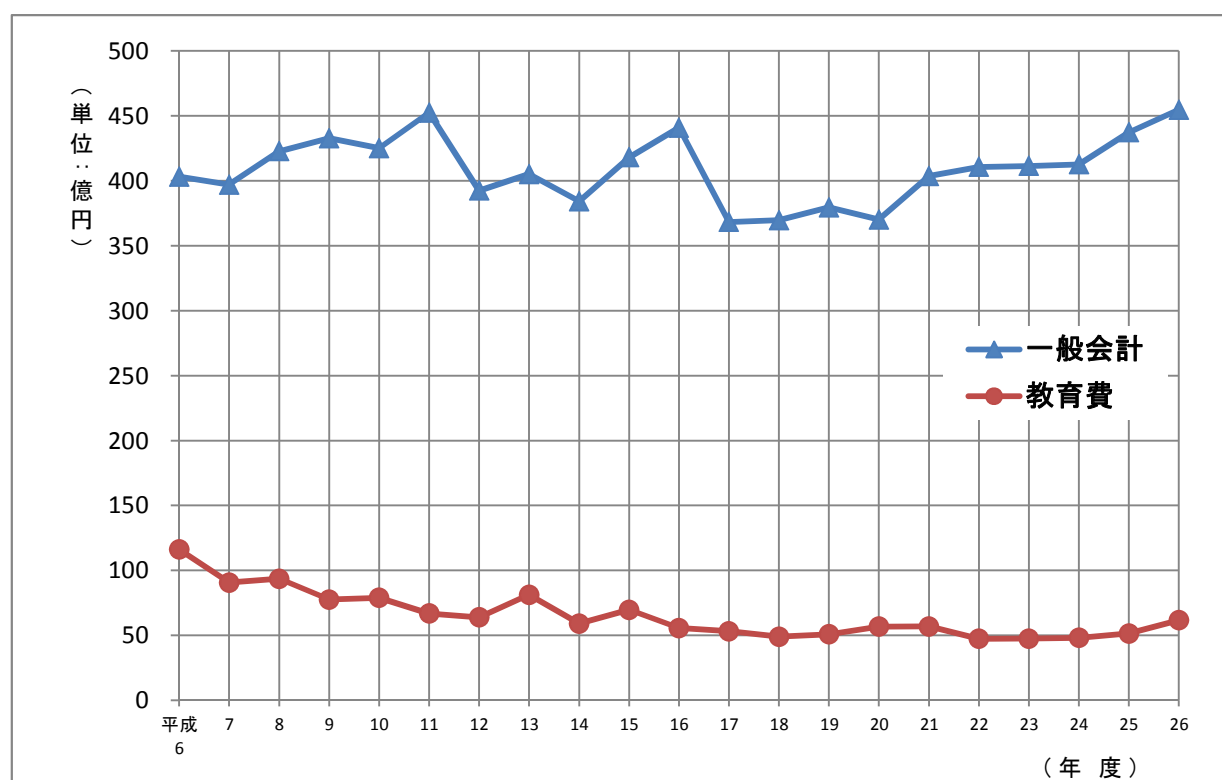


(3) 一般会計及び教育費決算額の推移

(単位:千円)

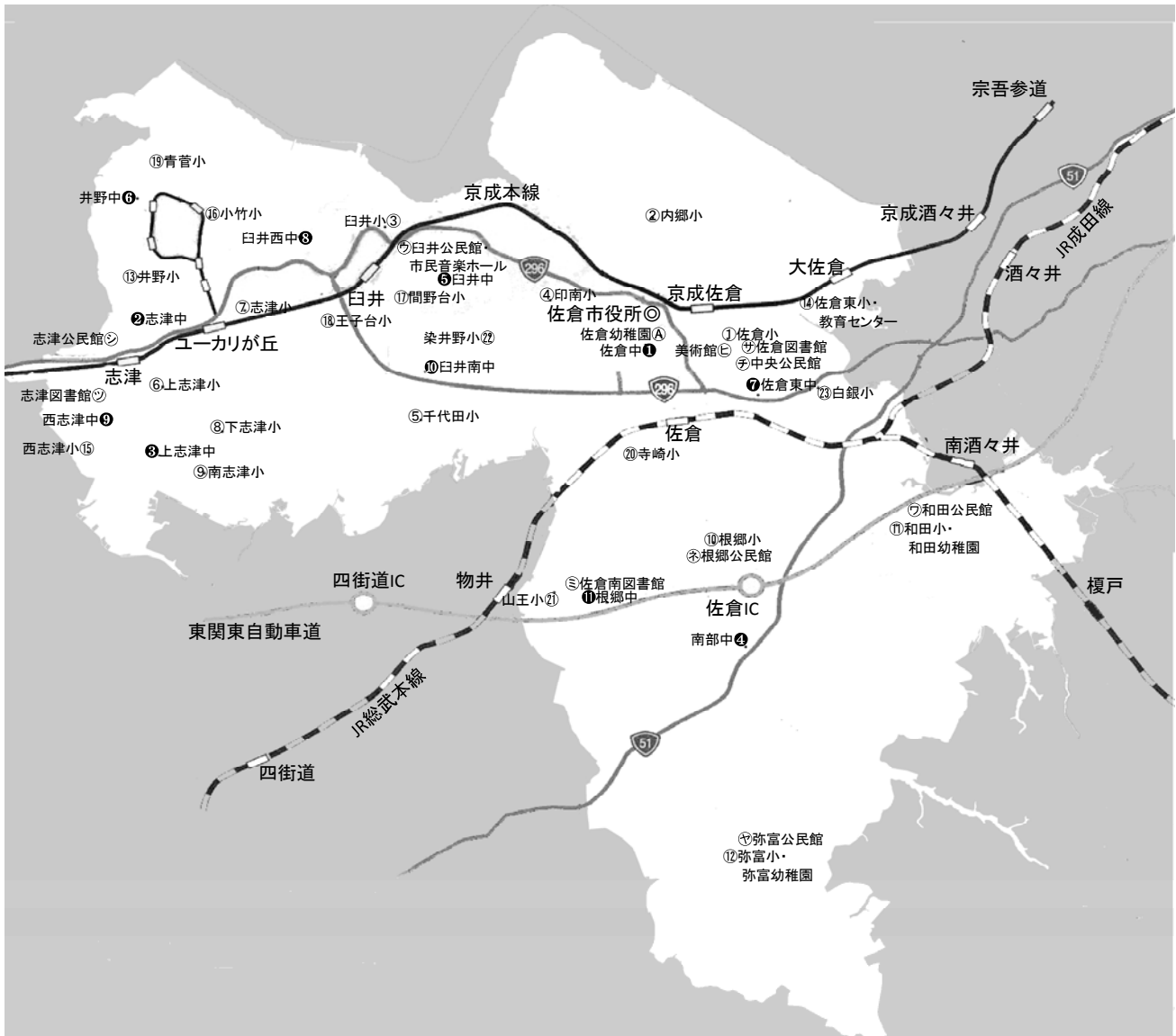
年 度	一 般 会 計	教 育 費	一般会計総額に 占める教育費の割合
平成 6	40,310,949	11,613,088	28.8%
7	39,702,086	9,062,839	22.8%
8	42,268,432	9,362,602	22.2%
9	43,275,624	7,760,108	17.9%
10	42,512,103	7,901,565	18.6%
11	45,241,030	6,688,049	14.8%
12	39,248,752	6,393,707	16.3%
13	40,518,076	8,128,767	20.1%
14	38,419,160	5,917,859	15.4%
15	41,802,236	6,967,875	16.7%
16	44,084,913	5,570,160	12.6%
17	36,834,040	5,316,520	14.4%
18	36,961,344	4,895,911	13.2%
19	37,946,154	5,085,269	13.4%
20	37,010,386	5,678,875	15.3%
21	40,369,994	5,694,165	14.1%
22	41,071,620	4,742,722	11.5%
23	41,137,161	4,754,653	11.6%
24	41,264,152	4,820,290	11.7%
25	43,733,183	5,152,083	11.8%
26	45,466,120	6,172,645	13.6%

※平成26年度は決算見込み額



Ⅲ 教育関係施設

1 佐倉市立の教育施設マップ



幼稚園 (3園)	
(A)	佐倉市立 佐倉幼稚園
(11)	佐倉市立 和田幼稚園
(12)	佐倉市立 弥富幼稚園
小学校 (23校)	
(1)	佐倉市立 佐倉小学校
(2)	佐倉市立 内郷小学校
(3)	佐倉市立 臼井小学校
(4)	佐倉市立 印南小学校
(5)	佐倉市立 千代田小学校
(6)	佐倉市立 上志津小学校
(7)	佐倉市立 志津小学校
(8)	佐倉市立 下志津小学校
(9)	佐倉市立 南志津小学校
(10)	佐倉市立 根郷小学校
(11)	佐倉市立 和田小学校
(12)	佐倉市立 弥富小学校
(13)	佐倉市立 井野小学校
(14)	佐倉市立 佐倉東小学校
(15)	佐倉市立 西志津小学校

(16)	佐倉市立 小竹小学校
(17)	佐倉市立 間野台小学校
(18)	佐倉市立 王子台小学校
(19)	佐倉市立 青菅小学校
(20)	佐倉市立 寺崎小学校
(21)	佐倉市立 山王小学校
(22)	佐倉市立 染井野小学校
(23)	佐倉市立 白銀小学校
中学校 (11校)	
(1)	佐倉市立 佐倉中学校
(2)	佐倉市立 志津中学校
(3)	佐倉市立 上志津中学校
(4)	佐倉市立 南部中学校
(5)	佐倉市立 臼井中学校
(6)	佐倉市立 井野中学校
(7)	佐倉市立 佐倉東中学校
(8)	佐倉市立 臼井西中学校
(9)	佐倉市立 西志津中学校
(10)	佐倉市立 臼井南中学校
(11)	佐倉市立 根郷中学校

佐倉市役所	
(◎) 佐倉市役所	
佐倉市教育センター	
(14) 教育センター	
公民館 (6館)	
(7) 中央公民館	
(7) 和田公民館	
(ヤ) 弥富公民館	
(根) 根郷公民館	
(志) 志津公民館	
(臼) 臼井公民館	
図書館 (3館)	
(サ) 佐倉図書館	
(志) 志津図書館	
(三) 佐倉南図書館	
市民音楽ホール	
(7) 市民音楽ホール	
美術館	
(E) 美術館	

2 学校一覧

(1) 市内幼稚園

《市立幼稚園》

平成27年5月1日現在

番号	園名	所在地	電話番号	創立年度	園長名	園児数		教職員数※
						4歳児	5歳児	
1	佐倉幼稚園	鎚木町934番地	486-1533	大正2年	岡澤 由美子	26	40	9
2	和田幼稚園	直弥59番地6	498-1509	昭和48年	宮島 誠一	3	5	6 (3)
3	弥富幼稚園	岩富町145番地	498-0603	昭和49年	深山 民夫	4	7	6 (3)
計						33	52	21 (6)

※休業代替教職員は除く。()内数字は小学校との兼務職員数で内数。

《私立幼稚園》

平成27年5月1日現在

園名	所在地	電話番号	創立年度	設置者	園長名	園児数			教職員数
						3歳児	4歳児	5歳児	
志津幼稚園	井野1362番地	487-6717	昭和39年	学校法人青木学園	青木 千代子	103	106	131	25
佐倉城南幼稚園	鎚木町1丁目5番地	484-0551	昭和40年	学校法人丸和学園	井出 渉	40	67	59	15
さくら幼稚園	西志津2丁目23番19号	487-1747	昭和43年	学校法人晃栄学園	北澤 英津子	39	32	34	13
慈光幼稚園	本町54番地	484-2444	昭和43年	学校法人藤学園	伊藤 昌子	62	71	103	23
臼井幼稚園	臼井田2435番地	487-5462	昭和48年	学校法人臼井学園	志田 茂夫	97	91	117	26
小竹幼稚園	小竹795番地1	487-1784	昭和48年	学校法人定明学園	立田 房子	73	76	81	21
志津わかば幼稚園	上志津874番地	487-1787	昭和48年	学校法人角田学園	矢崎 聖二	118	144	142	37
千成幼稚園	千成3丁目11番15号	485-3755	昭和49年	学校法人千成学園	南 光代	79	61	75	24
佐倉くるみ幼稚園	石川551番地1	485-8425	昭和53年	学校法人平岡学園	平岡 立行	14	20	21	8
臼井たんぽぽ幼稚園	王子台1丁目10番地7	461-5105	昭和56年	学校法人大野木学園	佐藤 わか	108	121	131	28
計						733	789	894	220

(2) 市立小・中学校

《小学校》

平成27年5月1日現在

番号	学校名	所在地	電話番号	創立	校長名	児童数 ()内特別支援 学級児童数 (外数)	学級 ()内特別 支援学級 (外数)	教職員数		
								県費	市費	計
1	佐倉小学校	新町78番地4	484-1028	明治5年	古嶋 美文	664 (12)	21 (3)	38	0	38
2	内郷小学校	岩名870番地	486-1501	明治41年	田辺 直美	160 (1)	6 (1)	14	0	14
3	臼井小学校	臼井田2395番地	487-3009	明治6年	久保田 宜孝	339 (13)	12 (3)	23	0	23
4	印南小学校	印南223番地1	486-1531	明治6年	富岡 健治	238 (1)	9 (1)	15	1	16
5	千代田小学校	吉見553番地	487-3140	明治6年	加藤 温	268 (11)	11 (3)	20	1	21
6	上志津小学校	上志津1752番地	489-3829	昭和36年	大野 尊史	595 (15)	18 (3)	29	1	30
7	志津小学校	上座1156番地2	487-0252	明治6年	高橋 正雄	464 (5)	16 (2)	26	1	27
8	下志津小学校	中志津4丁目26番10号	487-8550	昭和42年	浅野 宏美	233 (7)	10 (2)	18	1	19
9	南志津小学校	下志津原164番地2	489-3884	昭和49年	松浦 みち子	364 (3)	12 (1)	23	1	24
10	根郷小学校	城454番地	484-1031	明治5年	石井 喜広	555 (18)	19 (3)	29	1	30
11	和田小学校	直弥59番地1	498-1509	明治41年	宮島 誠一	78 (1)	6 (1)	12	1	13
12	弥富小学校	岩富町145番地	498-0603	明治41年	深山 民夫	50 (2)	6 (1)	11	2	13
13	井野小学校	西ユ-カが丘3丁目1番地6	487-1541	昭和46年	佐藤 信彦	741 (16)	24 (3)	37	0	37
14	佐倉東小学校	将門町7番地	484-0626	昭和50年	日暮 美智子	293 (6)	12 (2)	21	1	22
15	西志津小学校	西志津7丁目2番1号	489-5835	昭和52年	沼田 正信	915 (7)	28 (2)	44	1	45
16	小竹小学校	ユ-カが丘5丁目5番1号	461-3121	昭和55年	山田 陽一	251 (6)	11 (2)	18	1	19
17	間野台小学校	王子台2丁目18番地	461-5501	昭和56年	山本 昌弘	525 (16)	18 (3)	28	1	29
18	王子台小学校	王子台5丁目19番地	487-1376	昭和59年	前田 克彦	370 (6)	12 (2)	21	1	22
19	青菅小学校	宮ノ台1丁目17番1号	488-0121	昭和61年	飯田 嘉彦	377 (2)	13 (1)	21	0	21
20	寺崎小学校	大崎台4丁目4番地1	486-3601	昭和62年	林 賢治	398 (16)	14 (3)	25	0	25
21	山王小学校	山王1丁目44番地	486-7011	平成元年	石井 一好	170 (6)	6 (2)	13	1	14
22	染井野小学校	染井野1丁目19番地	463-6511	平成11年	天田 美佐枝	265 (3)	11 (2)	20	2	22
23	白銀小学校	白銀1丁目4番地	483-4611	平成16年	小長井 博子	211 (5)	8 (2)	16	1	17
計						8,524 (178)	303 (48)	522	19	541

《中学校》

平成27年5月1日現在

番号	学校名	所在地	電話番号	創立	校長名	生徒数 ()内特別支援 学級生徒数 (外数)	学級 ()内特別 支援学級 (外数)	教職員数		
								県費	市費	計
1	佐倉中学校	城内町117番地10	484-1026	昭和22年	柴内 靖	494 (16)	15 (3)	36	1	37
2	志津中学校	井野1376番地	487-6611	昭和22年	天本 憲亮	705 (19)	21 (4)	49	1	50
3	上志津中学校	上志津866番地	487-1786	昭和48年	三村 宏治	289 (3)	9 (2)	23	1	24
4	南部中学校	神門432番地1	498-0023	昭和35年	泉 重二	249 (6)	8 (2)	24	1	25
5	臼井中学校	臼井1530番地	489-5635	昭和51年	間野 博昭	329 (4)	10 (2)	26	0	26
6	井野中学校	宮ノ台3丁目9番1号	461-5221	昭和57年	勝田 敏彦	374 (3)	12 (1)	25	1	26
7	佐倉東中学校	高岡423番地1	486-3031	昭和62年	木村 信嘉	299 (8)	9 (2)	26	0	26
8	臼井西中学校	臼井台1588番地	462-1781	昭和63年	柏熊 文雄	353 (4)	12 (2)	27	0	27
9	西志津中学校	西志津4丁目18番1号	462-1161	昭和63年	住母家 規夫	498 (6)	15 (2)	33	0	33
10	臼井南中学校	染井野4丁目1番地	488-1020	平成7年	飯高 章	367 (7)	11 (2)	27	0	27
11	根郷中学校	山王2丁目37番地1	483-1000	平成9年	川津 章	245 (6)	9 (2)	22	1	23
計						4,202 (82)	131 (24)	318	6	324

(3) 県立高等学校

平成27年5月1日現在

学校名	所在地	電話番号	創立年度	校長名	生徒数	教職員数
佐倉高等学校	鍋山町18番地	484-1021	明治32年	小玉 秀史	973	81
佐倉東高等学校	城内町278番地	484-1024	明治43年	安西 啓雄	712	70
〃 定時制	〃	〃	昭和25年	〃	112	17
佐倉西高等学校	下志津263番地	489-5881	昭和52年	山科 史男	709	54
佐倉南高等学校	太田1956番地	486-1711	昭和58年	中原 章子	581	49
計					3,087	271

(4) 短期大学

平成27年5月1日現在

学校名	所在地	電話番号	創立年度	学長名	学生数	教職員数
千葉敬愛短期大学	山王1丁目9番	486-7111	昭和25年	明石 要一	395	77

3 学校施設一覧

(1) 教室等施設

《市立幼稚園》

平成27年5月1日現在

番号	園名	実学級数	保有教室										プール				
			保育室	その他諸室										長さ(m)	幅(m)	コース数	
				遊戯室	多目的室												
1	佐倉幼稚園	4	5	1	1												
2	和田幼稚園	2	2														
3	弥富幼稚園	2	2														
計		8	9	1	1												

《小学校》

番号	学校名	実学級数	保有教室											プール			
			普通教室	特別教室										長さ(m)	幅(m)	コース数	
				理科	生活	音楽	図工	家庭	視聴	パソコン	図書	特別活動	教育相談				
1	佐倉小学校	21 特3	26	1		1	1	1			1	2	6	1	-	-	-
2	内郷小学校	6 特1	7	1	1	2	1	1			1	1	1		25	15	7
3	臼井小学校	12 特3	15	1		1	1	1			1	1			25	17	8
4	印南小学校	9 特1	10	1		2	1	1			1	1	1		25	17	8
5	千代田小学校	11 特3	14	1		1	1	1			1	1	1		25	17	8
6	上志津小学校	18 特3	21	1		1	1	1			1	1			25	17	8
7	志津小学校	16 特2	18	1		1	1	1			1	1	2	1	25	17	7
8	下志津小学校	10 特2	12	1		1	1	1			1	1	1		25	16	7
9	南志津小学校	12 特1	13	1		1	1	1			1	2	2	1	25	17	8
10	根郷小学校	19 特3	22	1		1	1	1			1	1	2	1	25	17	8
11	和田小学校	6 特1	7	1		1		1				1			25	16	7
12	弥富小学校	6 特1	7	1		1					1	1			25	17	7
13	井野小学校	24 特3	33	1		1		1			1	1	2	1	25	17	8
14	佐倉東小学校	12 特2	15	1	1	1	1	1			1	1	6	1	25	17	8
15	西志津小学校	28 特2	30	1		2	2	1			1	1	5	1	-	-	-
16	小竹小学校	11 特2	13	1	1	1	1	1			1	1	2	2	25	17	7
17	間野台小学校	18 特3	21	1		1	1	1			1	1	1		25	17	8
18	王子台小学校	12 特2	14	1	1	1	2	1			1	2	2	1	25	17	8
19	青菅小学校	13 特1	14	1		1		1			1	1	1		25	17	8
20	寺崎小学校	14 特3	17	1		1	1	1			1	1	1	1	25	17	8
21	山王小学校	6 特2	8	1	1	1	2	1			1	1	1	1	25	17	8
22	染井野小学校	11 特2	13	1	1	1	1	1			1	1	3	1	25	17	8
23	白銀小学校	8 特2	10	1		1	1	1			1	1	1	1	20	11	5
計		303 特48	360	23	6	26	22	22	0	22	26	41	15		-	-	-

《中学校》

平成27年5月1日現在

番号	学校名	実学級数	保有教室											プール				
			普通教室	特別教室										長さ(m)	幅(m)	コース数		
				理科	音楽	美術	技術	家庭	視聴	パソコン	図書	特別活動	教育相談				進路指導	
1	佐倉中学校	15 特3	18	2	1	1	2	2			1	1	2	1	1	25	19	9
2	志津中学校	21 特4	25	2	2	2	1	2			1	1	5	2		25	16	7
3	上志津中学校	9 特2	11	2	1	1	1	2			1	2	2	1	1	25	15	7
4	南部中学校	8 特2	12	2	1	1	1	2			1	1	1	1		25	16	8
5	臼井中学校	10 特2	13	2	2	1	2	2			1	2	9	1		25	17	8
6	井野中学校	12 特1	15	2	2	1	1	2			1	2	5	2		25	19	9
7	佐倉東中学校	9 特2	12	2	1	2	2	2			1	1	5	1		25	17	8
8	臼井西中学校	12 特2	14	2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1		25	17	8
9	西志津中学校	15 特2	17	2	1	1	2	2			1	1	2	2		25	17	8
10	臼井南中学校	11 特2	13	2	2	2	2	2			1	1	2	1	1	25	17	8
11	根郷中学校	9 特2	11	2	2	1	2	2			1		2	1	1	25	17	8
計		131 特24	161	22	17	14	18	22	1	11	13	36	14	4	-	-	-	

※小中学校の普通教室には、余裕教室を含みます。

(2) 建物・校地面積

《市立幼稚園》

平成27年5月1日現在

番号	園名	建物面積 (㎡)					校地面積(㎡)				
		園舎			屋内運動場		建物敷地	運動場	実験 実習地 その他	借用	計
		RC造	鉄骨造	木造	RC造	鉄骨造					
1	佐倉幼稚園	1,518					3,427	1,358			4,785
2	和田幼稚園	190					190	471			661
3	弥富幼稚園	254					254	1,854			2,108
計		1,962	0	0	0	0	3,871	3,683	0	0	7,554

《小学校》

平成27年5月1日現在

番号	学校名	建物面積 (㎡)					校地面積 (㎡)				
		校舎			屋内運動場		建物敷地	運動場	実験 実習地 その他	借用	計
		RC造	鉄骨造	木造	RC造	鉄骨造					
1	佐倉小学校	6,236	63	41	1,191		11,951	8,750			20,701
2	内郷小学校	2,944		86	740		5,490	10,223	8,503		24,216
3	臼井小学校	4,044	79	10	1,070		7,597	14,378			21,975
4	印南小学校	3,668		60	749		9,424	11,294			20,718
5	千代田小学校	2,780	1,505	10	749		7,366	9,661	15,954		32,981
6	上志津小学校	3,939	71	65	748		14,099	7,825			21,924
7	志津小学校	3,380	677	33	1,157		8,456	11,270	2,671		22,397
8	下志津小学校	1,469	1,459	26		704	9,837	9,153			18,990
9	南志津小学校	4,225		80	1,041		10,316	9,226	9,177		28,719
10	根郷小学校	5,400	39	46	1,232		12,241	9,351	4,980		26,572
11	和田小学校	1,732		81	726		5,552	10,091			15,643
12	弥富小学校	1,842		83	751		10,481	9,451	638		20,570
13	井野小学校	4,360	1,392		749		6,826	26,658	120		33,604
14	佐倉東小学校	4,613	168	80	760		13,272	6,661	32,207		52,140
15	西志津小学校	5,544	761	43	1,195		13,133	13,067			26,200
16	小竹小学校	5,123	40	59	851		13,563	11,819	1,679		27,061
17	間野台小学校	4,583	66		977		9,721	9,421	795		19,937
18	王子台小学校	4,615		76	1,142		8,913	9,351	1,747		20,011
19	青菅小学校	4,651	42	10	1,169		9,983	17,020			27,003
20	寺崎小学校	4,755		81	1,165		11,040	13,319	4,138		28,497
21	山王小学校	5,212		10	1,299		14,729	12,517	1,777		29,023
22	染井野小学校	4,591			1,347		12,420	15,417	2,790		30,627
23	白銀小学校	3,611			1,255		13,622	10,922	2,187		26,731
	計	93,317	6,362	980	22,063	704	240,032	266,845	89,363		596,240

《中学校》

番号	学校名	建物面積 (㎡)					校地面積 (㎡)				
		校舎			屋内運動場		建物敷地	運動場	実験 実習地 その他	借用	計
		RC造	鉄骨造	木造	RC造	鉄骨造					
1	佐倉中学校	6,393	57		2,352		11,764	15,726		2,835	30,325
2	志津中学校	6,132		73	1,797		8,927	13,331			22,258
3	上志津中学校	5,791		33	2,123		10,718	12,569			23,287
4	南部中学校	3,661		50	2,383		13,012	34,120			47,132
5	臼井中学校	6,318	343	66	990		11,685	12,592	10,156		34,433
6	井野中学校	5,937	159		1,553		16,203	24,991	1,611		42,805
7	佐倉東中学校	6,213			1,504	75	8,612	13,932	20,101		42,645
8	臼井西中学校	6,115	38	24	1,619		11,785	28,187	3,372		43,344
9	西志津中学校	5,830	38	24	1,491		11,551	12,894	1,492		25,937
10	臼井南中学校	5,962			2,323		13,858	18,118	4,177		36,153
11	根郷中学校	5,627			2,369		17,000	13,886			30,886
	計	63,979	635	270	20,504	75	135,115	200,346	40,909	2,835	379,205

4 社会教育等施設一覧

平成27年5月1日現在

名 称	所 在 地 (電 話 番 号)	設 置 年 月	建 築 年 月	構 造	建築延床 面積(m ²)	敷地面積 (m ²)	備 考
中央公民館	鐺木町198番地3 (485-1801)	昭22. 4	昭51. 3	RC造 地上3階	2,898.96	12,500.66	平4. 3 増改築
和田公民館	直弥59番地 (498-0417)	昭29. 4	昭50. 3	RC造 地上2階	565.02	759.65	
和田公民館 分館	八木850番地1 (498-4000)	平13. 4	平13. 3	RC造 地上2階	441.00 (公民館部分)	3,461.11	和田ふるさと館内 歴史民俗資料室
弥富公民館	岩富町151番地 (498-0860)	昭29. 4	平21. 3	RC造 地上2階	415.53 (公民館部分)	1,367.83	弥富派出所 農村婦人の家 学童保育所 併設
根郷公民館	城343番地5 (486-3147)	昭29. 4	平5. 2	RC造 地下1階 地上3階	1,591.85 (公民館部分)	2,007.55	出張所 155.69m ²
志津公民館	上志津1814番地 (487-5064)	昭29. 4	昭48. 7	RC造 地上3階	853.90	1,965.80	
臼井公民館	王子台1丁目16番地 (461-6221)	昭59. 11	昭59. 9	RC造 地下1階 地上2階	1,078.66 (公民館部分)	4,106.33	市民音楽ホールと 併設
佐倉図書館	新町189番地1 (485-0106)	昭51. 4	昭31. 4	RC造 地上2階	970.63	1,067.90	昭58. 5転用 (旧郵便局)
志津図書館	西志津4丁目1番2号 (488-0906)	平7. 7	平7. 3	RC造 地下1階 地上3階	3,386.77 (図書館部分)	2,999.56	西志津ふれあいセン ター・西志津市民サー ビスセンター併設
志津図書館 志津分館	上志津1672番地7	昭57. 1	-	-	-	-	建替え工事のため、 平成25年12月28日 から休館中
佐倉南図書館	山王2丁目37番地13 (483-3000)	平12. 2	平11. 9	RC造 平屋	1,899.63	11,928.64	
青少年 センター	岩名828番地 (486-3231)	昭59. 4	昭59. 2	RC造 地上2階	575.30	1,800.00	
佐倉市 ヤングプラザ	栄町8番地7 (484-6431)	平10. 1	昭46. 9	RC造 地上2階	809.73	725.23	平9. 12改築転用
佐倉市民 音楽ホール	王子台1丁目16番地 (461-6221)	昭59. 11	昭59. 9	RC造 地下1階 地上2階	3,474.24 (音楽ホール 部分)	4,106.33	公民館 1,078.66m ² 出張所 207.37m ² 平成13年度 改築
美術館	新町210番地 (485-7851)	平6. 11	平6. 8	RC造 地下2階 地上5階	5,137.42	1,938.61	
佐倉市 教育センター	将門町7番地 (486-2400)	平15. 4	昭50. 6	RC造	477.00	477.00	佐倉東小学校の 一部を転用

5 社会体育施設一覧

平成27年5月1日現在

種類	名称 (位置)	施設概要
体育館	佐倉市民体育館 (佐倉市宮小路町3番地)	・敷地面積 16,123.74㎡ ・床面積 6,472.960㎡ ・構造 鉄筋コンクリート4階建
	佐倉市立青少年体育館 (佐倉市江原新田54番地)	・面積 433.51㎡ ・構造 木造 [県立佐倉高等学校 旧武道館]
市民プール	佐倉市上座総合公園プール (佐倉市上座915番地)	・敷地面積 6,000㎡ ・建造物 練習プール(425㎡) 25m 17m 8コース 子供プール(348㎡) 幼児プール(130㎡) ・建築物 管理棟、機械棟、屋外便所 (510.46㎡)
	佐倉市岩名運動公園プール (佐倉市岩名姿山地先)	・敷地面積 10,039㎡ ・建造物 競技用プール(1,000㎡) 50m 20m 9コース 幼児プール(348.34㎡) ・建築物 管理棟(310㎡) 機械室・倉庫(91.22㎡)
テニスコート	佐倉市岩名運動公園テニスコート (佐倉市岩名姿山地先)	・競技場 オールウェザーコート 6面 クレーコート 2面
	佐倉市直弥公園テニスコート (佐倉市直弥438番地)	・競技場 オールウェザーコート 4面
陸上競技場	佐倉市岩名運動公園陸上競技場 (佐倉市岩名姿山地先)	・競技場 400m全天候トラック(19,150㎡) メインスタンド(客数:1,022席、2,077㎡) 第3種公認競技場
野球場	佐倉市岩名運動公園野球場 (長嶋茂雄記念岩名球場) (佐倉市岩名姿山地先)	・面積 12,277㎡ ・付属施設 メインスタンド(2,322㎡) バックスクリーン、バックネット スコアボード、ナイター照明
	佐倉市岩名運動公園野球場 (第2球場) (佐倉市岩名姿山地先)	・面積 7,494㎡ ・付属施設 バックネット、ベンチ
	佐倉市大作野球場 (佐倉市大作2丁目1番地1)	・面積 10,156㎡ ・付属施設 バックネット、ベンチ
球技場	佐倉市岩名運動公園球技場 (佐倉市岩名姿山地先)	・面積 12395.22㎡ ・建造物 トイレ・更衣室棟(131.78㎡) メインスタンド(363.44㎡) 照明(6基) 防球ネット、ワイヤメッシュフェンス
スポーツ資料館	(佐倉市岩名姿山地先)	・面積 309.35㎡ ・建築物 鉄筋コンクリート2階建 1F:図書、展示、保健管理コーナー 2F:研修室

IV その他

1 児童生徒数の推移

学校数の()内は分校数(外数)
 ※佐倉市人口を除き各年5月1日現在
 (平成27年からは外国人の方を含みます)

年 度	学 校 数		学 級 数		児 童 数	生 徒 数	児 童 生 徒 数 合 計	佐 倉 市 人 口 3 月 末 現 在
	小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校				
昭和 29	8 (3)	5	114	51	4,604	2,160	6,764	35,196
30	8 (4)	5	119	54	4,775	2,270	7,045	35,502
31	8 (4)	5	118	55	4,814	2,451	7,265	35,481
32	9 (4)	5 (1)	126	55	5,108	2,383	7,491	37,431
33	9 (4)	5 (1)	130	50	5,285	2,101	7,386	37,107
34	9 (4)	5 (1)	127	50	4,134	2,118	6,252	37,467
35	9 (4)	5	125	50	4,883	2,315	7,198	37,705
36	10 (3)	3	121	59	4,643	2,704	7,347	37,891
37	10 (3)	3	120	58	4,499	2,753	7,252	38,148
38	10 (3)	3	118	58	4,262	2,657	6,919	37,808
39	10 (3)	3	119	57	4,156	2,536	6,692	38,970
40	10 (3)	3	123	56	4,142	2,376	6,518	40,528
41	10 (3)	3	123	56	4,188	2,305	6,493	42,911
42	11 (3)	3	130	55	4,266	2,274	6,540	45,684
43	11 (3)	3	131	58	4,459	2,357	6,816	49,770
44	11 (2)	3	137	57	4,855	2,254	7,109	54,104
45	11 (1)	3	151	56	5,442	2,262	7,704	58,914
46	12 (1)	3	167	56	5,970	2,297	8,267	63,748
47	12 (1)	3	180	62	6,542	2,516	9,058	68,243
48	12 (1)	4	196	67	7,013	2,724	9,737	73,022
49	13 (1)	4	214	72	7,832	2,909	10,741	77,519
50	14 (1)	4	236	78	8,590	3,085	11,675	80,972
51	14 (1)	5	254	85	9,417	3,378	12,795	83,135
52	15	5	278	94	10,242	3,755	13,997	86,182
53	15	5	302	105	11,157	4,195	15,352	91,022
54	15	5	326	110	12,321	4,373	16,694	95,176
55	16	5	340	118	13,110	4,850	17,960	99,616
56	17	5	371	132	13,778	5,427	19,205	104,276
57	17	6	374	149	14,163	6,223	20,386	108,914
58	17	6	374	164	14,286	6,779	21,065	113,555
59	18	6	371	173	14,120	7,217	21,337	116,972
60	18	6	360	184	13,746	7,696	21,442	120,459
61	19	6	356	185	13,330	7,839	21,169	123,251
62	20	7	351	189	12,846	7,959	20,805	127,002
63	20	9	363	191	12,854	7,879	20,733	132,297
平成 元	21	9	370	192	12,856	7,753	20,609	138,411
2	21	9	375	197	12,773	7,540	20,313	143,070
3	21	9	376	199	12,662	7,380	20,042	147,303
4	21	9	373	200	12,316	7,302	19,618	151,222
5	21	9	369	194	12,199	7,024	19,223	155,328
6	21	9	361	192	11,889	6,902	18,791	158,725
7	21	10	360	186	11,615	6,688	18,303	162,604
8	21	10	354	191	11,368	6,709	18,077	165,870
9	21	11	343	188	10,975	6,573	17,548	168,849
10	21	11	333	179	10,553	6,350	16,903	170,292
11	22	11	330	171	10,253	6,087	16,340	172,181
12	22	11	316	164	9,965	5,700	15,665	173,548
13	22	11	317	160	9,762	5,453	15,215	174,078
14	22	11	312	151	9,504	5,160	14,664	174,624
15	22	11	309	147	9,497	4,893	14,390	175,033
16	23	11	313	142	9,396	4,583	13,979	175,573
17	23	11	312	139	9,186	4,396	13,582	175,118
18	23	11	316	139	9,160	4,307	13,467	174,984
19	23	11	327	142	9,066	4,330	13,396	175,126
20	23	11	334	139	9,104	4,200	13,304	175,134
21	23	11	338	146	9,024	4,278	13,302	175,601
22	23	11	341	148	8,981	4,250	13,231	175,914
23	23	11	349	149	8,999	4,319	13,318	176,169
24	23	11	349	150	8,822	4,306	13,128	176,072
25	23	11	345	153	8,755	4,286	13,041	175,690
26	23	11	347	152	8,762	4,305	13,067	175,575
27	23	11	351	155	8,702	4,284	12,986	177,411

2 スポーツテスト実施状況

〈小学校 低学年〉

(平成26年度)

種 目		1 年		2 年		3 年	
		男	女	男	女	男	女
握 力 (kg)	千葉県	9.74	9.19	11.42	10.73	13.32	12.51
	印 旛	9.83	9.30	11.81	10.93	13.54	12.46
	佐倉市	9.62	9.03	11.29	10.60	12.83	12.35
上体おこし (回)	千葉県	12.65	12.14	15.25	14.46	17.42	16.42
	印 旛	13.63	12.56	15.70	15.23	17.98	16.58
	佐倉市	13.49	12.92	16.02	15.03	18.34	17.75
長座体前屈 (cm)	千葉県	26.97	29.78	28.35	31.44	30.74	33.91
	印 旛	27.47	30.06	28.73	31.83	31.29	34.44
	佐倉市	26.98	29.65	28.30	31.33	31.02	34.30
反復横とび (回)	千葉県	28.84	27.58	32.95	31.36	37.28	35.04
	印 旛	30.41	28.61	34.79	32.96	38.10	36.24
	佐倉市	29.91	27.85	34.06	32.08	38.49	36.38
20メートル シャトルラン (回)	千葉県	21.13	17.36	30.57	23.12	38.85	29.32
	印 旛	22.94	16.95	33.84	25.04	38.20	30.59
	佐倉市	19.75	15.82	29.64	22.58	37.25	28.18
50メートル走 (秒)	千葉県	11.11	11.40	10.37	10.69	9.85	10.20
	印 旛	10.88	11.31	10.20	10.56	9.71	10.07
	佐倉市	11.12	11.38	10.42	10.80	9.92	10.29
立ち幅とび (cm)	千葉県	118.48	111.43	129.32	121.88	139.68	132.53
	印 旛	120.44	111.41	130.12	123.37	142.37	133.81
	佐倉市	120.35	111.25	130.90	124.58	138.00	132.20
ソフトボール投 (m)	千葉県	9.31	6.35	12.84	8.21	16.69	10.18
	印 旛	10.15	6.69	13.12	8.51	16.59	10.19
	佐倉市	9.43	6.40	12.41	8.06	16.19	10.16

〈小学校 高学年〉

(平成26年度)

種 目		4 年		5 年		6 年	
		男	女	男	女	男	女
握 力 (kg)	千葉県	15.13	14.49	17.63	17.26	21.28	20.32
	印 旛	15.48	14.76	18.18	17.50	21.63	21.18
	佐倉市	15.27	14.26	17.09	16.87	20.64	19.75
上体おこし (回)	千葉県	19.33	18.37	21.87	20.75	24.19	21.74
	印 旛	19.85	19.03	23.39	20.56	25.29	22.74
	佐倉市	20.30	19.26	23.10	21.79	25.22	23.27
長座体前屈 (cm)	千葉県	32.37	36.47	35.95	40.20	39.07	43.79
	印 旛	32.01	36.30	37.07	40.78	39.62	45.06
	佐倉市	32.82	36.12	35.08	40.11	38.60	44.15
反復横とび (回)	千葉県	40.87	38.86	45.59	43.25	48.70	45.25
	印 旛	42.24	40.95	47.63	44.46	50.19	45.90
	佐倉市	42.85	39.82	45.50	43.24	50.35	46.61
20メートル シャトルラン (回)	千葉県	46.92	36.76	58.59	48.22	68.33	53.32
	印 旛	47.04	37.67	63.13	45.50	71.09	50.81
	佐倉市	47.22	36.21	56.86	45.97	64.61	50.96
50メートル走 (秒)	千葉県	9.50	9.77	9.03	9.30	8.58	8.93
	印 旛	9.41	9.71	8.78	9.24	8.42	8.87
	佐倉市	9.49	9.85	8.98	9.23	8.57	8.89
立ち幅とび (cm)	千葉県	148.31	142.09	160.67	154.37	174.72	162.86
	印 旛	149.52	143.72	165.36	153.93	178.22	164.66
	佐倉市	149.37	142.21	160.82	154.34	172.53	164.56
ソフトボール投 (m)	千葉県	20.13	12.45	24.16	14.41	28.60	16.70
	印 旛	20.20	12.69	25.55	15.21	28.88	17.02
	佐倉市	20.38	12.02	23.07	13.63	26.70	16.14

《中 学 校》

(平成26年度)

種 目		1 年		2 年		3 年	
		男	女	男	女	男	女
握 力 (kg)	千葉県	23.84	21.49	29.34	24.29	34.80	25.83
	印 旛	23.96	21.54	29.50	24.80	35.93	26.03
	佐倉市	23.60	21.64	28.73	23.43	34.84	25.93
上体おこし (回)	千葉県	25.26	22.28	28.84	24.95	31.34	26.13
	印 旛	26.45	23.61	29.46	25.28	33.05	27.70
	佐倉市	27.84	24.18	30.37	26.75	32.32	26.94
長座体前屈 (cm)	千葉県	41.99	45.55	46.61	48.77	51.81	51.50
	印 旛	40.32	45.85	45.78	49.13	51.63	50.74
	佐倉市	43.42	46.81	46.93	47.94	51.16	51.43
反復横とび (回)	千葉県	49.59	45.78	52.91	47.32	55.80	48.26
	印 旛	50.74	46.28	53.66	47.27	57.30	48.78
	佐倉市	49.94	46.22	52.53	47.58	54.72	47.43
20 メートル シャトルラン (回)	千葉県	71.08	53.75	87.79	62.26	94.75	60.96
	印 旛	74.63	55.92	88.40	61.04	95.74	63.60
	佐倉市	71.84	55.36	87.25	62.57	92.85	61.71
50 メートル走 (秒)	千葉県	8.40	8.93	7.79	8.63	7.38	8.57
	印 旛	8.30	8.88	7.78	8.61	7.32	8.47
	佐倉市	8.38	8.93	7.84	8.67	7.51	8.51
立ち幅とび (cm)	千葉県	180.75	164.45	198.57	172.99	214.50	175.99
	印 旛	182.43	165.25	198.99	173.16	215.90	177.04
	佐倉市	182.60	165.71	199.05	171.78	212.61	173.89
ハンドボール投 (m)	千葉県	17.91	11.63	21.13	13.33	24.00	14.19
	印 旛	17.66	11.05	21.09	12.88	24.35	14.44
	佐倉市	16.84	10.77	20.56	12.39	23.03	13.53

3 スポーツ施設利用状況の推移

(利用者延人数)

年 度	岩名 テニス コート	大作 テニス コート	直 弥 テニス コート	岩名 野球場	大作 野球場	岩名 陸上 競技場	市民 体育館	市営プール		青少年 体育館
								上座	岩名	
平成5年度	42,073	20,433		19,147	3,947	27,313	105,219	21,534	15,940	5,645
平成6年度	41,740	18,341		18,535	4,316	14,383	115,633	32,099	21,718	5,154
平成7年度	41,890	12,419		20,231	4,482	20,847	120,646	25,733	20,085	5,177
平成8年度	45,891	19,944		17,978	4,862	30,888	129,339	15,785	12,283	6,047
平成9年度	48,114	19,611		21,463	4,976	35,662	125,336	16,213	10,849	6,213
平成10年度	49,322	19,638		15,712	4,426	25,755	110,591	12,679	8,191	6,733
平成11年度	48,045	19,116		20,194	5,375	23,284	103,580	17,727	10,867	7,270
平成12年度	43,712	19,278		18,365	4,521	32,765	119,040	14,955	9,710	7,621
平成13年度	45,582	21,939		24,070	4,506	34,075	81,130	9,158	6,347	7,089
平成14年度	45,406	4,880	15,152	25,511	3,934	46,843	89,112	12,201	8,216	7,226
平成15年度	41,627		19,008	20,668	4,465	37,075	92,248	8,315	5,480	6,724
平成16年度	43,054		13,992	21,679	4,360	48,106	50,539	11,354	7,352	9,915
平成17年度	41,156		14,685	22,710	5,220	38,637	76,246	12,829	8,507	7,829
平成18年度	39,906		14,733	23,975	5,031	41,982	94,344	10,923	6,151	7,474
平成19年度	42,612		15,620	23,280	6,306	50,726	96,647	13,697	8,109	8,312
平成20年度	38,843		17,532	31,585	4,207	37,064	103,629	12,206	7,397	8,103
平成21年度	41,147		18,395	32,210	3,845	46,504	112,744	11,785	7,183	8,384
平成22年度	41,687		19,113	16,178	3,733	39,156	111,688	17,547	10,634	9,075
平成23年度	42,869		19,335	28,794	3,681	54,681	106,168	11,550	7,862	9,791
平成24年度	43,358		17,674	35,154	4,379	74,353	125,938	16,258	9,939	9,824
平成25年度	39,398		18,722	36,469	3,579	55,030	128,645	14,542	9,342	9,630
平成26年度	42,784		17,279	40,083	5,390	71,462	137,462	11,866	7,907	10,435

4 指定・登録文化財一覧

平成27年5月1日現在

区分	番号	種類	名称	所在地・指定地 伝承地	指定・登録 年月日	員数 (面積)
国 指定 文化財	1	史跡	本佐倉城跡	佐倉市大佐倉 酒々井町本佐倉	平10. 9. 11	20, 982. 65㎡
	2	史跡	井野長割遺跡	西ユーカーが丘	平17. 3. 2	22, 955. 65㎡
	3	有建	旧堀田家住宅 附棟札 1枚	鎚木町	平18. 7. 5	7棟
	4	名勝	旧堀田正倫別邸庭園	鎚木町	平27. 3. 10	32, 529. 52㎡
県 指定 文化財	1	天記	佐倉城の夫婦モッコク	城内町	昭27. 11. 3	99. 17㎡
	2	有工	紫裾濃胴丸	鎚木町	昭29. 3. 31	1領
	3	有民	甲賀神社の鹿面	羽鳥	昭29. 12. 21	1面
	4	有工	鳳凰蒔絵鞍	新町	昭41. 5. 20	1具
	5	有工	天球儀	新町	昭41. 5. 20	1個
	6	史跡	長熊廃寺跡	長熊	昭42. 3. 7	1, 376㎡
	7	史跡	旧佐倉順天堂	本町	昭50. 3. 28	2, 383㎡
	8	無形	武術 立身流	岩富町	昭53. 2. 28	
	9	史跡	堀田正俊、正睦、正倫墓	新町	昭53. 2. 28	45㎡
	10	史跡	飯郷作遺跡	下志津	昭54. 3. 2	2, 400㎡
	11	無民	坂戸の念仏	坂戸	昭55. 2. 22	
	12	有建	松林寺本堂	弥勒町	昭57. 4. 6	1棟
	13	史跡	上座貝塚	上座	昭57. 4. 6	2, 235㎡
	14	有建	佐藤家住宅	中尾余町	昭59. 2. 24	1棟
	15	有建	旧河原家住宅	宮小路町	昭60. 3. 8	1棟
	16	有建	旧川崎銀行佐倉支店 附棟札 1枚	新町	平 3. 2. 15	1棟
	17	有歴	鹿山文庫関係資料	鍋山町	平 5. 2. 26	一括
市 指定 文化財	1	史跡	佐倉城跡	城内町	昭37. 3. 28	
	2	天記	鷲神社のケヤキ	先崎	昭37. 12. 22	1樹
	3	有彫	木造薬師如来立像	畔田	昭39. 3. 18	1軀
	4	有工	ピストル	新町	昭39. 3. 18	1挺
	5	有工	麻賀多神社神輿	鎚木町	昭39. 3. 18	1基
	6	有工	妙見神社神輿	六崎	昭39. 3. 18	1基
	7	天記	称念寺のムクロジ	青菅	昭39. 3. 18	1樹
	8	有工	刀 銘細川 忠義	寺崎	昭41. 9. 26	1口
	9	史跡	上人塚古墳	小篠塚	昭41. 9. 26	1基
	10	有絵	花園口上陸図	新町	昭44. 3. 12	1点
	11	有彫	木造阿弥陀如来坐像	臼井台	昭44. 3. 12	1軀
	12	有工	刀 銘国友忠恕	新町	昭44. 3. 12	1口
	13	無民	佐倉囃子	新町	昭46. 10. 20	
	14	有歴	公立米戸小学校版木	米戸	昭47. 2. 9	2点
	15	天記	印旛郡役所跡のイヌマキ	鎚木町	昭47. 11. 6	1樹
	16	天記	臼井台稻荷神社のカヤ	八幡台	昭48. 2. 7	1樹
	17	有工	佐藤尚中陣羽織	裏新町	昭48. 4. 14	1領

区分	番号	種類	名 称	所在地・指定地 伝承地	指定・登録 年月日	員 数 (面積)
市 指 定 文 化 財	18	有考	ナウマン象歯牙化石	岩名	昭48. 4. 14	2点
	19	有工	銅 大国主命立像	鎚木町	昭48. 6. 20	1躯
	20	有民	先崎地藏尊	先崎	昭49. 3. 26	1躯
	21	史跡	香取秀真おいたちの地	鎚木町	昭49. 3. 26	3. 3m ²
	22	有工	銅 武内宿彌立像	新町	昭49. 4. 27	1躯
	23	有工	銅 十一面観音菩薩立像	新町	昭49. 4. 27	1躯
	24	無民	下勝田の獅子舞	下勝田	昭49. 4. 27	
	25	有工	銅 麻賀多神社印	鎚木町	昭49. 6. 4	1顆
	26	有工	銅 釣燈籠	鎚木町	昭49. 6. 4	1対
	27	有歴	佐倉城城門写真原板	宮小路町、新町	昭49. 7. 19	5枚
	28	天記	坂戸西福寺のイチョウ	坂戸	昭49. 10. 15	1樹
	29	無民	上勝田の盆綱	上勝田	昭50. 1. 13	
	30	史跡	山崎ひょうたん塚古墳	下根	昭50. 4. 23	1基
	31	史跡	勝胤寺中世石塔群	大佐倉	昭50. 9. 17	19基
	32	史跡	海隣寺中世石塔群	海隣寺町	昭50. 9. 17	17基
	33	名勝	勝間田の池	下勝田	昭51. 5. 20	1, 586m ²
	34	有歴	松林寺古絵図	弥勒町	昭52. 1. 19	1幅
	35	史跡	土井利勝父母夫人供養塔	弥勒町	昭52. 1. 19	3基
	36	有絵	麻賀多神社板絵馬「藤戸の渡し」	鎚木町	昭52. 4. 13	1面
	37	有絵	熊野神社絵馬「龍図」	太田	昭52. 4. 13	1面
	38	有建	将門山大明神鳥居	大佐倉	昭52. 7. 13	1基
	39	有絵	佐倉城大絵図	新町	昭52. 7. 13	1葉
	40	有彫	木造大日如来坐像	鎚木町	昭53. 4. 18	1躯
	41	有歴	将門町地租改正地引図	海隣寺町	昭53. 4. 18	1葉
	42	有建	鷲神社鳥居	先崎	昭53. 7. 26	1基
	43	有建	鷲神社本殿 附宮殿 1基 棟礼 1枚 御正躰箱 1点	先崎	昭53. 7. 26	1棟
	44	有彫	木造金剛力士立像	岩名	昭53. 7. 26	2躯
	45	有工	刀 銘細川 忠義	西志津	昭53. 7. 26	1口
	46	有彫	木造薬師如来坐像 及び両脇侍立像	鎚木町	昭53. 10. 18	3躯
	47	有歴	伝堀田正盛坐像	新町	昭54. 6. 29	1躯
	48	史跡	修静居跡	宮小路町	昭54. 6. 29	1m ²
	49	有工	槍 銘細川 忠義	鎚木町	昭54. 10. 17	1口
	50	有工	刀 銘細川 忠正	西志津	昭55. 7. 22	1口
	51	有絵	紙本著色釈迦涅槃図	新町	昭58. 6. 30	1幅
	52	有工	簾阿弥陀来迎図	新町	昭58. 6. 30	1面
	53	有書	古今佐倉真佐子 附絵図 1葉	海隣寺町	昭59. 1. 18	1冊
	54	有工	佐倉町内祭礼用具	新町、弥勒町	昭59. 11. 26	一括
	55	有建	密蔵院薬師堂	寺崎	昭60. 9. 26	1棟

区分	番号	種類	名称	所在地・指定地 伝承地	指定・登録 年月日	員数 (面積)
市指定文化財	56	有工	梵鐘(元禄七年在銘)	岩富	昭61. 3. 31	1口
	57	有絵	絹本著色釈迦涅槃図	臼井台	昭63. 3. 15	1幅
	58	有建	旧但馬家住宅	宮小路町	平元. 3. 31	1棟
	59	有民	和田地区民俗資料	八木	平4. 7. 1	一括
	60	史跡	臼井城跡	臼井、臼井田	平6. 2. 16	1ヶ所
	61	有工	金銅五鈷杵	井野	平7. 8. 16	1口
	62	有歴	小幡家旧蔵佐倉城関係資料	新町	平9. 3. 26	一括
	63	無民	青菅のどんどれえ	青菅	平19. 6. 29	
	64	有彫	金銅地藏菩薩坐像	新町	平20. 9. 1	1躯
	65	史跡	青菅の大塚・小塚	宮ノ台	平22. 10. 1	2基
	66	有工	岩富城主北条氏勝寄進資料 ①七条袈裟・横被 牡丹唐草模様 ②七条袈裟・横被 亀甲梅椿模様 ③三鱗紋蒔絵四重椀	直弥	平22. 10. 1	1組2点 1組2点 1具4点
	67	有絵	佐倉牧関係絵図	新町	平25. 2. 22	3点
国文 登録財	1	有形	千葉県立佐倉高等学校記念館	鍋山町	平17. 7. 12	1棟
市登録文化財	1	有形	山口家住宅 袖蔵及び店蔵	新町	平12. 2. 16	2棟
	2	有形	三谷家住宅 主屋・袖蔵及び座敷屋	弥勒町	平13. 5. 16	3棟
	3	有形	石渡家住宅 主屋及び蔵	弥勒町	平13. 5. 16	2棟
	4	有形	藤寄家住宅 主屋・洋館・文庫蔵・ 味噌蔵・表門・米蔵・馬小屋	大佐倉	平17. 7. 1	7棟
	5	有形	蔵家住宅 長屋門	先崎	平17. 7. 1	1棟
	6	有形	斎藤家住宅 主屋及び蔵	太田	平21. 2. 23	2棟
国無文 選形化 択民財 俗	1	無民	上勝田の盆綱(東関東の盆綱)	上勝田	平27. 3. 2	

5 市民文化資産一覧

平成27年5月1日現在

番号	種別	名称	所在地	選定年月日	員数 (面積)
1	生活文化資産	表町の御神酒所	表町	平17. 9. 20	1台
2	生活文化資産	城麻賀多神社の神輿の巡幸 及び 奉納相撲と旧相撲地跡地	六崎	平17. 9. 20	行事及び 跡地一式
3	生活文化資産	時崎城跡	六崎	平17. 9. 20	12, 557㎡
4	生活文化資産	下総まわし宿百観音	馬渡	平17. 9. 20	一括
5	生活文化資産	千蔵寺の千躰仏	馬渡	平17. 9. 20	一括
6	生活文化資産	下総まわし宿善養院境内と 阿弥陀堂周辺	馬渡	平21. 6. 15	2か所
7	生活文化資産	先崎鷲神社の神輿及び神輿渡御	先崎	平21. 6. 15	1基及び 行事一式
8	自然資産	小竹城跡と小竹五郎の墓 及び その周辺の里山風景	小竹	平23. 3. 1	1件及び1基
9	生活文化資産	時崎の弁天さまの池	六崎	平23. 10. 17	995㎡
10	生活文化資産	上志津の神社と社叢 (八幡神社・天御中主神社)	上志津	平24. 12. 13	二ヶ所
11	芸術文化資産	西志津囃子	西志津	平26. 12. 5	

佐倉の教育（平成27年度）

平成27年 7月発行

発行 佐倉市教育委員会

編集 佐倉市教育委員会事務局

〒285-8501

千葉県佐倉市海隣寺町97番地

電話 043(484)1111(代表)

<http://www.city.sakura.lg.jp>